

令和 5 年度 私費外国人留学生生活実態調査

概 要

令和 6 年 10 月

(令和 8 年 9 月改正)

独立行政法人 日本学生支援機構 (JASSO)

はじめに

独立行政法人日本学生支援機構（JASSO）は、文部科学省との緊密な連携の下に、学生支援を先導する中核機関として、奨学金貸与事業や留学生支援事業及び学生生活支援事業を総合的に実施し、次代の社会を担う豊かな人間性を備えた創造的な人材を育成するとともに、国際理解・交流の推進を図ることを目指しています。

令和5年5月1日現在、我が国で学んでいる外国人留学生数は、大学等の高等教育機関では、188,555人、日本語教育機関では、90,719人となっています（JASSO調べ）。

本機構では、令和5年11月から令和6年3月にかけて、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、専修学校（専門課程）、準備教育機関及び日本語教育機関に在籍する私費外国人留学生（10,000人）を対象に生活実態調査を実施しました。結果の概要は次のとおりです。

目 次

「令和5年度私費外国人留学生生活実態調査」結果の概要	1
----------------------------	---

I. 調査の目的と方法

1. 調査目的	3
2. 調査対象	3
3. 調査方法	3
4. 調査対象人数	3
5. 調査実施時期	3

II. 調査結果の内容

1. アンケート回答状況	4
2. 日本留学前の状況	7
3. 在日・在学年数及び入学前の活動	10
4. 留学後の日本への印象等	12
5. 収入	18
6. 奨学金	20
7. 支出	22
8. アルバイト	25
9. 授業時間を除く学習・研究時間	31
10. 宿舍	38
11. 健康	43
12. 卒業後の進路希望等	44

参考資料

令和5年度私費外国人留学生生活実態調査 アンケート内容	58
-----------------------------	----

「令和5年度私費外国人留学生生活実態調査」結果の概要

1. アンケート回答状況

私費外国人留学生の中から無作為抽出により、10,000 人に対してアンケートを送付し、7,867 人から有効回答を得た。回答率は 78.7% であった。

2. 日本留学前の状況

- (1) 日本を留学先として選んだ理由は、「日本社会に興味があり、日本で生活したかったため」が最も多く、4,820 人 (61.3%) であった。
 - (2) 留学するまでに特に苦労したことは、「日本語学習」が最も多く、4,520 人 (57.5%) であった。
 - (3) 留学情報の入手方法は、「留学経験者の体験談などを聞いて」が最も多く、3,670 人 (46.7%) であった。
- ※ (1) から (3) の割合は、3 つまで選択可能な複数回答設問における当該選択肢を回答した人数を回答者数で除した値。

3. 在日・在学年数及び入学前の活動

在日年数が 4 年未満の者は 6,119 人 (77.8%) であった。また、来日後、現在在籍している大学等へ直接入学した者は 4,962 人 (63.1%) であり、そのうち大学・短大・専修学校在学者は 2,896 人 (36.8%) であった。なお、現在の大学等に直接入学しなかった者のうち、現在在籍する大学等の直前に日本語教育機関に在学していたと回答した者は 2,186 人 (75.2%) であった。

4. 留学後の日本への印象等

- (1) 日本へ留学しての全体的な印象が「良かった」とする回答は、94.1% であった。
 - (2) 日常生活において授業以外で日本人学生と交流する機会があるとする回答は、5,554 人 (70.6%) であった。
 - (3) 留学後の苦労は、「物価が高い」が最も高く、71.4% であった。
- ※ (3) の割合は、3 つまで選択可能な複数回答設問における当該選択肢を回答した人数を回答者数で除した値。

5. 収入

- (1) 収入の平均月額、170,000 円であった。
- (2) 収入は、主に「仕送り」及び「アルバイト」であった。
- (3) 居住地域別の収入の平均月額は、関東地方が 193,000 円と全国で最も高く（東京のみでは 199,000 円）、東北地方、四国地方が 133,000 円と最も低かった。

6. 奨学金

- (1) 収入・支出に関する設問への有効回答者の 34.4% が何らかの奨学金を受けていた。
- (2) 在籍段階別の奨学金受給率は、高い順に「大学院博士課程・博士後期課程」、「大学院修士課程・博士前期課程」、「学部正規課程」の順であった。

7. 支出

- (1) 支出の平均月額、170,000 円であった。
- (2) 支出額のうち「学習研究費」が最も多く、次いで「住居費」、「食費」の順であった。

8. アルバイト

- (1) 全体の65.2%が何らかのアルバイトに従事していた。
 - (2) 職種は、軽労働の「飲食業」が最も多く、2,014人(39.2%)であった。
 - (3) 従事時間は、週平均「20時間以上25時間未満」が最も多く、1,898人(37.0%)であった。
- ※(2)の人数は、3つまで選択可能な複数回答設問における当該選択肢を回答した人数の合計で、率は回答者数に対する割合。

9. 授業時間を除く学習・研究時間

- (1) 在籍段階別学習・研究時間は、「週7～14時間未満」と回答した者の割合が最も高く、25.4%であった。
- (2) 「奨学金受給者及び非受給者の学習・研究時間を比較すると、全体として奨学金受給者の方が非受給者よりも学習・研究時間が多かった。

10. 宿舍

- (1) 住居の形態は、「民間アパート・マンション等」に居住する者が、5,512人(70.1%)と最も多かった。
- (2) 地域別の住居費の全国平均月額額は41,000円で、関東地方が51,000円と最も高かった。
- (3) 宿舍入居の際に保証人を求められたと回答した者は3,829人(48.7%)であった。また、保証人の種類としては、「保証人制度を利用する」が738人(19.3%)と最も多かった。

11. 健康

大学等に入学してからの病気になった時の対処の仕方は、「病院に行った」が3,602人(45.8%)と最も多く、次いで「薬局で薬を買って治した」3,073人(39.1%)であった。なお、「病気やけがをしたことがない」は2,521人(32.0%)であった。

※病気になったと回答した人数は、複数回答が可能な設問における当該選択肢を回答した人数の合計で、率は回答者数に対する割合。

12. 卒業後の進路希望等

- (1) 卒業後の予定は、「日本において就職」を希望した者が4,278人(54.4%)で最も多く、次いで「日本において進学」が3,489人(44.3%)であった。
 - (2) 「日本において就職希望」と回答した者の就職希望分野は、「研究・技術開発」が1,383人(32.3%)と最も多く、次いで「経営・管理」1,366人(31.9%)、「事務」1,079人(25.2%)であった。
 - (3) 就職活動時の要望は、「在留資格の変更手続きの簡素化、手続き期間の短縮化」が2,446人(57.2%)で最も多く、次いで、「留学生を対象とした就職に関する情報の充実」2,192人(51.2%)であった。
- ※(1)から(3)の人数は、3つまで選択可能な複数回答設問における当該選択肢を回答した人数の合計で、率は回答者数に対する割合。

※四捨五入した数を使用している表では、内訳の数の合計が、計欄の数と一致しない場合がある。

I. 調査の目的と方法

1. 調査目的

この調査は、我が国で学ぶ私費外国人留学生の標準的な生活の状況を把握するとともに、経済的な実状等を明らかにすることにより、独立行政法人日本学生支援機構が実施する私費外国人留学生に対する各種の支援事業を改善、充実を図るための基礎資料として活用することを目的とした。

2. 調査対象

我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、専修学校（専門課程）、準備教育課程を設置する教育施設（以下「準備教育課程」という）及び日本語教育機関（以下「大学等」という。）に在籍する私費外国人留学生を対象とし、国費外国人留学生、外国政府が派遣する政府派遣留学生及び在籍機関が1年未満の交換留学生・短期留学生は対象に含まないこととした。

3. 調査方法

全国の大学等の協力を得て、調査協力校に在籍する私費外国人留学生を無作為抽出し、Web システム上のアンケート項目に回答（無記名）する方法により実施した。

なお、調査協力校の選定にあたっては、大学等の留学生在籍率及び地域分布等を考慮した。

質問票は日本語・英語・ベトナム語・中国語（簡体字）により作成し、各言語での回答も可能とした。

4. 調査対象人数

10,000 人

（国立大学 70 校 1,450 人、公立大学 15 校 130 人、私立大学 190 校 3,000 人、短期大学 15 校 100 人、専修学校（専門課程）120 校 1,900 人、準備教育課程 10 校 120 人、日本語教育機関 230 校 3,300 人）

5. 調査実施時期

令和5年11月～令和6年3月

Ⅱ. 調査結果の内容

1. アンケート回答状況

私費外国人留学生 10,000 人にアンケートの回答を依頼し、有効回答を 7,867 人から得た（有効回答回収率 78.7%）。

出身国・地域別の回答者数（第 1-2 表）は、「中国」が 2,996 人（38.1%）と最も多く、以下「ベトナム」が 1,185 人（15.1%）、「ネパール」が 796 人（10.1%）、「韓国」が 503 人（6.4%）、「ミャンマー」が 347 人（4.4%）と続き、アジア出身者が全回答者数の 93.1%である。

回答者の在籍学校別の内訳（第 1-3 表）は、「国立大学」が 1,169 人（14.9%）、「公立大学」が 121 人（1.5%）、「私立大学」が 2,389 人（30.4%）、「短期大学」が 70 人（0.9%）、「専修学校（専門課程）」が 1,541 人（19.6%）、「準備教育課程」が 107 人（1.4%）、「日本語教育機関」が 2,470 人（31.4%）である。

在籍段階別の回答者数（第 1-4 表）は、回答者の多い順に、「日本語教育機関」が 2,470 人（31.4%）、「学部正規課程」が 1,967 人（25.0%）、「専修学校（専門課程）」が 1,541 人（19.6%）「大学院修士課程・博士前期課程」が 820 人（10.4%）、「大学院博士課程・博士後期課程」が 565 人（7.2%）、「学部レベルの研究生・聴講生」が 117 人（1.5%）、「準備教育課程」が 107 人（1.4%）、「短期大学」が 70 人（0.9%）、「大学院レベルの研究生」が 65 人（0.8%）、「専門職大学院課程」が 36 人（0.5%）と続く。なお、「その他」には、留学生別科、専攻科に在籍するものを含む。

専攻分野別の回答者数（第 1-5 表）は、回答者の多い順に、「日本語」が 2,919 人（37.1%）、「社会科学」が 1,777 人（22.6%）、「工学」が 1,159 人（14.7%）、「人文科学」が 657 人（8.4%）と続く。

第 1-1 表 回答者の性別

（Q1 参照）

区分	男性	女性	その他	計
人数（人）	4,158	3,656	53	7,867
率（%）	52.9	46.5	0.7	100.0

（注）率は、回答者の計（7,867 人）を 100 とした割合

第 1-2 表 出身国・地域別の回答者数

国・地域		人数	率
アジア	中国	2,996	38.1
	ベトナム	1,185	15.1
	ネパール	796	10.1
	韓国	503	6.4
	ミャンマー	347	4.4
	台湾	265	3.4
	インドネシア	227	2.9
	スリランカ	205	2.6
	バングラデシュ	198	2.5
	マレーシア	154	2.0
	タイ	130	1.7
	モンゴル	126	1.6
	フィリピン	72	0.9
	インド	69	0.9
	カンボジア	22	0.3
	パキスタン	15	0.2
	シンガポール	8	0.1
	ラオス	6	0.1
	ブータン	2	0.0
	小計	7,326	93.1
中近東	トルコ	13	0.2
	イラン	8	0.1
	シリア	5	0.1
	アフガニスタン	4	0.1
	サウジアラビア	3	0.0
	イスラエル	2	0.0
	ヨルダン	1	0.0
	小計	36	0.5
アフリカ	エジプト	14	0.2
	ナイジェリア	9	0.1
	ケニア	7	0.1
	ガーナ	4	0.1
	セネガル	3	0.0
	スーダン	3	0.0
	コンゴ民主共和国	3	0.0
	ルワンダ	3	0.0
	アルジェリア	2	0.0
	ウガンダ	2	0.0
	カメルーン	2	0.0
	ブルキナファソ	2	0.0
	リベリア	1	0.0
	マラウイ	1	0.0
	ボツワナ	1	0.0
	ギニアビサウ	1	0.0
	トーゴ	1	0.0
	アンゴラ	1	0.0
	マダガスカル	1	0.0
	コートジボワール	1	0.0
	エチオピア	1	0.0
	ジンバブエ	1	0.0
	南アフリカ	1	0.0
	タンザニア	1	0.0
	小計	66	0.8

国・地域		人数	率
オセアニア	オーストラリア	9	0.1
	ソロモン諸島	1	0.0
	サモア独立国	1	0.0
	ミクロネシア	1	0.0
	小計	12	0.2
北米	アメリカ合衆国	61	0.8
	カナダ	21	0.3
	小計	82	1.0
中南米	メキシコ	24	0.3
	ブラジル	24	0.3
	コロンビア	8	0.1
	チリ	6	0.1
	ペルー	5	0.1
	アルゼンチン	4	0.1
	パナマ	3	0.0
	エルサルバドル	2	0.0
	ニカラグア	2	0.0
	ベネズエラ	1	0.0
	グアテマラ	1	0.0
	小計	80	1.0
ヨーロッパ	ロシア	48	0.6
	フランス	45	0.6
	ウズベキスタン	35	0.4
	カザフスタン	19	0.2
	イタリア	18	0.2
	ドイツ	18	0.2
	英国	14	0.2
	ウクライナ	10	0.1
	スペイン	6	0.1
	キルギス	5	0.1
	スウェーデン	5	0.1
	スイス	5	0.1
	ノルウェー	5	0.1
	フィンランド	4	0.1
	オランダ	4	0.1
	スロバキア	3	0.0
	スロベニア	2	0.0
	ベラルーシ	2	0.0
	ポーランド	2	0.0
	ベルギー	2	0.0
	ブルガリア	2	0.0
	ギリシャ	2	0.0
	ハンガリー	2	0.0
	ルーマニア	2	0.0
	マルタ	1	0.0
	チェコ	1	0.0
	ジョージア	1	0.0
	クロアチア	1	0.0
	アルメニア	1	0.0
	小計	265	3.4
合 計		7,867	100.0

(注) 率は、回答者数の計（7,867人）を100とした割合

第 1-3 表 回答者の在籍学校別内訳

(Q11・12 参照)

区分	大学				短期大学	専修学校 (専門課程)	準備教育 課程	高等教育 機関計	日本語教 育機関	計
	国立	公立	私立	大学計						
調査対象者数	1,450	130	3,000	4,580	100	1,900	120	6,700	3,300	10,000
回答者数	1,169	121	2,389	3,679	70	1,541	107	5,397	2,470	7,867
率 (%)	14.9	1.5	30.4	46.8	0.9	19.6	1.4	68.6	31.4	100.0
回収率 (%)	80.6	93.1	79.6	80.3	70.0	81.1	89.2	80.6	74.8	78.7

- (注) 1. 有効回答者は 7,867 人
2. 率は、回答者数の計 (7,867 人) を 100 とした割合

第 1-4 表 在籍段階別の回答者数

(Q12 参照)

区分	大学院 博士課程 博士後期 課程	大学院 修士課程 博士前期 課程	専門職 大学院 課程	大学院 レベルの 研究生	学部正規 課程	学部 レベルの 研究生 聴講生	短期大学	専修学校 (専門課程)	準備教育 課程	日本語 教育機関	その他	計
人数 (人)	565	820	36	65	1,967	117	70	1,541	107	2,470	109	7,867
率 (%)	7.2	10.4	0.5	0.8	25.0	1.5	0.9	19.6	1.4	31.4	1.4	100.0

- (注) 1. 第 1-3 表の在籍学校「大学」に在籍する留学生別科、専攻科等は「その他」を含む
2. 率は、回答者数の計 (7,867 人) を 100 とした割合

第 1-5 表 専攻分野別の回答者数

(Q15 参照) (Q15 参照)

区分	人文科学	社会科学	理学	工学	農学	医・歯学	薬学	家政	教育	芸術	日本語	その他	計
人数 (人)	657	1,777	293	1,159	113	189	30	65	139	516	2,919	10	7,867
率 (%)	8.4	22.6	3.7	14.7	1.4	2.4	0.4	0.8	1.8	6.6	37.1	0.1	100.0

- (注) 1. 「日本語」に、日本語教育機関の在籍者数 1,698 人を含む
2. 率は、回答者数の計 (7,867 人) を 100 とした割合

第 1-6 表 居住地域別の回答者数

(Q35 参照)

区分		北海道	東北	関東	中部	近畿	中国	四国	九州	東京	計
高等教育機関	人数 (人)	143	186	2,269	650	1,088	366	112	583	1,312	5,397
日本語教育機関		39	110	1,262	203	522	74	3	257	1,003	2,470
計		182	296	3,531	853	1,610	440	115	840	2,315	7,867

2. 日本留学前の状況

留学の目的（第 2-1 表）を見ると、「日本で働く、もしくは日本企業に就職する」が 3,953 人（50.2%）で最も多く、次いで「学位を取得する」が 3,588 人（45.6%）、「就職に必要な技能や知識を身に付ける」が 2,765 人（35.1%）、「教養を身につける」が 2,303 人（29.3%）、「国際的な経験をつんで国際的な人脈を作る」が 2,074 人（26.4%）、「日本語の能力を高める」が 1,994 人（25.3%）と続く。

第 2-1 表 留学の目的（複数回答）

（Q3 参照）

区分	学位を取得する	教養を身につける	就職に必要な技能や知識を身に付ける	日本で働く、もしくは日本企業に就職する	国際的な経験をつんで国際的な人脈を作る	国際的な考え方を身につける	良い環境で研究を行う	日本語の能力を高める	異文化に接する	その他
集計 pt	9,528	5,212	5,747	8,489	3,767	2,447	1,659	3,606	2,521	133
集計 pt 率 (%)	22.1	12.1	13.3	19.7	8.7	5.7	3.8	8.4	5.8	0.3
人数 (人)	3,588	2,308	2,765	3,953	2,074	1,440	925	1,994	1,607	63
率 (%)	45.6	29.3	35.1	50.2	26.4	18.3	11.8	25.3	20.4	0.8
令和 3 年 (%)	47.0	26.3	37.1	48.3	24.8	20.3	12.1	25.7	20.8	0.7
令和元年 (%)	50.8	20.6	42.9	45.0	23.9	20.7	12.9	30.8	21.1	0.6

- （注） 1. 集計 pt は、最もあてはまるものを 3pt、2 番目にあてはまるものを 2pt、3 番目にあてはまるものを 1pt として集計した値で、集計 pt 率は、集計 pt の計（43,109）を 100 とした割合
2. 率は、回答者数の計（7,867 人）を 100 とした割合

日本を留学先として選んだ理由（第 2-2 表）を見ると、「日本社会に興味があり、日本で生活したかった」が 4,820 人（61.3%）で最も多く、次いで、「日本語・日本文化を勉強したかった」が 3,103 人（39.4%）、「日本の大学等の教育や研究が魅力的と思った」が 2,971 人（37.8%）と続く。

第 2-2 表 日本を留学先として選んだ理由（複数回答）

（Q4 参照）

区分	日本社会に興味があり、日本で生活したかった	日本の大学等の教育や研究が魅力的と思った	地理的に近いため	興味ある専門分野があった	異文化に接したかった	日本語・日本文化を勉強したかった	日本と関連のある職業に就きたかった	奨学金を得られた
集計 pt	12,332	6,857	2,778	4,005	3,076	5,992	2,230	651
集計 pt 率 (%)	28.6	15.9	6.4	9.3	7.1	13.9	5.2	1.5
人数 (人)	4,820	2,971	1,413	1,965	1,711	3,103	1,310	362
率 (%)	61.3	37.8	18.0	25.0	21.7	39.4	16.7	4.6
令和 3 年率 (%)	64.1	37.7	17.7	25.0	22.4	42.7	16.3	3.7
令和元年率 (%)	61.3	36.3	17.0	23.7	20.1	44.3	19.4	5.6

区分	友人、知人、家族等に勧められた	大学間交流等をきっかけとして	他の国も考えていたが、学力や費用等の条件が一番合った	その他
集計 pt	2,176	503	2,313	220
集計 pt 率 (%)	5.0	1.2	5.4	0.5
人数 (人)	1,188	283	1,357	105
率 (%)	15.1	3.6	17.2	1.3
令和 3 年率 (%)	14.6	3.7	14.3	1.1
令和元年率 (%)	15.8	5.2	15.9	1.3

- （注） 1. 集計 pt は、最もあてはまるものを 3pt、2 番目にあてはまるものを 2pt、3 番目にあてはまるものを 1pt として集計した値で、集計 pt 率は、集計 pt の計（43,133）を 100 とした割合
2. 率は、回答者数の計（7,867 人）を 100 とした割合

留学するにあたり不安に感じていたこと（第2-3表）を見ると、「周囲の人と良好な関係を築き、うまくコミュニケーションをとることができるか」3,916人（49.8%）が最も多く、次いで、「自分の希望する学習ができるか、また、学習の成果を上げることができるか」3,887人（49.4%）、「経済的な困難に直面しないか」が3,012人（38.3%）と続く。

第2-3表 留学するにあたり不安に感じていたこと（複数回答）（Q5参照）

区分	日本の天候や食べ物、習慣に適応できるか	自分の希望する学習ができるか、また、学習の成果を上げることができるか	周囲の人と良好な関係を築き、うまくコミュニケーションをとることができるか	適切な宿舎を確保できるか	病気にかかったり自然災害に遭ったりしないか	孤独に感じたりホームシックになったりしないか	経済的な困難に直面しないか	特に不安はなかった	その他
集計 pt	5,317	9,320	8,452	1,316	3,829	3,437	5,824	2,793	167
集計 pt 率 (%)	13.1	23.0	20.9	3.3	9.5	8.5	14.4	6.9	0.4
人数 (人)	2,167	3,887	3,916	718	1,958	1,839	3,012	1,111	80
率 (%)	27.5	49.4	49.8	9.1	24.9	23.4	38.3	14.1	1.0
令和3年率 (%)	24.5	48.7	48.8	7.2	31.9	25.4	42.3	12.2	0.9
令和元年率 (%)	27.1	47.4	49.4	9.2	27.7	22.6	37.8	15.4	1.0

- (注) 1. 集計 pt は、最もあてはまるものを 3pt、2 番目にあてはまるものを 2pt、3 番目にあてはまるものを 1pt として集計した値で、集計 pt 率は、集計 pt の計 (40,455) を 100 とした割合
2. 率は、回答者数の計 (7,867 人) を 100 とした割合

留学するまでに特に苦労したこと（第2-4表）を見ると、「日本語学習」が4,520人（57.5%）で最も多く、次いで、「情報の収集」が3,898人（49.5%）、「留学資金準備」が2,890人（36.7%）と続く。

第2-4表 留学するまでに特に苦労したこと（複数回答）（Q6参照）

区分	情報の収集	日本語学習	留学先学校との事前連絡	留学ビザ取得	留学資金準備	入学試験	その他
集計 pt	9,231	11,123	2,858	4,666	6,073	4,253	586
集計 pt 率 (%)	23.8	28.7	7.4	12.0	15.7	11.0	1.5
人数 (人)	3,898	4,520	1,500	2,243	2,890	2,218	250
率 (%)	49.5	57.5	19.1	28.5	36.7	28.2	3.2
令和3年率 (%)	47.1	56.7	18.8	28.6	41.5	32.4	2.3
令和元年率 (%)	49.6	53.8	20.6	27.3	38.4	29.8	2.4

- (注) 1. 集計 pt は、最もあてはまるものを 3pt、2 番目にあてはまるものを 2pt、3 番目にあてはまるものを 1pt として集計した値で、集計 pt 率は、集計 pt の計 (38,790) を 100 とした割合
2. 率は、回答者数の計 (7,867 人) を 100 とした割合

留学情報の入手方法（第 2-5 表）を見ると、「留学経験者の体験談などを聞いて」が 3,670 人（46.7%）で最も多く、次いで、「親戚や友人に相談」が 2,772 人（35.2%）、「母国の学校や教員に相談」が 2,482 人（31.5%）と続く。

第 2-5 表 留学情報の入手方法 （複数回答）

（Q7 参照）

区分	日本留学フェア 教育展等に 参加	入学を希望する 学校に直接 問い合わせ	在外日本大使館 等の在外公館に 問い合わせ	母国の政府 教育機関に 問い合わせ	日本学生支援 機構（JASSO）に 問い合わせ	インターネット を利用して学校 や日本学生支援 機構（JASSO）の HPを検索	留学経験者の体 験談などを聞いて
集計 pt	4,213	5,030	734	1,891	612	2,418	8,236
集計 pt 率 (%)	10.9	13.0	1.9	4.9	1.6	6.2	21.2
人数 (人)	1,658	2,099	354	798	292	1,120	3,670
率 (%)	21.1	26.7	4.5	10.1	3.7	14.2	46.7
令和3年率 (%)	27.4	27.7	5.8	13.9	4.2	31.2	—
令和元年率 (%)	25.3	29.7	5.8	12.6	4.1	35.7	—

区分	その他の 民間団体に 問い合わせ	日本の出版物を 購入	母国の学校や 教員に 相談	親戚や友人に 相談	その他
集計 pt	3,597	430	5,382	5,558	676
集計 pt 率 (%)	9.3	1.1	13.9	14.3	1.7
人数 (人)	1,621	248	2,482	2,772	280
率 (%)	20.6	3.2	31.5	35.2	3.6
令和3年率 (%)	22.0	5.2	35.7	42.0	2.3
令和元年率 (%)	18.4	5.2	32.0	42.0	2.5

- （注）
1. 集計 pt は、最もあてはまるものを 3pt、2 番目にあてはまるものを 2pt、3 番目にあてはまるものを 1pt として集計した値で、集計 pt 率は、集計 pt の計（38,777）を 100 とした割合
 2. 率は、回答者数の計（7,867 人）を 100 とした割合

3. 在日・在学年数及び入学前の活動

在日年数（第 3-1 表）を見ると、「1 年以上 2 年未満」が 3,299 人（41.9%）で最も多く、次いで、「1 年未満」が 1,389 人（17.7%）、「3 年以上 4 年未満」が 864 人（11.0%）と続く。

第 3-1 表 在日年数

（Q8 参照）

区分	1 年未満	1 年～2 年 未満	2 年～3 年 未満	3 年～4 年 未満	4 年～5 年 未満	5 年～6 年 未満	6 年以上	計
人数（人）	1,389	3,299	567	864	777	566	405	7,867
率（%）	17.7	41.9	7.2	11.0	9.9	7.2	5.1	100.0
令和 3 年率（%）	2.1	28.4	24.0	22.3	11.4	7.4	4.4	100.0
令和元年率（%）	15.9	31.5	19.5	15.5	8.3	5.1	4.2	100.0

（注） 率は、回答者数の計（7,867 人）を 100 とした割合

第 3-2 表 在籍段階別の在日年数

（Q8・12 参照）

区分		1 年未満	1 年～2 年 未満	2 年～3 年 未満	3 年～4 年 未満	4 年～5 年 未満	5 年～6 年 未満	6 年以上	計
大学院博士課程 博士後期課程	人数（人）	78	155	41	51	98	56	86	565
	率（%）	13.8	27.4	7.3	9.0	17.3	9.9	15.2	100.0
大学院修士課程 博士前期課程	人数（人）	152	255	64	77	69	75	128	820
	率（%）	18.5	31.1	7.8	9.4	8.4	9.1	15.6	100.0
専門職大学院 課程	人数（人）	12	8	2	1	4	6	3	36
	率（%）	33.3	22.2	5.6	2.8	11.1	16.7	8.3	100.0
大学院レベルの 研究生	人数（人）	11	18	9	8	11	6	2	65
	率（%）	16.9	27.7	13.8	12.3	16.9	9.2	3.1	100.0
学部正規課程	人数（人）	228	463	167	336	367	299	107	1,967
	率（%）	11.6	23.5	8.5	17.1	18.7	15.2	5.4	100.0
学部レベルの 研究生・聴講生	人数（人）	19	19	11	21	26	16	5	117
	率（%）	16.2	16.2	9.4	17.9	22.2	13.7	4.3	100.0
短期大学	人数（人）	8	22	9	18	6	6	1	70
	率（%）	11.4	31.4	12.9	25.7	8.6	8.6	1.4	100.0
専修学校 （専門課程）	人数（人）	165	554	197	321	171	82	51	1,541
	率（%）	10.7	36.0	12.8	20.8	11.1	5.3	3.3	100.0
準備教育課程	人数（人）	29	74	2	1	0	1	0	107
	率（%）	27.1	69.2	1.9	0.9	0.0	0.9	0.0	100.0
日本語教育機関	人数（人）	653	1,710	48	20	11	11	17	2,470
	率（%）	26.4	69.2	1.9	0.8	0.4	0.4	0.7	100.0
その他	人数（人）	34	21	17	10	14	8	5	109
	率（%）	31.2	19.3	15.6	9.2	12.8	7.3	4.6	100.0
計	人数（人）	1,389	3,299	567	864	777	566	405	7,867
	率（%）	17.7	41.9	7.2	11.0	9.9	7.2	5.1	100.0

（注） 率は、在籍段階別の回答者数の計を 100 とした割合

次の表（第 3-3 表と第 3-4 表）は、在籍段階別の在籍学生の入学経路と直接入学以外の者の在籍段階別の直近状況をまとめたものである。

表 3-3 を見ると、来日後「現在通っている大学・学校にすぐ入学した」と回答した者（直接入学の者）は 4,962 人（63.1%）で、そのうち大学・短期大学・専修学校（専門課程）への直接入学の者は 2,896 人（36.8%）である。また、「現在在籍している以外の学校に通ったり、就労等の経験がある」と回答した者（直接入学以外の者）は 2,905 人（36.9%）である。

第 3-3 表 在籍段階別の在籍学生の入学経路

(Q9・12 参照)

区分		大学院 博士課程 博士後期 課程	大学院 修士課程 博士前期 課程	専門職 大学院 課程	大学院 レベルの 研究生	学部正 規課程	学部 レベルの 研究生 聴講生	短期 大学	専修学校 (専門課 程)	準備教育 課程	日本語 教育機 関	その他	計
直接入学 の者	人数(人)	396	462	27	39	948	63	40	860	84	1,982	61	4,962
	率(%)	70.1	56.3	75.0	60.0	48.2	53.8	57.1	55.8	78.5	80.2	56.0	63.1
	令和3年率(%)	61.9	43.0	52.3	45.3	37.8	54.7	50.6	40.6	77.2	79.0	49.6	51.5
	令和元年率(%)	66.4	54.5	61.1	68.5	50.3	55.7	61.1	50.3	80.5	82.9	56.7	62.1
直接入学 以外の者	人数(人)	169	358	9	26	1,019	54	30	681	23	488	48	2,905
	率(%)	29.9	43.7	25.0	40.0	51.8	46.2	42.9	44.2	21.5	19.8	44.0	36.9
	令和3年率(%)	38.1	57.0	47.7	54.7	62.2	45.3	49.4	59.4	22.8	21.0	50.4	48.5
	令和元年率(%)	33.6	45.5	38.9	31.5	49.7	44.3	38.9	49.7	19.5	17.1	43.3	37.9
計	人数(人)	565	820	36	65	1,967	117	70	1,541	107	2,470	109	7,867
	率(%)	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

- (注) 1. 直接入学の者とは、現在在籍している大学・学校に来日後すぐに入学した者を示す
また、直接入学以外の者とは、現在在籍している以外の大学に通う他、就労等の経験がある者を示す
2. 率は、在籍段階別の回答者数の計を 100 とした割合

第 3-4 表 直接入学以外の者の在籍段階別の直近状況

(Q10・12 参照)

区分		大学院 博士課程 博士後期 課程	大学院 修士課程 博士前期 課程	専門職 大学院 課程	大学院 レベルの 研究生	学部正 規課程	学部 レベルの 研究生 聴講生	短期 大学	専修学校 (専門課 程)	準備教育 課程	日本語 教育機 関	その他	計
日本語 教育機関	人数(人)	81	209	8	19	816	31	19	565	15	389	34	2,186
	率(%)	47.9	58.4	88.9	73.1	80.1	57.4	63.3	83.0	65.2	79.7	70.8	75.2
準備教育課程	人数(人)	7	10	0	1	16	3	0	5	1	7	1	51
	率(%)	4.1	2.8	0.0	3.8	1.6	5.6	0.0	0.7	4.3	1.4	2.1	1.8
留学生別科	人数(人)	8	13	0	1	37	3	3	17	0	13	2	97
	率(%)	4.7	3.6	0.0	3.8	3.6	5.6	10.0	2.5	0.0	2.7	4.2	3.3
専修学校 (専門課程)	人数(人)	2	11	1	0	39	6	3	44	0	11	2	119
	率(%)	1.2	3.1	11.1	0.0	3.8	11.1	10.0	6.5	0.0	2.3	4.2	4.1
高等専門学校	人数(人)	2	5	0	2	24	2	0	4	0	5	1	45
	率(%)	1.2	1.4	0.0	7.7	2.4	3.7	0.0	0.6	0.0	1.0	2.1	1.5
短期大学	人数(人)	0	2	0	0	7	1	4	4	1	3	1	23
	率(%)	0.0	0.6	0.0	0.0	0.7	1.9	13.3	0.6	4.3	0.6	2.1	0.8
大学の学部	人数(人)	12	59	0	0	23	3	0	10	2	15	4	128
	率(%)	7.1	16.5	0.0	0.0	2.3	5.6	0.0	1.5	8.7	3.1	8.3	4.4
大学院	人数(人)	32	14	0	2	0	2	0	3	0	9	0	62
	率(%)	18.9	3.9	0.0	7.7	0.0	3.7	0.0	0.4	0.0	1.8	0.0	2.1
働いていた	人数(人)	13	21	0	1	13	1	1	18	2	30	0	100
	率(%)	7.7	5.9	0.0	3.8	1.3	1.9	3.3	2.6	8.7	6.1	0.0	3.4
その他	人数(人)	12	14	0	0	44	2	0	11	2	6	3	94
	率(%)	7.1	3.9	0.0	0.0	4.3	3.7	0.0	1.6	8.7	1.2	6.3	3.2
計	人数(人)	169	358	9	26	1,019	54	30	681	23	488	48	2,905
	率(%)	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

- (注) 1. 有効回答者は、第 3-3 表の回答者 (7,867 人) のうち、「直接入学以外の者」と回答した数 (2,905 人)
2. 率は、在籍段階別の回答者数の計を 100 とした割合

4. 留学後の日本への印象等

留学後の日本人に対する印象（第 4-1 表）を見ると、「良くなった」が 3,146 人（40.0％）で、「悪くなった」は 681 人（8.7％）である。

第 4-1 表 留学後の日本人に対する印象

（Q24 参照）

区分	留学前は悪かったが留学後に良くなった	留学前から良かったが留学後にさらに良くなった	留学前は良かったが留学後に悪くなった	留学前から悪かったが留学後にさらに悪くなった	留学前から良かったが留学後特に変化は無い	留学前から悪かったが留学後に特に変化は無い	計
人数（人）	394	2,752	598	83	3,722	318	7,867
率（％）	5.0	35.0	7.6	1.1	47.3	4.0	100.0
令和3年率（％）	6.9	27.9	6.7	0.5	57.0	1.0	100.0
令和元年率（％）	8.0	29.7	11.0	0.5	49.9	1.0	100.0

（注） 率は、回答者数の計（7,867 人）を 100 とした割合

日本へ留学しての全体的な印象（第 4-2 表）は、留学して「良かった」が 7,400 人（94.1％）であり、「悪かった」は 38 人（0.5％）である。

第 4-2 表 日本へ留学しての全体的な印象

（Q25 参照）

区分	良かった	悪かった	どちらともいえない	計
人数（人）	7,400	38	429	7,867
率（％）	94.1	0.5	5.5	100.0
令和3年率（％）	95.5	0.4	4.2	100.0
令和元年率（％）	92.7	0.7	6.6	100.0

（注） 率は、回答者数の計（7,867 人）を 100 とした割合

在日年数別の日本へ留学しての全体的な印象（第 4-3 表）を見ると、在日年数に関わらず「良かった」が 9 割以上である。

第 4-3 表 在日年数別の日本へ留学しての全体的な印象

（Q8・25 参照）

区分			良かった	悪かった	どちらともいえない	計
在日年数	1 年未満	人数（人）	1,308	2	79	1,389
		率（％）	94.2	0.1	5.7	100.0
	1 年～2 年未満	人数（人）	3,081	29	189	3,299
		率（％）	93.4	0.9	5.7	100.0
	2 年～3 年未満	人数（人）	527	4	36	567
		率（％）	92.9	0.7	6.3	100.0
	3 年～4 年未満	人数（人）	817	1	46	864
		率（％）	94.6	0.1	5.3	100.0
	4 年～5 年未満	人数（人）	736	0	41	777
		率（％）	94.7	0.0	5.3	100.0
	5 年～6 年未満	人数（人）	541	1	24	566
		率（％）	95.6	0.2	4.2	100.0
	6 年以上	人数（人）	390	1	14	405
		率（％）	96.3	0.2	3.5	100.0
計		人数（人）	7,400	38	429	7,867
		率（％）	94.1	0.5	5.5	100.0

（注） 率は、在日年数別の回答者数の計を 100 とした割合

留学して良かったこと（第4-4表）を見ると、「日本語が習得できたこと」が4,476人（60.5%）と最も多く、次いで「国際的な考え方、教養を身につけることができたこと」が4,115人（55.6%）と続く。

第4-4表 留学して良かったこと（複数回答）

（Q26参照）

区分	質の高い教育を受けられたこと	日本語が習得できたこと	日本人の友人ができたこと	国際的な人脈ができたこと	国際的な考え方、教養を身につけることができたこと	その他
集計 pt	9,988	10,736	4,816	4,603	7,775	445
集計 pt 率 (%)	26.0	28.0	12.6	12.0	20.3	1.2
人数 (人)	3,907	4,476	2,519	2,478	4,115	210
率 (%)	52.8	60.5	34.0	33.5	55.6	2.8
令和3年率 (%)	52.4	65.0	33.8	29.1	60.5	1.7
令和元年率 (%)	50.4	60.1	36.6	32.7	55.2	2.0

- （注）
- 有効回答者は、第4-2表の回答者（7,867人）のうち、「良かった」と回答した数（7,400人）
 - 集計 pt は、最もあてはまるものを3pt、2番目にあてはまるものを2pt、3番目にあてはまるものを1ptとして集計した値で、集計 pt 率は、集計 pt の計（38,363）を100とした割合
 - 率は、回答者数の計（7,400人）を100とした割合

在籍する学校での満足度（第4-5表）、満足な点（第4-6表）、不満な点（第4-7表）を見ると、「満足している」が6,703人（85.2%）、「満足していない」が293人（3.8%）である。満足な点としては「提供される教育・研究の質」が4,069人（51.7%）と最も多く、次いで「日本語能力の向上を目的とした授業」が3,458人（44.0%）と続く。一方、不満な点としては「不満なことがない」が3,633人（46.2%）と最も多く、次いで「日本人学生と交流できる機会」が1,573人（20.0%）である。

第4-5表 在籍する学校での満足度

（Q18参照）

区分	非常に満足している	満足している	どちらともいえない	あまり満足していない	満足していない	計
人数 (人)	2,803	3,900	871	201	92	7,867
率 (%)	35.6	49.6	11.1	2.6	1.2	100.0

- （注）率は、回答者数の計（7,867人）を100とした割合

第4-6表 在籍校の満足な点

（Q19・20参照）

区分	提供される教育・研究の質	日本語能力の向上を目的とした授業	学業面でのサポート	経済的なサポート（奨学金制度）	生活面（手続きや健康面など）に関するサポートや相談窓口	アルバイトや住居（学生寮やアパートなど）に関する情報	進学に関する情報提供及びサポート
集計 pt	10,611	8,230	6,347	3,062	2,829	1,347	2,557
集計 pt 率 (%)	25.3	19.6	15.1	7.3	6.7	3.2	6.1
人数 (人)	4,069	3,458	3,089	1,556	1,526	761	1,463
率 (%)	51.7	44.0	39.3	19.8	19.4	9.7	18.6

区分	就職に関する情報提供及びサポート	クラブ活動などの課外活動	日本人学生と交流できる機会	満足していない	その他
集計 pt	2,787	1,091	2,333	600	157
集計 pt 率 (%)	6.6	2.6	5.6	1.4	0.4
人数 (人)	1,550	630	1,288	221	72
率 (%)	19.7	8.0	16.4	2.8	0.9

- （注）
- 集計 pt は、最もあてはまるものを3pt、2番目にあてはまるものを2pt、3番目にあてはまるものを1ptとして集計した値で、集計 pt 率は、集計 pt の計（41,951）を100とした割合
 - 率は、回答者数の計（7,867人）を100とした割合

第 4-7 表 在籍校の不満な点

(Q19・20 参照)

区分	提供される教育・研究の質	日本語能力の向上を目的とした授業	学業面でのサポート	経済的なサポート（奨学金制度）	生活面（手続きや健康面など）に関するサポートや相談窓口	アルバイトや住居（学生寮やアパートなど）に関する情報	進学に関する情報提供及びサポート
集計 pt	2,068	1,718	1,236	3,585	1,221	1,826	967
集計 pt 率 (%)	6.6	5.5	4.0	11.5	3.9	5.9	3.1
人数 (人)	799	711	585	1,409	580	809	461
率 (%)	10.2	9.0	7.4	17.9	7.4	10.3	5.9

区分	就職に関する情報提供及びサポート	クラブ活動などの課外活動	日本人学生と交流できる機会	不満なことがない	その他
集計 pt	1,262	2,502	3,575	10,468	701
集計 pt 率 (%)	4.1	8.0	11.5	33.6	2.3
人数 (人)	600	1,118	1,573	3,633	288
率 (%)	7.6	14.2	20.0	46.2	3.7

- (注) 1. 集計 pt は、最もあてはまるものを 3pt、2 番目にあてはまるものを 2pt、3 番目にあてはまるものを 1pt として集計した値で、集計 pt 率は、集計 pt の計 (31,129) を 100 とした割合
2. 率は、回答者数の計 (7,867 人) を 100 とした割合

在籍段階別の日本人学生との交流（第 4-8 表）を見ると、日常生活において授業以外で日本人学生と交流する機会について、「交流している」が 5,554 人（70.6%）である。

第 4-8 表 在籍段階別の日本人学生との交流（授業以外）

(Q12・21 参照)

区分		交流している	交流していない	計
大学院博士課程・博士後期課程	人数 (人)	406	159	565
	率 (%)	71.9	28.1	100.0
大学院修士課程・博士前期課程	人数 (人)	592	228	820
	率 (%)	72.2	27.8	100.0
専門職大学院課程	人数 (人)	27	9	36
	率 (%)	75.0	25.0	100.0
大学院レベルの研究生	人数 (人)	49	16	65
	率 (%)	75.4	24.6	100.0
学部正規課程	人数 (人)	1,590	377	1,967
	率 (%)	80.8	19.2	100.0
学部レベルの研究生・聴講生	人数 (人)	89	28	117
	率 (%)	76.1	23.9	100.0
短期大学	人数 (人)	57	13	70
	率 (%)	81.4	18.6	100.0
専修学校（専門課程）	人数 (人)	1,053	488	1,541
	率 (%)	68.3	31.7	100.0
準備教育課程	人数 (人)	66	41	107
	率 (%)	61.7	38.3	100.0
日本語教育機関	人数 (人)	1,539	931	2,470
	率 (%)	62.3	37.7	100.0
その他	人数 (人)	86	23	109
	率 (%)	78.9	21.1	100.0
計	人数 (人)	5,554	2,313	7,867
	率 (%)	70.6	29.4	100.0

(注) 率は、在籍段階別の回答者数の計を 100 とした割合

在籍段階別の日本人学生との交流（具体的な内容）（第 4-9 表）を見ると、「学校が実施する交流イベント」、「学校の課外活動」、「学校が提供するプログラム」、「授業外で課題などの勉強を一緒にする」の学校内および勉強を通じた交流があると回答した人数は、3,095 人（55.7%）であった。

第 4-9 表 在籍段階別の日本人学生との交流（具体的な内容）（複数回答）（Q12・22 参照）

区分		学校が 実施する 交流イ ベント	学校の 課外活 動	学校が 提供す るプロ グラム	学校以 外が主 催する 交流イ ベント	休み時 間・休 日を一 緒に過 ごす	授業外 で課題 などの 勉強を 一緒に する	住んで いると ころ	アルバ イト	その他	計
大学院博士課程・博士後期課程	人数（人）	165	102	119	87	167	99	54	102	19	914
	率（%）	18.1	11.2	13.0	9.5	18.3	10.8	5.9	11.2	2.1	100.0
大学院修士課程・博士前期課程	人数（人）	235	178	149	124	256	199	62	198	22	1,423
	率（%）	16.5	12.5	10.5	8.7	18.0	14.0	4.4	13.9	1.5	100.0
専門職大学院課程	人数（人）	7	8	4	7	13	11	3	8	0	61
	率（%）	11.5	13.1	6.6	11.5	21.3	18.0	4.9	13.1	0.0	100.0
大学院レベルの研究生	人数（人）	18	17	7	7	16	11	8	22	1	107
	率（%）	16.8	15.9	6.5	6.5	15.0	10.3	7.5	20.6	0.9	100.0
学部正規課程	人数（人）	581	593	226	282	728	525	167	701	11	3,814
	率（%）	15.2	15.5	5.9	7.4	19.1	13.8	4.4	18.4	0.3	100.0
学部レベルの研究生・聴講生	人数（人）	43	27	18	20	35	34	9	46	0	232
	率（%）	18.5	11.6	7.8	8.6	15.1	14.7	3.9	19.8	0.0	100.0
短期大学	人数（人）	22	20	8	4	23	16	9	35	1	138
	率（%）	15.9	14.5	5.8	2.9	16.7	11.6	6.5	25.4	0.7	100.0
専修学校（専門課程）	人数（人）	244	165	84	108	275	161	98	671	5	1,811
	率（%）	13.5	9.1	4.6	6.0	15.2	8.9	5.4	37.1	0.3	100.0
準備教育課程	人数（人）	8	10	6	5	15	8	7	41	2	102
	率（%）	7.8	9.8	5.9	4.9	14.7	7.8	6.9	40.2	2.0	100.0
高等教育機関計	人数（人）	1,323	1,120	621	644	1,528	1,064	417	1,824	61	8,602
	率（%）	15.4	13.0	7.2	7.5	17.8	12.4	4.8	21.2	0.7	100.0
日本語教育機関	人数（人）	232	196	89	180	382	140	189	973	15	2,396
	率（%）	9.7	8.2	3.7	7.5	15.9	5.8	7.9	40.6	0.6	100.0
その他	人数（人）	26	20	14	10	31	22	12	43	0	178
	率（%）	14.6	11.2	7.9	5.6	17.4	12.4	6.7	24.2	0.0	100.0
計	人数（人）	1,581	1,336	724	834	1,941	1,226	618	2,840	76	11,176
	率（%）	14.1	12.0	6.5	7.5	17.4	11.0	5.5	25.4	0.7	100.0

（注）率は、在籍段階別の回答者数の計を 100 とした割合

【参考】

		学校内および勉強を通じた交流	生活、休日での交流	その他
高等教育機関	人数（人）	2,566	3,137	34
	率（%）	65.3%	79.8%	0.9%
日本語教育機関	人数（人）	474	1,361	5
	率（%）	30.8%	88.4%	0.3%
その他	人数（人）	55	70	0
	率（%）	64.0%	81.4%	0.0%
計	人数（人）	3,095	4,568	39
	率（%）	55.7%	82.2%	0.7%

（注）率は、第 4-8 表で「交流している」と回答した数（5,554 人）を在籍段階別人数 100 とした割合

在籍段階別の日本人学生との交流（具体的な頻度）（第4-10表）を見ると、「週2～4回」が2,575人（46.4%）と最も多く、次いで「週1回」が1,062人（19.1%）、「週5回以上」955人（17.2%）と続く。

第4-10表 在籍段階別の日本人との交流（具体的な頻度）（Q23参照）

区分		週5回以上	週2～4回	週1回	月1回	それ以下	計
大学院博士課程・博士後期課程	人数（人）	59	151	92	60	44	406
	率（%）	14.5	37.2	22.7	14.8	10.8	100.0
大学院修士課程・博士前期課程	人数（人）	97	273	117	72	33	592
	率（%）	16.4	46.1	19.8	12.2	5.6	100.0
専門職大学院課程	人数（人）	1	7	11	6	2	27
	率（%）	3.7	25.9	40.7	22.2	7.4	100.0
大学院レベルの研究生	人数（人）	4	26	15	4	0	49
	率（%）	8.2	53.1	30.6	8.2	0.0	100.0
学部正規課程	人数（人）	269	718	340	204	59	1,590
	率（%）	16.9	45.2	21.4	12.8	3.7	100.0
学部レベルの研究生・聴講生	人数（人）	16	43	18	6	6	89
	率（%）	18.0	48.3	20.2	6.7	6.7	100.0
短期大学	人数（人）	9	31	9	6	2	57
	率（%）	15.8	54.4	15.8	10.5	3.5	100.0
専修学校（専門課程）	人数（人）	190	508	172	117	66	1,053
	率（%）	18.0	48.2	16.3	11.1	6.3	100.0
準備教育課程	人数（人）	14	33	10	6	3	66
	率（%）	21.2	50.0	15.2	9.1	4.5	100.0
日本語教育機関	人数（人）	285	744	260	146	104	1,539
	率（%）	18.5	48.3	16.9	9.5	6.8	100.0
その他	人数（人）	11	41	18	9	7	86
	率（%）	12.8	47.7	20.9	10.5	8.1	100.0
計	人数（人）	955	2,575	1,062	636	326	5,554
	率（%）	17.2	46.4	19.1	11.5	5.9	100.0

（注）率は、在籍段階別の回答者数の計を100とした割合

留学後の苦労（第 4-11 表）を見ると、「物価が高い」が 5,618 人（71.4%）と最も多く、次いで、「日常生活における母国の習慣（生活習慣、宗教上の習慣等）との違い」が 2,889 人（36.7%）、「日本語の習得」が 2,841 人（36.1%）と続く。

第 4-11 表 留学後の苦労（複数回答）

（Q23 参照）

区分	物価が高い	日常生活における母国の習慣（生活習慣、宗教上の習慣等）との違い	宿舍等を探す	宿舍等におけるルール（ゴミ出し等）を守る	日本語の習得	英語の習得	学校内で日本人学生と交流できない
集計 pt	15,331	6,246	2,649	2,245	5,862	1,670	2,434
集計 pt 率 (%)	38.9	15.8	6.7	5.7	14.9	4.2	6.2
人数 (人)	5,618	2,889	1,324	1,233	2,841	885	1,335
率 (%)	71.4	36.7	16.8	15.7	36.1	11.2	17.0
令和 3 年率 (%)	74.3	38.1	18.9	13.5	36.0	12.1	22.2
令和元年率 (%)	75.0	35.6	20.3	12.6	30.6	13.5	20.9

区分	学校の教員、職員とのコミュニケーションが取れない	学校の授業についていく	その他
集計 pt	747	1,514	718
集計 pt 率 (%)	1.9	3.8	1.8
人数 (人)	443	873	327
率 (%)	5.6	11.1	4.2
令和 3 年率 (%)	7.4	11.3	3.8
令和元年率 (%)	7.1	12.0	3.9

- （注）
1. 集計 pt は、最もあてはまるものを 3pt、2 番目にあてはまるものを 2pt、3 番目にあてはまるものを 1pt として集計した値で、集計 pt 率は、集計 pt の計（39,416）を 100 とした割合
 2. 率は、回答者数の計（7,867 人）を 100 とした割合

5. 収入

※「5. 収入」、「6. 奨学金」、「7. 支出」においては、Q24 の収入・支出に関する設問で有効な回答があった 7,599 人についてのみの集計となる（※第 1-3 表の回答者数（7,867 人）と回答者数が異なる）。

全体の平均月收入額は、170,000 円である。在籍段階別の平均月收入額（第 5-3 表）を見ると、「学部正規課程」が 185,000 円と最も高く、次いで、「準備教育課程」が 175,000 円、「大学院レベルの研究生」が 174,000 円、「学部レベルの研究生・聴講生」が 171,000 円、「日本語教育課程」が 169,000 円、「大学院博士課程・博士後期課程」が 166,000 円、「専修学校（専門課程）」が 163,000 円、「大学院修士課程・博士前期課程」が 160,000 円、「専門職大学院課程」と「短期大学」が 158,000 円、「その他」が 150,000 円と続く。

第 5-1 表 収入・支出の有効回答者の在籍段階別内訳数 (Q12・28・29 参照)

区分	大学院 博士課程 博士後期 課程	大学院 修士課程 博士前期 課程	専門職大 学院課程	大学院 レベルの 研究生	学部正規 課程	学部 レベルの 研究生 聴講生	短期大学	専修学校 (専門課 程)	準備教育 課程	日本語 教育機関	その他	計
人数(人)	551	802	36	55	1,922	105	67	1,485	98	2,373	105	7,599

- (注) 1. 有効回答者は、第 1-3 表の回答者（7,867 人）のうち、Q24 の収入・支出において、有効な回答とみなされた数（7,599 人）
2. 第 1-3 表の在籍学校「大学」に在籍する留学生別科、専攻科等は「その他」に含む

第 5-2 表 収入・支出の有効回答者の在籍学校別内訳 (Q11・12・28・29 参照)

区分	大学				短期大学	専修学校 (専門課程)	準備教育 課程	高等教育 機関計	日本語 教育機関	計
	国立	公立	私立	大学計						
人数(人)	1,141	119	2,316	3,576	67	1,485	98	5,226	2,373	7,599

- (注) 有効回答者は、第 5-1 表の回答者（7,599 人）

第 5-3 表 在籍段階別の平均月收入額 (全体と在籍段階別) (Q12・28 参照)

区分	大学院 博士課程 博士後期 課程	大学院 修士課程 博士前期 課程	専門職大 学院課程	大学院 レベルの 研究生	学部正規 課程	学部 レベルの 研究生 聴講生	短期 大学	専修学校 (専門課 程)	準備教育 課程	日本語 教育機関	その他	全体	(参考) 中央値
平均月額(千円)	166	160	158	174	185	171	158	163	175	169	150	170	150
令和3年(千円)	155	154	165	143	168	152	136	154	158	157	149	158	
令和元年(千円)	143	142	153	136	148	145	138	150	159	153	138	148	

- (注) 1. 有効回答者は、第 5-1 表の回答者（7,599 人）
2. 平均月額は、在籍段階別の収入額の計を、第 5-1 表の在籍段階別の人数で除した額
3. 中央値とは、低い金額から高い金額へと順に並べ、ちょうど中央に当たる値を言う
ただし、データの件数が偶数の場合は、中央の 2 つの値の平均値を中央値とする

大学国公私別の平均月收入額（第 5-4 表）を見ると、全体の平均収入額が 174,000 円であり、私立大学が 188,000 円、国立大学が 151,000 円、公立大学が 139,000 円である。

第 5-4 表 大学国公私別の平均月收入額 (Q11・12・28 参照)

区分	大学			全体
	国立	公立	私立	
平均月額(千円)	151	139	188	174
令和3年(千円)	139	125	173	161
令和元年(千円)	124	127	157	145

- (注) 1. 有効回答者は、第 5-1 表の回答者（7,599 人）のうち、第 5-2 表の「大学」に在籍する数（3,576 人）
2. 平均月額は、大学国公私別の収入額の計を、大学国公私別の人数で除した額

項目別平均月収入額（第 5-5 表）を見ると、高等教育機関においては、「仕送り」が 3,539 人（67.7%）で 113,000 円、「アルバイト」が 3,467 人（66.3%）で 81,000 円、「奨学金」が 2,300 人（44.0%）で 70,000 円と続く。日本語教育機関においては、「アルバイト」が 1,697 人（71.5%）で 106,000 円、「仕送り」が 1,603 人（67.6%）で 116,000 円、「奨学金」が 313 人（13.2%）で 35,000 円と続く。

第 5-5 表 項目別平均月収入額（収入額の計を当該収入を得ている者の計で除した額）（Q12・28 参照）

区分		仕送り	アルバイト	奨学金	知人の援助	配偶者の収入	その他
高等教育機関	人数（人）	3,539	3,467	2,300	126	99	422
	率（%）	67.7	66.3	44.0	2.4	1.9	8.1
	平均月額（千円）	113	81	70	36	157	79
日本語教育機関	人数（人）	1,603	1,697	313	65	23	155
	率（%）	67.6	71.5	13.2	2.7	1.0	6.5
	平均月額（千円）	116	106	35	42	132	117

- （注） 1. 有効回答者は、第 5-1 表の回答者（7,599 人）
 2. 率は、第 5-2 表の高等教育機関（5,226 人）・日本語教育機関（2,373 人）別の人数を 100 とした割合
 3. 平均月額は、高等教育機関・日本語教育機関別に各項目の収入額の計を、各項目別に収入を得ている人数で除した額（収入を得ている者の平均月額）

【参考】項目別平均月収入額（収入額の計を、当該収入を得ている者及び得ていない者の計で除した額）（Q12・28 参照）

区分		仕送り	アルバイト	奨学金	知人の援助	配偶者の収入	その他
高等教育機関	平均月額（千円）	76	54	31	1	3	6
日本語教育機関	平均月額（千円）	78	76	5	1	1	8

- （注） 1. 有効回答者は、第 5-1 表の回答者（7,599 人）
 2. 平均月額は、高等教育機関・日本語教育機関別に各項目の収入額の計を、第 5-2 表の高等教育機関（5,226 人）・日本語教育機関（2,373 人）の人数で除した額 ※（当該収入を得ていない者も人数に含む）

居住地域別平均月収入額（第 5-6 表）は、関東地方が 193,000 円と全国で最も高く、東北地方、四国地方が 133,000 円と最も低い。なお、東京のみでは 199,000 円となっている。

第 5-6 表 居住地域別平均月収入額（単位：千円）（Q12・28・35 参照）

区分	北海道	東北	関東	中部	近畿	中国	四国	九州	東京	全国平均
高等教育機関	144	132	195	147	172	147	134	143	202	171
日本語教育機関	151	136	190	141	159	129	100	139	196	169
全体	146	133	193	146	168	144	133	142	199	170

- （注） 1. 有効回答者は、第 5-1 表の回答者（7,599 人）
 2. 平均月額は、高等教育機関・日本語教育機関別に、各居住地域の 1 か月の収入額の計を、各居住地域別の人数で除した額

第 5-7 表 居住地域別の項目別収入内訳（単位：千円）（Q28・35 参照）

区分	北海道	東北	関東	中部	近畿	中国	四国	九州	東京	全国平均
仕送り	58	44	106	45	70	41	37	41	120	77
アルバイト	48	65	55	62	65	71	58	68	50	61
奨学金	30	19	21	31	21	26	33	21	19	23
知人の援助	1	1	1	0	1	1	0	1	1	1
配偶者の収入	2	3	2	4	2	2	1	5	1	2
その他	7	3	7	3	9	3	4	8	9	7

- （注） 1. 有効回答者は、第 5-1 表の回答者（7,599 人）
 2. 収入内訳は、項目別に、各居住地域の収入額の計を、各居住地域別の回答者の人数（収入を得ている者及び得ていない者）の計で除した額

6. 奨学金

※「5. 収入」、「6. 奨学金」、「7. 支出」においては、Q24 の収入・支出に関する設問で有効な回答があった 7,599 人についてのみの集計となる（※第 1-3 表の回答者数（7,867 人）と回答者数が異なる）。

奨学金の受給者は 2,613 人で、全体（Q24 の有効回答者）の 34.4% である。奨学金の受給内容内訳（第 6-1 表）を見ると、高等教育機関では、「学習奨励費」が 962 人（41.8%）、月額 48,000 円が最も多く、次いで「大学・学校からの奨学金」が 632 人（27.5%）、58,000 円、「民間団体の奨学金」が 518 人（22.5%）、94,000 円と続く。日本語教育機関では、「学習奨励費」が 204 人（65.2%）、30,000 円が最も多く、次いで「大学・学校からの奨学金」が 57 人（18.2%）27,000 円、「地方自治体（都道府県市区町村）による援助金」が 31 人（9.9%）で 24,000 円と続く。

第 6-1 表 奨学金の受給内容内訳（複数回答）

（Q12・28 参照）

区分		学習奨励費	大学・学校からの奨学金	地方自治体 （都道府県市区町村） による援助金	民間団体の 奨学金	海外の団体 による奨学金 （日本以外の団体）	その他の 奨学金
高等教育機関	人数（人）	962	632	155	518	39	203
	率（%）	41.8	27.5	6.7	22.5	1.7	8.8
	平均月額（千円）	48	58	43	94	102	87
	令和 3 年（千円）	48	47	46	93	124	86
	令和元年（千円）	48	42	52	90	84	73
日本語教育機関	人数（人）	204	57	31	26	10	19
	率（%）	65.2	18.2	9.9	8.3	3.2	6.1
	平均月額（千円）	30	27	24	56	42	33
	令和 3 年（千円）	30	17	9	32	168	48
	令和元年（千円）	30	16	6	18	4	28

- （注） 1. 有効回答者は、第 5-5 表の回答者（7,599 人）のうち、「奨学金を受給している」と回答した数（2,613 人）
 2. 率は、回答者の人数の計を高等教育機関（2,300 人）・日本語教育機関（313 人）別にそれぞれ 100 とした割合
 3. 平均月額は、高等教育機関・日本語教育機関別に、各項目の支出額の計を、各項目別に支出をしている人数で除した額（支出をしている者の平均月額）

在籍学校別奨学金受給者（第 6-2 表）を見ると、「国立大学」が 680 人（59.6%）で、平均月額が 94,000 円と最も高く、最も低い金額は、「日本語教育機関」313 人（13.2%）で、35,000 円である。

第 6-2 表 在籍学校別奨学金受給者（年度別比較表）（Q11・12・28 参照）

区分	大学				短期大学	専修学校 (専門課程)	準備教育課程	高等教育機関計
	国立	公立	私立	大学計				
人数（人）	680	78	1,153	1,911	22	356	11	2,300
率（%）	59.6	65.5	49.8	53.4	32.8	24.0	11.2	44.0
令和 3 年率（%）	62.7	69.3	63.4	63.4	47.7	37.7	63.9	53.5
令和元年率（%）	59.9	73.7	45.4	51.1	30.4	19.6	19.2	41.2
平均月額（千円）	94	75	62	74	45	46	74	70
令和 3 年率（%）	87	75	60	68	40	48	50	62
令和元年率（%）	78	68	59	66	42	42	45	62

区分	日本語 教育機関	計
人数（人）	313	7,599
率（%）	13.2	100.0
令和 3 年率（%）	35.2	100.0
令和元年率（%）	13.1	100.0
平均月額（千円）	35	—
令和 3 年率（%）	32	—
令和元年率（%）	39	—

- （注） 1. 有効回答者は、第 5-1 表の回答者（7,599 人）
2. 率は、第 5-2 表の在籍学校別の人数を 100 とした割合
3. 平均月額は、在籍学校別の受給額の計を、在籍学校別に受給を得ている人数で除した額（受給している者の平均月額）

在籍段階別奨学金受給者（第 6-3 表）を見ると、最も受給率が高いのは、「大学院博士課程・博士後期課程」の 65.3%（360 人）で、平均月額は 118,000 円である。次いで、「大学院修士課程・博士前期課程」の 55.6%（446 人、76,000 円）、「学部正規課程」の 51.5%（990 人、59,000 円）、と続く。最も受給率が低いのは、「準備教育課程」の 11.2%（11 人、74,000 円）である。

第 6-3 表 在籍段階別奨学金受給者（Q12・28 参照）

区分	大学院 博士課程 博士後期 課程	大学院 修士課程 博士前期 課程	専門職 大学院 課程	大学院 レベルの 研究生	学部正 規課程	学部 レベルの 研究生 聴講生	短期 大学	専修学校 (専門課 程)	準備教育 課程	日本語 教育機関	その他	計
人数（人）	360	446	14	18	990	48	22	356	11	313	35	2,613
率（%）	65.3	55.6	38.9	32.7	51.5	45.7	32.8	24.0	11.2	13.2	33.3	34.4
令和 3 年率（%）	66.1	62.5	47.6	37.1	64.8	58.3	47.7	37.7	63.9	35.2	58.7	49.7
令和元年率（%）	66.2	55.0	22.2	26.9	48.0	47.3	30.4	19.6	19.2	13.1	33.6	33.4
平均月額（千円）	118	76	61	65	59	57	45	46	74	35	68	66
令和 3 年率（%）	102	74	56	47	58	57	40	48	50	32	61	58
令和元年率（%）	92	71	67	59	55	64	42	42	45	39	51	60

- （注） 1. 有効回答者は、第 5-5 表の回答者（7,599 人）のうち、「奨学金を受給している」と回答した数（2,613 人）
2. 率は、第 5-1 表の在籍段階別の人数を 100 とした割合
3. 平均月額は、在籍段階別の受給額の計を、在籍段階別に受給を得ている人数で除した額（受給している者の平均月額）

7. 支出

※「5. 収入」、「6. 奨学金」、「7. 支出」においては、Q24の収入・支出に関する設問で有効な回答があった7,599人についてのみの集計となる（※第1-3表の回答者数（7,867人）と回答者数が異なる）。

在籍段階別の平均月支出額（第7-1表）を見ると、「学部正規課程」が185,000円と最も高く、以下、「準備教育課程」が175,000円、「大学院レベルの研究生」が174,000円、「学部レベルの研究生・聴講生」が171,000円、「日本語教育課程」が169,000円、「大学院博士課程・博士後期課程」が166,000円、「専修学校（専門課程）」が163,000円、「大学院修士課程・博士前期課程」が160,000円、「専門職大学院課程」と「短期大学」が158,000円、「その他」が150,000円と続く。支出の平均月額170,000円である。

第7-1表 在籍段階別の平均月支出額（全体と在籍段階別）（Q12・29参照）

区分	大学院 博士課程 博士後期 課程	大学院 修士課程 博士前期 課程	専門職大 学院課程	大学院 レベルの 研究生	学部正規 課程	学部 レベルの 研究生 聴講生	短期大学	専修学校 （専門課 程）	準備教育 課程	日本語 教育機関	その他	全体	（参考） 中央値
平均月額（千円）	166	160	158	174	185	171	158	163	175	169	150	170	150
令和3年（千円）	155	154	165	143	168	152	136	154	158	157	149	158	
令和元年（千円）	143	142	153	136	148	145	138	150	159	153	138	148	

- （注）1. 有効回答者は、第1-3表の回答者（7,867人）のうち、Q24の収入・支出において、有効な回答とみなされた数（7,599人）で、表5-1表で有効な回答とみなされた数（7,599人）と同じ回答者である。
2. 第1-3表の在籍学校「大学」に在籍する留学生別科、専攻科等は「その他」を含む
3. 中央値とは、低い金額から高い金額へと順に並べ、ちょうど中央に当たる値を言う
ただし、データの件数が偶数の場合は、中央の2つの値の平均値を中央値とする

大学国公私別の平均月支出額（第7-2表）を見ると、私立大学が188,000円と最も高く、国立大学が151,000円、公立大学が139,000円と続く。

第7-2表 大学国公私別の平均月支出額（Q11・12・29参照）

区分	大学			大学全体
	国立	公立	私立	
平均月額（千円）	151	139	188	174
令和3年（千円）	139	125	173	161
令和元年（千円）	124	127	157	145

- （注）1. 有効回答者は、第5-1表及び第7-1表の回答者（7,599人）のうち、第5-2表の「大学」に在籍する数（3,576人）
2. 平均月額は、大学国公私別の支出額の計を、大学国公私別の人数で除した額

居住地域別の平均月支出額（第7-3表）を見ると、関東地方が平均193,000円と全国で最も高く、東北地方、四国地方が133,000円と最も低い。なお、東京のみでは、199,000円である。

第7-3表 居住地域別の平均月支出額（単位：千円）（Q12・29・35参照）

区分	北海道	東北	関東	中部	近畿	中国	四国	九州	東京	全国平均
高等教育機関	144	132	195	147	172	147	134	143	202	171
日本語教育機関	151	136	190	141	159	129	100	139	196	169
全体	146	133	193	146	168	144	133	142	199	170

- （注）1. 有効回答者は、第5-1表及び第7-1表の回答者（7,599人）
2. 平均月額は、高等教育機関・日本語教育機関別に、各居住地域の1か月の支出額の計を、各居住地域別の人数で除した額

第 7-4 表 居住地地域別の項目別支出内訳 (単位: 千円)

(Q29・35 参照)

区分	北海道	東北	関東	中部	近畿	中国	四国	九州	東京	全国平均
学習研究費	39	42	56	45	54	49	42	48	56	52
通学費	3	2	6	3	4	2	1	3	6	4
食費	29	27	36	30	32	29	28	27	37	32
住居費	34	26	51	30	40	26	27	29	57	41
電気、ガス、水道料金	10	9	8	8	7	9	8	7	7	8
保険、医療費	3	3	3	4	3	3	3	3	3	3
趣味、娯楽費	7	6	10	6	7	6	5	5	10	8
その他の日常的な経費	8	9	9	8	8	9	8	8	10	9
残額	13	11	14	11	13	11	10	13	13	13

(注) 1. 有効回答者は、第 5-1 表及び第 7-1 表の回答者 (7,599 人)

2. 支出内訳は、項目別に、各居住地地域の支出額の計を、各居住地地域別の回答者数 (支出をしている者及びしていない者) の計で除した額

項目別平均月支出額の内訳 (第 7-5 表) を見ると、「学習研究費」が 61,000 円と最も高く、次いで「住居費」が 44,000 円、「食費」が 34,000 円、「その他の日常的な経費」が 14,000 円、「趣味・娯楽費」が 13,000 円、「電気、ガス、水道料金」が 9,000 円、「通学費」が 8,000 円と続く。

第 7-5 表 項目別平均月支出額の内訳

(Q29 参照)

区分	学習研究費	通学費	食費	住居費	電気、ガス 水道料金	保険 医療費	趣味 娯楽費	その他の日常 的な経費	残額
人数 (人)	6,528	3,933	7,322	7,147	6,288	5,906	4,788	4,806	4,045
率 (%)	85.9	51.8	96.4	94.1	82.7	77.7	63.0	63.2	53.2
平均月額 (千円)	61	8	34	44	9	4	13	14	24
令和 3 年率 (%)	93.2	55.5	97.9	95.6	88.1	85.5	61.9	77.3	64.3
令和 3 年 (千円)	60	7	28	39	8	4	8	10	13

(注) 1. 有効回答者は、第 5-1 表及び第 7-1 表の回答者 (7,599 人)

2. 率は、回答者数の計 (7,599 人) を 100 とした割合

3. 平均月額は、各項目の支出額の計を、各項目別に支出をしている人数で除した額 (支出をしている者の平均月額)

学習研究費の内訳 (第 7-6 表) を見ると、「授業料」の平均月額が 60,000 円と最も多く、「教科書、実習材料、文具等の経費」が 8,000 円、「サークル活動の会費、合宿費」が 9,000 円と続く。

第 7-6 表 学習研究費の内訳

(Q11・12・29 参照)

区分	授業料*	(授業料内訳) 学校種別							教科書、実習 材料、文具等 の経費*	サークル活動 の会費、合宿 費*
		国立	公立	私立	短期大学	専修学校 (専門課程)	準備教育 課程	日本語 教育機関		
人数 (人)	5,971	763	96	1,856	54	1,217	73	1,912	3,803	788
率 (%)	78.6	66.9	80.7	80.1	80.6	82.0	74.5	80.6	50.0	10.4
平均月額 (千円)	60	40	36	73	62	61	55	56	8	9

(注) 1. 有効回答者は、第 5-1 表及び第 7-1 表の回答者 (7,599 人)

2. * 印の率は、回答者数の計 (7,599 人) を 100 とした割合

3. 学校種別の率は、第 5-2 表の在籍学校別の人数を 100 とした割合

4. 平均月額は、各項目の支出額の計を、各項目別に支出をしている人数で除した額 (支出をしている者の平均月額)

宿舎形態と在籍学校区分による平均月支出額（第 7-7 表）を見ると、「民間アパート・マンション等」に居住する学生が 5,380 人（70.8%）と最も多い。宿舎については、第 10 節で詳しく触れる。

第 7-7 表 宿舎形態と在籍学校区分による平均月支出額

（Q11・12・29・36 参照）

区分		国立大学			公立大学			私立大学		
		大学院 レベル の学生	学部 レベル の学生	全体	大学院 レベル の学生	学部 レベル の学生	全体	大学院 レベル の学生	学部 レベル の学生	全体
民間アパート・ マンション等	人数（人）	499	198	697	41	37	78	387	1,365	1,752
	平均月額（千円）	165	149	162	148	134	142	184	197	200
大学・学校の学 生寮（留学生 用・一般学生用）	人数（人）	249	84	333	18	11	29	94	217	311
	平均月額（千円）	127	125	128	118	130	123	168	167	178
その他	人数（人）	87	16	103	10	2	12	59	97	156
	平均月額（千円）	162	169	163	128	333	162	180	189	191
計	人数（人）	835	298	1,133	69	50	119	540	1,679	2,219
	平均月額（千円）	154	143	152	138	141	139	181	192	196

区分		短期 大学	専修 学校 （専門 課程）	準備教 育課程	日本語 教育 機関	その他	計
民間アパート・ マンション等	人数（人）	44	1,099	70	1,569	71	5,380
	平均月額（千円）	179	170	176	176	155	178
大学・学校の学 生寮（留学生用・一 般学生用）	人数（人）	13	230	12	524	28	1,480
	平均月額（千円）	99	137	142	150	137	145
その他	人数（人）	10	156	16	280	6	739
	平均月額（千円）	137	153	192	166	154	167
計	人数（人）	67	1,485	98	2,373	105	7,599
	平均月額（千円）	158	163	175	169	150	170

（注） 1. 有効回答者は、第 5-1 表及び第 7-1 表の回答者（7,599 人）

2. 平均月額は、各項目の支出額の計を、各項目別の人数で除した額

※大学院レベルは、博士課程・博士後期課程、修士課程・博士前期課程、専門職大学院課程、大学院レベルの研究生を示し、学部レベルは、学部正規課程、学部レベルの研究生・聴講生を示す。

8. アルバイト

アルバイト従事率（第 8-1 表）を見ると、「アルバイトをしている」学生は 5,133 人（65.2％）である。

第 8-1 表 アルバイト従事率

（Q30 参照）

区分	アルバイトをしている	アルバイトをしていない	計
人数（人）	5,133	2,734	7,867
率（％）	65.2	34.8	100.0
令和 3 年率（％）	67.0	33.0	100.0
令和元年率（％）	70.4	29.6	100.0

（注）率は、回答者数の計（7,867 人）を 100 とした割合

第 8-2 表 在籍学校別アルバイト従事率

（Q11・12・30 参照）

区分	大学				短期大学	専修学校 （専門課程）	準備教育 課程	高等教育 機関計	日本語 教育機関	計
	国立	公立	私立	大学計						
人数（人）	561	71	1,435	2,067	56	1,245	64	3,432	1,701	5,133
率（％）	48.0	58.7	60.1	56.2	80.0	80.8	59.8	63.6	68.9	65.2
令和 3 年率（％）	54.4	64.8	61.4	59.7	84.3	84.1	62.0	69.4	59.2	67.0
令和元年率（％）	55.3	56.7	72.0	66.4	86.8	84.9	46.9	71.5	67.5	70.4

（注）1. 有効回答者は、第 8-1 表の回答数（7,867 人）のうち、「アルバイトをしている」と回答した数（5,133 人）
2. 率は、第 1-3 表の在籍学校別の人数を 100 とした割合

第 8-3 表 在籍段階別アルバイト従事率

（Q12・30 参照）

区分	大学院 博士課程 博士後期 課程	大学院 修士課程 博士前期 課程	専門職大 学院課程	大学院 レベルの 研究生	学部正規 課程	学部 レベルの 研究生 聴講生	短期大学	専修学校 （専門課 程）	準備教 育課程	日本語 教育機関	その他	計
人数（人）	268	415	20	43	1,154	89	56	1,245	64	1,701	78	5,133
率（％）	47.4	50.6	55.6	66.2	58.7	76.1	80.0	80.8	59.8	68.9	71.6	65.2
令和 3 年率（％）	60.4	52.4	77.3	84.4	59.8	72.6	84.3	84.1	62.0	59.2	69.3	67.0
令和元年率（％）	53.1	61.9	80.6	77.8	69.1	83.5	86.8	84.9	46.9	67.5	82.3	70.4

（注）1. 有効回答者は、第 8-1 表の回答数（7,867 人）のうち、「アルバイトをしている」と回答した数（5,133 人）
2. 率は、第 1-4 表の在籍段階別の人数を 100 とした割合

アルバイトの職種（第8-4表）を見ると、軽労働の「飲食業」が2,014人（39.2%）と最も多く、次いで、「営業・販売（コンビニ等）」が1,460人（28.4%）、「工場での組立作業」が306人（6.0%）、「ティーチングアシスタント・リサーチアシスタント」が288人（5.6%）と続く。

第8-4表 アルバイトの職種（複数回答）

（Q31参照）

区分	講師				事務		軽労働					
	家庭教師	語学教師	塾講師	ティーチングアシスタント・リサーチアシスタント	一般事務	経理事務	清掃	警備	ビル管理	ガソリンスタンド	配達	発送作業
人数（人）	72	175	85	288	159	15	172	11	6	3	139	70
率（%）	1.4	3.4	1.7	5.6	3.1	0.3	3.4	0.2	0.1	0.1	2.7	1.4
令和3年率（%）	1.5	3.9	1.9	5.6	2.9	0.3	3.2	0.2	0.1	0.1	3.5	2.0
令和元年率（%）	1.7	5.1	1.5	5.6	4.5	0.6	3.5	0.2	0.2	0.1	2.1	1.0

区分	軽労働				重労働				特殊技能			その他
	飲食業	営業・販売（コンビニ等）	ホテル受付・ホール係	出版物等の印刷作業	土木・建設作業	引越業	工場での組立作業	倉庫整理	翻訳通訳	プログラマー・オペレーター	グラフィック・デザイナー	
人数（人）	2,014	1,460	216	13	9	14	306	151	151	33	31	271
率（%）	39.2	28.4	4.2	0.3	0.2	0.3	6.0	2.9	2.9	0.6	0.6	5.3
令和3年率（%）	35.0	30.2	2.0	0.2	0.2	0.2	6.1	2.5	2.9	0.5	0.7	10.7
令和元年率（%）	40.2	33.0	4.8	0.2	0.3	0.4	3.0	1.1	6.3	0.7	0.4	4.4

- （注） 1. 有効回答者は、第8-1表の回答数（7,867人）のうち、「アルバイトをしている」と回答した数（5,133人）
2. 率は、回答者数の計（5,133人）を100とした割合

1 週間のアルバイトの時間数(第 8-5 表)を見ると、「週 20 時間以上 25 時間未満」が 1,898 人(37.0%)と最も多く、次いで、「週 25 時間以上」が 918 人(17.9%)と続く。

第 8-5 表 1 週間のアルバイトの時間数 (全体と在籍段階別) (Q12・32 参照)

区分		5 時間未満	5 時間～10 時間未満	10 時間～15 時間未満	15 時間～20 時間未満	20 時間～25 時間未満	25 時間以上	不明	計
大学院博士課程・博士後期課程	人数(人)	40	62	57	56	43	10	0	268
	率(%)	14.9	23.1	21.3	20.9	16.0	3.7	0.0	100.0
大学院修士課程・博士前期課程	人数(人)	44	86	94	109	66	15	1	415
	率(%)	10.6	20.7	22.7	26.3	15.9	3.6	0.2	100.0
専門職大学院課程	人数(人)	1	5	3	6	3	2	0	20
	率(%)	5.0	25.0	15.0	30.0	15.0	10.0	0.0	100.0
大学院レベルの研究生	人数(人)	3	4	1	8	17	10	0	43
	率(%)	7.0	9.3	2.3	18.6	39.5	23.3	0.0	100.0
学部正規課程	人数(人)	75	198	221	258	299	102	1	1,154
	率(%)	6.5	17.2	19.2	22.4	25.9	8.8	0.1	100.0
学部レベルの研究生・聴講生	人数(人)	8	7	10	22	30	12	0	89
	率(%)	9.0	7.9	11.2	24.7	33.7	13.5	0.0	100.0
短期大学	人数(人)	1	2	8	14	23	6	2	56
	率(%)	1.8	3.6	14.3	25.0	41.1	10.7	3.6	100.0
専修学校(専門課程)	人数(人)	46	54	87	180	600	277	1	1,245
	率(%)	3.7	4.3	7.0	14.5	48.2	22.2	0.1	100.0
準備教育課程	人数(人)	7	3	4	16	28	5	1	64
	率(%)	10.9	4.7	6.3	25.0	43.8	7.8	1.6	100.0
日本語教育機関	人数(人)	44	103	109	214	764	463	4	1,701
	率(%)	2.6	6.1	6.4	12.6	44.9	27.2	0.2	100.0
その他	人数(人)	2	9	15	11	25	16	0	78
	率(%)	2.6	11.5	19.2	14.1	32.1	20.5	0.0	100.0
計	人数(人)	271	533	609	894	1,898	918	10	5,133
	率(%)	5.3	10.4	11.9	17.4	37.0	17.9	0.2	100.0
	令和 3 年率(%)	5.0	9.4	13.2	19.7	37.0	15.4	0.3	100.0
	令和元年率(%)	5.3	9.7	13.5	19.2	39.2	13.1	0.0	100.0

(注) 1. 有効回答者は、第 8-1 表の回答数(7,867 人)のうち、「アルバイトをしている」と回答した数(5,133 人)

2. 率は、在籍段階別の回答者数の計を 100 とした割合

第 8-6 表 奨学金受給者の有無別アルバイト従事率 (Q28・30 参照)

区分		アルバイトをしている	アルバイトをしていない	計
奨学金を受給している	人数(人)	1,731	1,041	2,772
	率(%)	62.4	37.6	100.0
奨学金を受給していない	人数(人)	3,402	1,693	5,095
	率(%)	66.8	33.2	100.0
計	人数(人)	5,133	2,734	7,867
	率(%)	65.2	34.8	100.0

(注) 1. 率は、奨学金を受給している(2,772 人)・奨学金を受給していない(5,095 人)別の人数を 100 とした割合

2. 奨学金受給者有無は、収入・支出の有効回答者からの抽出ではなく、第 1-3 表の回答者(7,867 人)から抽出した人数のため、第 6-2 表の奨学金受給者(2,613 人)と奨学金非受給者数(4,986 人)とは異なる

奨学金受給者のアルバイト時間数（第 8-7 表）を見ると、全体では「週 20 時間以上 25 時間未満」が 486 人（28.1%）と最も多く、次いで「週 15 時間以上 20 時間未満」が 331 人（19.1%）と続く。

奨学金非受給者のアルバイト時間数（第 8-8 表）を見ると、「週 20 時間以上 25 時間未満」が 1,412 人（41.5%）と最も多く、次いで「25 時間以上」が 703 人（20.7%）と続く。

奨学金受給者のアルバイト時間数（第 8-7 表）と奨学金非受給者のアルバイト時間数（第 8-8 表）から奨学金受給者と非受給者のアルバイト時間数を比較すると、非受給者の方がアルバイトに費やす時間が多い。

第 8-7 表 奨学金受給者のアルバイト時間数（全体と在籍段階別）（Q12・28・32 参照）

区分		5 時間未満	5 時間～10 時間未満	10 時間～15 時間未満	15 時間～20 時間未満	20 時間～25 時間未満	25 時間以上	不明	計
大学院博士課程・博士後期課程	人数（人）	29	49	32	30	18	4	0	162
	率（%）	17.9	30.2	19.8	18.5	11.1	2.5	0.0	100.0
大学院修士課程・博士前期課程	人数（人）	29	53	61	50	32	5	1	231
	率（%）	12.6	22.9	26.4	21.6	13.9	2.2	0.4	100.0
専門職大学院課程	人数（人）	1	3	2	2	0	0	0	8
	率（%）	12.5	37.5	25.0	25.0	0.0	0.0	0.0	100.0
大学院レベルの研究生	人数（人）	2	0	1	3	7	4	0	17
	率（%）	11.8	0.0	5.9	17.6	41.2	23.5	0.0	100.0
学部正規課程	人数（人）	50	103	130	136	162	50	1	632
	率（%）	7.9	16.3	20.6	21.5	25.6	7.9	0.2	100.0
学部レベルの研究生・聴講生	人数（人）	6	5	6	12	14	4	0	47
	率（%）	12.8	10.6	12.8	25.5	29.8	8.5	0.0	100.0
短期大学	人数（人）	1	1	2	7	8	2	0	21
	率（%）	4.8	4.8	9.5	33.3	38.1	9.5	0.0	100.0
専修学校（専門課程）	人数（人）	15	23	35	48	127	75	0	323
	率（%）	4.6	7.1	10.8	14.9	39.3	23.2	0.0	100.0
準備教育課程	人数（人）	1	1	2	4	1	0	1	10
	率（%）	10.0	10.0	20.0	40.0	10.0	0.0	10.0	100.0
日本語教育機関	人数（人）	6	14	21	36	111	68	1	257
	率（%）	2.3	5.4	8.2	14.0	43.2	26.5	0.4	100.0
その他	人数（人）	1	4	6	3	6	3	0	23
	率（%）	4.3	17.4	26.1	13.0	26.1	13.0	0.0	100.0
計	人数（人）	141	256	298	331	486	215	4	1,731
	率（%）	8.1	14.8	17.2	19.1	28.1	12.4	0.2	100.0
	令和 3 年率（%）	6.8	11.2	16.9	21.8	31.0	11.9	0.3	100.0
	令和元年率（%）	8.2	14.2	17.1	20.1	32.2	8.3	0.0	100.0

- （注） 1. 有効回答者は、第 8-1 表の回答者数（7,867 人）のうち、「アルバイトをしている」と回答し、かつ「奨学金を受給している」と回答した数（1,731 人）
2. 率は、在籍段階別の回答者数の計を 100 とした割合
3. 奨学金受給者有無は、収入・支出の有効回答者からの抽出ではなく、第 1-3 表の回答者（7,867 人）から抽出した人数のため、第 6-2 表の奨学金受給者（2,613 人）と奨学金非受給者数（4,986 人）とは異なる

第 8-8 表 奨学金非受給者のアルバイト時間数 (全体と在籍段階別)

(Q12・28・32 参照)

区分		5 時間未満	5 時間～10 時間未満	10 時間～15 時間未満	15 時間～20 時間未満	20 時間～25 時間未満	25 時間以上	不明	計
大学院博士課程・博士後期課程	人数 (人)	11	13	25	26	25	6	0	106
	率 (%)	10.4	12.3	23.6	24.5	23.6	5.7	0.0	100.0
大学院修士課程・博士前期課程	人数 (人)	15	33	33	59	34	10	0	184
	率 (%)	8.2	17.9	17.9	32.1	18.5	5.4	0.0	100.0
専門職大学院課程	人数 (人)	0	2	1	4	3	2	0	12
	率 (%)	0.0	16.7	8.3	33.3	25.0	16.7	0.0	100.0
大学院レベルの研究生	人数 (人)	1	4	0	5	10	6	0	26
	率 (%)	3.8	15.4	0.0	19.2	38.5	23.1	0.0	100.0
学部正規課程	人数 (人)	25	95	91	122	137	52	0	522
	率 (%)	4.8	18.2	17.4	23.4	26.2	10.0	0.0	100.0
学部レベルの研究生・聴講生	人数 (人)	2	2	4	10	16	8	0	42
	率 (%)	4.8	4.8	9.5	23.8	38.1	19.0	0.0	100.0
短期大学	人数 (人)	0	1	6	7	15	4	2	35
	率 (%)	0.0	2.9	17.1	20.0	42.9	11.4	5.7	100.0
専修学校 (専門課程)	人数 (人)	31	31	52	132	473	202	1	922
	率 (%)	3.4	3.4	5.6	14.3	51.3	21.9	0.1	100.0
準備教育課程	人数 (人)	6	2	2	12	27	5	0	54
	率 (%)	11.1	3.7	3.7	22.2	50.0	9.3	0.0	100.0
日本語教育機関	人数 (人)	38	89	88	178	653	395	3	1,444
	率 (%)	2.6	6.2	6.1	12.3	45.2	27.4	0.2	100.0
その他	人数 (人)	1	5	9	8	19	13	0	55
	率 (%)	1.8	9.1	16.4	14.5	34.5	23.6	0.0	100.0
計	人数 (人)	130	277	311	563	1,412	703	6	3,402
	率 (%)	3.8	8.1	9.1	16.5	41.5	20.7	0.2	100.0
	令和3年率 (%)	3.4	7.9	9.9	17.8	42.3	18.4	0.3	100.0
	令和元年率 (%)	3.9	7.4	11.7	18.7	42.8	15.6	0.0	100.0

- (注) 1. 有効回答者は、第 8-1 表の回答者数 (7,867 人) のうち、「アルバイトをしている」と回答し、かつ「奨学金を受給していない」と回答した数 (3,402 人)
2. 率は、在籍段階別の回答者数の計を 100 とした割合
3. 奨学金受給者有無は、収入・支出の有効回答者からの抽出ではなく、第 1-3 表の回答者 (7,867 人) から抽出した人数のため、第 6-2 表の奨学金受給者 (2,613 人) と奨学金非受給者数 (4,986 人) とは異なる

アルバイトに従事する理由 (第 8-9 表) を見ると、「日本での生活を維持するために必要だから」が 3,293 人 (64.2%) と最も多い。

第 8-9 表 アルバイトに従事する理由

(Q33 参照)

区分	日本での生活を維持するために必要だから	日本人との交流等良い機会になるから	教養・娯楽等にあてる費用を得るため	その他	不明	計
人数 (人)	3,293	962	750	118	10	5,133
率 (%)	64.2	18.7	14.6	2.3	0.2	100.0
令和3年率 (%)	72.4	15.7	10.3	1.5	0.0	100.0
令和元年率 (%)	67.9	24.3	6.6	1.3	0.0	100.0

- (注) 1. 有効回答者は、第 8-1 表の回答者 (7,867 人) のうち、「アルバイトをしている」と回答した数 (5,133 人)
2. 率は、回答者数の計 (5,133 人) を 100 とした割合

アルバイトの時給額（第8-10表）を見ると、「1,000円以上1,200円未満」が2,575人（50.2%）と最も多く、次いで、「1,200円以上1,400円未満」が1,053人（20.5%）と続く。

第8-10表 アルバイトの時給額（全体と在籍段階別）

（Q12・34参照）

区分		1,000円未満	1,000円～1,200円未満	1,200円～1,400円未満	1,400円～1,600円未満	1,600円～1,800円未満	1,800円～2,000円未満	2,000円以上	不明	計
大学院博士課程・博士後期課程	人数（人）	36	84	65	37	11	9	26	0	268
	率（%）	13.4	31.3	24.3	13.8	4.1	3.4	9.7	0.0	100.0
大学院修士課程・博士前期課程	人数（人）	97	192	72	20	6	11	16	1	415
	率（%）	23.4	46.3	17.3	4.8	1.4	2.7	3.9	0.2	100.0
専門職大学院課程	人数（人）	8	8	4	0	0	0	0	0	20
	率（%）	40.0	40.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
大学院レベルの研究生	人数（人）	14	22	5	2	0	0	0	0	43
	率（%）	32.6	51.2	11.6	4.7	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
学部正規課程	人数（人）	241	622	193	55	8	8	26	1	1,154
	率（%）	20.9	53.9	16.7	4.8	0.7	0.7	2.3	0.1	100.0
学部レベルの研究生・聴講生	人数（人）	22	44	14	6	0	0	3	0	89
	率（%）	24.7	49.4	15.7	6.7	0.0	0.0	3.4	0.0	100.0
短期大学	人数（人）	27	20	6	0	0	0	1	2	56
	率（%）	48.2	35.7	10.7	0.0	0.0	0.0	1.8	3.6	100.0
専修学校（専門課程）	人数（人）	259	607	301	56	11	5	5	1	1,245
	率（%）	20.8	48.8	24.2	4.5	0.9	0.4	0.4	0.1	100.0
準備教育課程	人数（人）	14	29	13	5	1	0	1	1	64
	率（%）	21.9	45.3	20.3	7.8	1.6	0.0	1.6	1.6	100.0
日本語教育機関	人数（人）	311	905	375	72	14	9	11	4	1,701
	率（%）	18.3	53.2	22.0	4.2	0.8	0.5	0.6	0.2	100.0
その他	人数（人）	22	42	5	5	2	0	2	0	78
	率（%）	28.2	53.8	6.4	6.4	2.6	0.0	2.6	0.0	100.0
計	人数（人）	1,051	2,575	1,053	258	53	42	91	10	5,133
	率（%）	20.5	50.2	20.5	5.0	1.0	0.8	1.8	0.2	100.0
	令和3年率（%）	34.1	49.0	10.6	2.9	0.5	0.7	1.9	0.3	100.0
	令和元年率（%）	38.6	45.2	11.1	2.1	0.5	0.9	1.6	0.0	100.0

（注）1. 有効回答者は、第8-1表の回答者（7,867人）のうち、「アルバイトをしている」と回答した数（5,133人）

2. 率は、在籍段階別の回答者数の計を100とした割合

9. 授業時間を除く学習・研究時間

在籍段階別学習・研究時間（第9-1表）を見ると、「週7～14時間未満」が1,998人（25.4%）で最も多く、次いで「週14～21時間未満」が1,904人（24.2%）と続く。

第9-1表 在籍段階別学習・研究時間

（Q12・16参照）

区分		7時間 未満	7～14 時間未満	14～21 時間未満	21～28 時間未満	28～35 時間未満	35～42 時間未満	42～49 時間未満	49時間 以上	計
大学院博士課程 ・博士後期課程	人数（人）	20	57	61	66	89	111	71	90	565
	率（%）	3.5	10.1	10.8	11.7	15.8	19.6	12.6	15.9	100.0
大学院修士課程 ・博士前期課程	人数（人）	49	161	160	157	133	69	46	45	820
	率（%）	6.0	19.6	19.5	19.1	16.2	8.4	5.6	5.5	100.0
専門職大学院 課程	人数（人）	3	9	8	3	6	3	2	2	36
	率（%）	8.3	25.0	22.2	8.3	16.7	8.3	5.6	5.6	100.0
大学院レベルの 研究生	人数（人）	11	18	10	12	6	4	3	1	65
	率（%）	16.9	27.7	15.4	18.5	9.2	6.2	4.6	1.5	100.0
学部正規課程	人数（人）	282	587	467	321	179	79	22	30	1,967
	率（%）	14.3	29.8	23.7	16.3	9.1	4.0	1.1	1.5	100.0
学部レベルの 研究生・聴講生	人数（人）	23	38	25	20	6	4	0	1	117
	率（%）	19.7	32.5	21.4	17.1	5.1	3.4	0.0	0.9	100.0
短期大学	人数（人）	17	15	16	11	6	3	2	0	70
	率（%）	24.3	21.4	22.9	15.7	8.6	4.3	2.9	0.0	100.0
専修学校 （専門課程）	人数（人）	291	401	358	252	129	66	21	23	1,541
	率（%）	18.9	26.0	23.2	16.4	8.4	4.3	1.4	1.5	100.0
準備教育課程	人数（人）	25	26	23	19	10	1	1	2	107
	率（%）	23.4	24.3	21.5	17.8	9.3	0.9	0.9	1.9	100.0
日本語教育機関	人数（人）	414	653	747	367	171	61	24	33	2,470
	率（%）	16.8	26.4	30.2	14.9	6.9	2.5	1.0	1.3	100.0
その他	人数（人）	18	33	29	15	9	3	0	2	109
	率（%）	16.5	30.3	26.6	13.8	8.3	2.8	0.0	1.8	100.0
計	人数（人）	1,153	1,998	1,904	1,243	744	404	192	229	7,867
	率（%）	14.7	25.4	24.2	15.8	9.5	5.1	2.4	2.9	100.0
	令和3年率（%）	11.1	22.5	25.4	17.3	11.2	6.1	3.1	3.3	100.0
	令和元年率（%）	14.7	24.4	24.0	16.6	9.0	5.0	2.9	3.5	100.0

（注）率は、在籍段階別の回答者数の計を100とした割合

奨学金受給者及び非受給者の在籍段階別学習・研究時間（第9-2表と第9-3表）を比較すると、奨学金受給者の方が非受給者よりも学習・研究時間が多い。

第9-2表 奨学金受給者の在籍段階別学習・研究時間

（Q12・16・28参照）

区分		7時間未満	7～14時間未満	14～21時間未満	21～28時間未満	28～35時間未満	35～42時間未満	42～49時間未満	49時間以上	計
大学院博士課程・博士後期課程	人数（人）	13	40	36	42	57	75	47	58	368
	率（％）	3.5	10.9	9.8	11.4	15.5	20.4	12.8	15.8	100.0
大学院修士課程・博士前期課程	人数（人）	21	82	81	88	86	44	25	29	456
	率（％）	4.6	18.0	17.8	19.3	18.9	9.6	5.5	6.4	100.0
専門職大学院課程	人数（人）	1	3	3	3	1	2	1	0	14
	率（％）	7.1	21.4	21.4	21.4	7.1	14.3	7.1	0.0	100.0
大学院レベルの研究生	人数（人）	3	6	4	6	2	1	1	1	24
	率（％）	12.5	25.0	16.7	25.0	8.3	4.2	4.2	4.2	100.0
学部正規課程	人数（人）	130	307	241	174	99	43	17	12	1,023
	率（％）	12.7	30.0	23.6	17.0	9.7	4.2	1.7	1.2	100.0
学部レベルの研究生・聴講生	人数（人）	12	16	13	13	2	1	0	0	57
	率（％）	21.1	28.1	22.8	22.8	3.5	1.8	0.0	0.0	100.0
短期大学	人数（人）	6	6	7	3	0	1	0	0	23
	率（％）	26.1	26.1	30.4	13.0	0.0	4.3	0.0	0.0	100.0
専修学校（専門課程）	人数（人）	58	106	90	70	38	24	7	10	403
	率（％）	14.4	26.3	22.3	17.4	9.4	6.0	1.7	2.5	100.0
準備教育課程	人数（人）	6	1	5	4	2	0	0	0	18
	率（％）	33.3	5.6	27.8	22.2	11.1	0.0	0.0	0.0	100.0
日本語教育機関	人数（人）	43	87	98	64	33	15	6	3	349
	率（％）	12.3	24.9	28.1	18.3	9.5	4.3	1.7	0.9	100.0
その他	人数（人）	6	10	8	6	6	1	0	0	37
	率（％）	16.2	27.0	21.6	16.2	16.2	2.7	0.0	0.0	100.0
計	人数（人）	299	664	586	473	326	207	104	113	2,772
	率（％）	10.8	24.0	21.1	17.1	11.8	7.5	3.8	4.1	100.0
	令和3年率（％）	8.1	21.6	24.6	17.8	12.1	7.8	3.9	4.1	100.0
	令和元年率（％）	10.4	22.4	22.3	17.6	11.0	6.8	3.9	5.7	100.0

- （注） 1. 有効回答者は、第8-6表の回答者（7,867人）のうち、「奨学金を受給している」と回答した数（2,722人）
2. 率は、在籍段階別の回答者数の計を100とした割合
3. 奨学金受給者有無は、収入・支出の有効回答者からの抽出ではなく、第1-3表の回答者（7,867人）から抽出した人数のため、第6-2表の奨学金受給者（2,613人）と奨学金非受給者数（4,986人）とは異なる

第 9-3 表 奨学金非受給者の在籍段階別学習・研究時間

(Q12・16・28 参照)

区分		7 時間 未満	7～14 時間未満	14～21 時間未満	21～28 時間未満	28～35 時間未満	35～42 時間未満	42～49 時間未満	49 時間 以上	計
大学院博士課程 ・博士後期課程	人数 (人)	7	17	25	24	32	36	24	32	197
	率 (%)	3.6	8.6	12.7	12.2	16.2	18.3	12.2	16.2	100.0
大学院修士課程 ・博士前期課程	人数 (人)	28	79	79	69	47	25	21	16	364
	率 (%)	7.7	21.7	21.7	19.0	12.9	6.9	5.8	4.4	100.0
専門職大学院 課程	人数 (人)	2	6	5	0	5	1	1	2	22
	率 (%)	9.1	27.3	22.7	0.0	22.7	4.5	4.5	9.1	100.0
大学院レベルの 研究生	人数 (人)	8	12	6	6	4	3	2	0	41
	率 (%)	19.5	29.3	14.6	14.6	9.8	7.3	4.9	0.0	100.0
学部正規課程	人数 (人)	152	280	226	147	80	36	5	18	944
	率 (%)	16.1	29.7	23.9	15.6	8.5	3.8	0.5	1.9	100.0
学部レベルの 研究生・聴講生	人数 (人)	11	22	12	7	4	3	0	1	60
	率 (%)	18.3	36.7	20.0	11.7	6.7	5.0	0.0	1.7	100.0
短期大学	人数 (人)	11	9	9	8	6	2	2	0	47
	率 (%)	23.4	19.1	19.1	17.0	12.8	4.3	4.3	0.0	100.0
専修学校 (専門課程)	人数 (人)	233	295	268	182	91	42	14	13	1138
	率 (%)	20.5	25.9	23.6	16.0	8.0	3.7	1.2	1.1	100.0
準備教育課程	人数 (人)	19	25	18	15	8	1	1	2	89
	率 (%)	21.3	28.1	20.2	16.9	9.0	1.1	1.1	2.2	100.0
日本語教育機関	人数 (人)	371	566	649	303	138	46	18	30	2121
	率 (%)	17.5	26.7	30.6	14.3	6.5	2.2	0.8	1.4	100.0
その他	人数 (人)	12	23	21	9	3	2	0	2	72
	率 (%)	16.7	31.9	29.2	12.5	4.2	2.8	0.0	2.8	100.0
計	人数 (人)	854	1,334	1,318	770	418	197	88	116	5,095
	率 (%)	16.8	26.2	25.9	15.1	8.2	3.9	1.7	2.3	100.0
	令和3年率 (%)	13.8	23.4	26.2	16.8	10.5	4.6	2.3	2.5	100.0
	令和元年率 (%)	17.1	25.5	24.9	16.0	7.9	4.0	2.4	2.2	100.0

- (注) 1. 有効回答者は、第 8-6 表の回答者 (7,867 人) のうち、「奨学金を受給していない」と回答した数 (5,095 人)
2. 率は、在籍段階別の回答者数の計を 100 とした割合
3. 奨学金受給者有無は、収入・支出の有効回答者からの抽出ではなく、第 1-3 表の回答者 (7,867 人) から抽出した人数のため、第 6-2 表の奨学金受給者 (2,613 人) と奨学金非受給者数 (4,986 人) とは異なる

第 9-4 表 専攻別の学習・研究時間

(Q15・16 参照)

区分		7 時間 未満	7～14 時間未満	14～21 時間未満	21～28 時間未満	28～35 時間未満	35～42 時間未満	42～49 時間未満	49 時間 以上	計
人文科学	人数 (人)	117	179	147	93	69	30	8	14	657
	率 (%)	17.8	27.2	22.4	14.2	10.5	4.6	1.2	2.1	100.0
社会科学	人数 (人)	276	505	411	309	148	75	28	25	1,777
	率 (%)	15.5	28.4	23.1	17.4	8.3	4.2	1.6	1.4	100.0
理学	人数 (人)	16	53	51	39	39	35	28	32	293
	率 (%)	5.5	18.1	17.4	13.3	13.3	11.9	9.6	10.9	100.0
工学	人数 (人)	123	248	221	195	160	100	49	63	1,159
	率 (%)	10.6	21.4	19.1	16.8	13.8	8.6	4.2	5.4	100.0
農学	人数 (人)	12	16	17	16	13	16	14	9	113
	率 (%)	10.6	14.2	15.0	14.2	11.5	14.2	12.4	8.0	100.0
医・歯学	人数 (人)	12	35	29	30	32	23	12	16	189
	率 (%)	6.3	18.5	15.3	15.9	16.9	12.2	6.3	8.5	100.0
薬学	人数 (人)	3	6	4	3	4	3	6	1	30
	率 (%)	10.0	20.0	13.3	10.0	13.3	10.0	20.0	3.3	100.0
家政	人数 (人)	14	21	9	9	7	3	1	1	65
	率 (%)	21.5	32.3	13.8	13.8	10.8	4.6	1.5	1.5	100.0
教育	人数 (人)	18	38	38	24	8	9	2	2	139
	率 (%)	12.9	27.3	27.3	17.3	5.8	6.5	1.4	1.4	100.0
芸術	人数 (人)	59	120	102	98	55	39	15	28	516
	率 (%)	11.4	23.3	19.8	19.0	10.7	7.6	2.9	5.4	100.0
日本語	人数 (人)	501	774	875	425	206	71	29	38	2,919
	率 (%)	17.2	26.5	30.0	14.6	7.1	2.4	1.0	1.3	100.0
その他	人数 (人)	2	3	0	2	3	0	0	0	10
	率 (%)	20.0	30.0	0.0	20.0	30.0	0.0	0.0	0.0	100.0
計	人数 (人)	1,153	1,998	1,904	1,243	744	404	192	229	7,867
	率 (%)	14.7	25.4	24.2	15.8	9.5	5.1	2.4	2.9	100.0
	令和3年率 (%)	11.1	22.5	25.4	17.3	11.2	6.1	3.1	3.3	100.0
	令和元年率 (%)	14.7	24.4	24.0	16.6	9.0	5.0	2.9	3.5	100.0

(注) 率は、専攻分野別の回答者数の計を 100 とした割合

専攻別の奨学金受給者及び非受給者の学習・研究時間（第 9-5 表と第 9-6 表）を比較すると、奨学金受給者の方が非受給者よりも学習・研究時間が多い。

第 9-5 表 専攻別の奨学金受給者の学習・研究時間

（Q15・16・28 参照）

区分		7 時間 未満	7～14 時間未満	14～21 時間未満	21～28 時間未満	28～35 時間未満	35～42 時間未満	42～49 時間未満	49 時間 以上	計
人文科学	人数（人）	47	96	72	47	39	16	6	9	332
	率（％）	14.2	28.9	21.7	14.2	11.7	4.8	1.8	2.7	100.0
社会科学	人数（人）	109	217	185	145	82	39	17	9	803
	率（％）	13.6	27.0	23.0	18.1	10.2	4.9	2.1	1.1	100.0
理学	人数（人）	5	30	22	23	22	20	18	18	158
	率（％）	3.2	19.0	13.9	14.6	13.9	12.7	11.4	11.4	100.0
工学	人数（人）	41	109	98	100	87	60	28	45	568
	率（％）	7.2	19.2	17.3	17.6	15.3	10.6	4.9	7.9	100.0
農学	人数（人）	5	7	9	7	9	11	10	6	64
	率（％）	7.8	10.9	14.1	10.9	14.1	17.2	15.6	9.4	100.0
医・歯学	人数（人）	6	20	18	20	15	17	7	12	115
	率（％）	5.2	17.4	15.7	17.4	13.0	14.8	6.1	10.4	100.0
薬学	人数（人）	0	3	3	2	3	2	3	0	16
	率（％）	0.0	18.8	18.8	12.5	18.8	12.5	18.8	0.0	100.0
家政	人数（人）	3	10	3	4	2	1	1	0	24
	率（％）	12.5	41.7	12.5	16.7	8.3	4.2	4.2	0.0	100.0
教育	人数（人）	8	20	17	10	7	6	1	2	71
	率（％）	11.3	28.2	23.9	14.1	9.9	8.5	1.4	2.8	100.0
芸術	人数（人）	15.0	39.0	26.0	39.0	16.0	20.0	7.0	9.0	171
	率（％）	8.8	22.8	15.2	22.8	9.4	11.7	4.1	5.3	100.0
日本語	人数（人）	59	111	133	76	42	15	6	3	445
	率（％）	13.3	24.9	29.9	17.1	9.4	3.4	1.3	0.7	100.0
その他	人数（人）	1	2	0	0	2	0	0	0	5
	率（％）	20.0	40.0	0.0	0.0	40.0	0.0	0.0	0.0	100.0
計	人数（人）	299	664	586	473	326	207	104	113	2,772
	率（％）	10.8	24.0	21.1	17.1	11.8	7.5	3.8	4.1	100.0
	令和 3 年率（％）	8.1	21.6	24.6	17.8	12.1	7.8	3.9	4.1	100.0
	令和元年率（％）	10.4	22.4	22.3	17.6	11.0	6.8	3.9	5.7	100.0

- （注） 1. 有効回答者は、第 8-6 表の回答者（7,867 人）のうち、「奨学金を受給している」と回答した数（2,772 人）
2. 率は、専攻分野別の回答者数の計を 100 とした割合
3. 奨学金受給者有無は、収入・支出の有効回答者からの抽出ではなく、第 1-3 表の回答者（7,867 人）から抽出した人数のため、第 6-2 表の奨学金受給者（2,613 人）と奨学金非受給者数（4,986 人）とは異なる

第 9-6 表 専攻分野別の奨学金非受給者の学習・研究時間

(Q15・16・28 参照)

区分		7 時間 未満	7～14 時間未満	14～21 時間未満	21～28 時間未満	28～35 時間未満	35～42 時間未満	42～49 時間未満	49 時間 以上	計
人文科学	人数 (人)	70	83	75	46	30	14	2	5	325
	率 (%)	21.5	25.5	23.1	14.2	9.2	4.3	0.6	1.5	100.0
社会科学	人数 (人)	167	288	226	164	66	36	11	16	974
	率 (%)	17.1	29.6	23.2	16.8	6.8	3.7	1.1	1.6	100.0
理学	人数 (人)	11	23	29	16	17	15	10	14	135
	率 (%)	8.1	17.0	21.5	11.9	12.6	11.1	7.4	10.4	100.0
工学	人数 (人)	82	139	123	95	73	40	21	18	591
	率 (%)	13.9	23.5	20.8	16.1	12.4	6.8	3.6	3.0	100.0
農学	人数 (人)	7	9	8	9	4	5	4	3	49
	率 (%)	14.3	18.4	16.3	18.4	8.2	10.2	8.2	6.1	100.0
医・歯学	人数 (人)	6	15	11	10	17	6	5	4	74
	率 (%)	8.1	20.3	14.9	13.5	23.0	8.1	6.8	5.4	100.0
薬学	人数 (人)	3	3	1	1	1	1	3	1	14
	率 (%)	21.4	21.4	7.1	7.1	7.1	7.1	21.4	7.1	100.0
家政	人数 (人)	11	11	6	5	5	2	0	1	41
	率 (%)	26.8	26.8	14.6	12.2	12.2	4.9	0.0	2.4	100.0
教育	人数 (人)	10	18	21	14	1	3	1	0	68
	率 (%)	14.7	26.5	30.9	20.6	1.5	4.4	1.5	0.0	100.0
芸術	人数 (人)	44	81	76	59	39	19	8	19	345
	率 (%)	12.8	23.5	22.0	17.1	11.3	5.5	2.3	5.5	100.0
日本語	人数 (人)	442	663	742	349	164	56	23	35	2,474
	率 (%)	17.9	26.8	30.0	14.1	6.6	2.3	0.9	1.4	100.0
その他	人数 (人)	1	1	0	2	1	0	0	0	5
	率 (%)	20.0	20.0	0.0	40.0	20.0	0.0	0.0	0.0	100.0
計	人数 (人)	854	1,334	1,318	770	418	197	88	116	5,095
	率 (%)	16.8	26.2	25.9	15.1	8.2	3.9	1.7	2.3	100.0
	令和3年率 (%)	13.8	23.4	26.2	16.8	10.5	4.6	2.3	2.5	100.0
	令和元年率 (%)	17.1	25.5	24.9	16.0	7.9	4.0	2.4	2.2	100.0

(注) 1. 有効回答者は、第 8-6 表の回答者 (7,867 人) のうち、「奨学金を受給していない」と回答した数 (5,075 人)

2. 率は、専攻分野別の回答者数の計を 100 とした割合

3. 奨学金受給者有無は、収入・支出の有効回答者からの抽出ではなく、第 1-3 表の回答者 (7,867 人) から抽出した人数のため、第 6-2 表の奨学金受給者 (2,613 人) と奨学金非受給者数 (4,986 人) とは異なる

奨学金の受給金額と学習・研究時間（第9-7表）を見ると、奨学金受給金額が高い方が学習・研究時間が多い。

第9-7表 奨学金の受給金額と学習・研究時間

（Q16・28参照）

区分		7 時間 未満	7～14 時間未満	14～21 時間未満	21～28 時間未満	28～35 時間未満	35～42 時間未満	42～49 時間未満	49 時間 以上	計	
奨学金なし		人数（人）	854	1,334	1,318	770	418	197	88	116	5,095
		率（％）	16.8	26.2	25.9	15.1	8.2	3.9	1.7	2.3	100.0
奨学金あり	5 万円未満	人数（人）	206	469	430	332	184	119	42	47	1,829
		率（％）	11.3	25.6	23.5	18.2	10.1	6.5	2.3	2.6	100.0
	5 万円以上 7 万円未満	人数（人）	32	44	45	27	24	12	11	4	199
		率（％）	16.1	22.1	22.6	13.6	12.1	6.0	5.5	2.0	100.0
	7 万円以上 9 万円未満	人数（人）	10	31	25	20	22	5	8	3	124
		率（％）	8.1	25.0	20.2	16.1	17.7	4.0	6.5	2.4	100.0
	9 万円以上 11 万円未満	人数（人）	19	41	27	33	25	14	7	6	172
		率（％）	11.0	23.8	15.7	19.2	14.5	8.1	4.1	3.5	100.0
	11 万円以上	人数（人）	32	79	59	61	71	57	36	53	448
		率（％）	7.1	17.6	13.2	13.6	15.8	12.7	8.0	11.8	100.0

（注）1. 率は、項目別の回答者数の計を100とした割合

2. 奨学金受給者有無は、収入・支出の有効回答者からの抽出ではなく、第1-3表の回答者（7,867人）から抽出した人数のため、第6-2表の奨学金受給者（2,613人）と奨学金非受給者数（4,986人）とは異なる

10. 宿舎

宿舎の形態（第 10-1 表）を見ると、「民間アパート・マンション等」に居住する者が、5,512 人（70.1%）と最も多い。

第 10-1 表 宿舎の形態

（Q11・12・36 参照）

区分			民間アパート・マンション等	大学・学校の留学生用宿舎	大学・学校の一般学生寮	県・市・財団法人の留学生宿舎	公営住宅等の一般公的宿舎	企業の社員寮	ホームステイ	その他	計
大学	国立	人数（人）	712	212	129	25	60	7	6	18	1,169
		率（%）	60.9	18.1	11.0	2.1	5.1	0.6	0.5	1.5	100.0
	公立	人数（人）	80	22	7	4	5	0	1	2	121
		率（%）	66.1	18.2	5.8	3.3	4.1	0.0	0.8	1.7	100.0
	私立	人数（人）	1,852	184	161	28	68	19	14	63	2,389
		率（%）	77.5	7.7	6.7	1.2	2.8	0.8	0.6	2.6	100.0
	大学計	人数（人）	2,644	418	297	57	133	26	21	83	3,679
		率（%）	71.9	11.4	8.1	1.5	3.6	0.7	0.6	2.3	100.0
	短期大学	人数（人）	46	5	9	0	3	2	3	2	70
		率（%）	65.7	7.1	12.9	0.0	4.3	2.9	4.3	2.9	100.0
専修学校（専門課程）	人数（人）		1,131	112	124	23	43	33	23	52	1,541
	率（%）		73.4	7.3	8.0	1.5	2.8	2.1	1.5	3.4	100.0
準備教育課程	人数（人）		76	11	2	5	8	0	2	3	107
	率（%）		71.0	10.3	1.9	4.7	7.5	0.0	1.9	2.8	100.0
日本語教育機関	人数（人）		1,615	322	206	52	86	37	45	107	2,470
	率（%）		65.4	13.0	8.3	2.1	3.5	1.5	1.8	4.3	100.0
計	人数（人）		5,512	868	638	137	273	98	94	247	7,867
	率（%）		70.1	11.0	8.1	1.7	3.5	1.2	1.2	3.1	100.0
	令和3年率（%）		79.4	7.2	4.9	1.5	2.3	1.2	1.1	2.4	100.0
	令和元年率（%）		77.4	9.3	6.1	1.5	2.3	1.0	1.1	1.2	100.0

（注）率は、学校種別の回答者数の計を 100 とした割合

第 10-2 表 在籍学校別の宿舎形態の率（％）（年度別比較表）

（Q11・12・36 参照）

区分			民間アパート・マンション等	大学・学校の留学生用宿舎	大学・学校の一般学生寮	県・市・財団法人の留学生宿舎	公営住宅等の一般公的宿舎	企業の社員寮	ホームステイ	その他	計
大学	国立	令和 5 年	60.9	18.1	11.0	2.1	5.1	0.6	0.5	1.5	100.0
		令和 3 年	71.8	12.1	6.5	2.9	4.0	0.6	0.0	2.2	100.0
		令和元年	64.8	18.8	8.9	1.9	4.3	0.6	0.0	0.8	100.0
	公立	令和 5 年	66.1	18.2	5.8	3.3	4.1	0.0	0.8	1.7	100.0
		令和 3 年	66.4	13.6	8.0	7.2	2.4	0.0	0.8	1.6	100.0
		令和元年	57.3	22.3	5.7	6.4	5.7	0.0	0.6	1.9	100.0
	私立	令和 5 年	77.5	7.7	6.7	1.2	2.8	0.8	0.6	2.6	100.0
		令和 3 年	86.3	4.4	3.6	0.8	1.6	0.6	0.7	2.0	100.0
		令和元年	81.3	6.9	5.5	1.6	1.7	0.8	1.0	1.1	100.0
	大学計	令和 5 年	71.9	11.4	8.1	1.5	3.6	0.7	0.6	2.3	100.0
		令和 3 年	81.7	6.8	4.5	1.6	2.3	0.6	0.5	2.0	100.0
		令和元年	75.3	11.1	6.5	1.9	2.7	0.7	0.7	1.1	100.0
短期大学			令和 5 年	65.7	7.1	12.9	0.0	4.3	2.9	4.3	100.0
			令和 3 年	86.5	4.5	2.2	2.2	1.1	0.0	3.4	100.0
			令和元年	68.1	16.0	9.7	1.4	0.0	2.1	1.4	100.0
専修学校 （専門課程）			令和 5 年	73.4	7.3	8.0	1.5	2.8	2.1	1.5	100.0
			令和 3 年	83.6	4.6	3.1	1.0	2.2	1.8	1.3	100.0
			令和元年	83.6	5.0	4.7	1.0	1.9	1.1	1.6	100.0
準備教育課程			令和 5 年	71.0	10.3	1.9	4.7	7.5	0.0	1.9	100.0
			令和 3 年	63.0	13.0	12.0	1.1	0.0	1.1	5.4	100.0
			令和元年	73.4	11.7	5.5	5.5	0.8	0.8	1.6	100.0
日本語教育機関			令和 5 年	65.4	13.0	8.3	2.1	3.5	1.5	1.8	100.0
			令和 3 年	70.3	11.0	7.8	1.9	2.6	1.6	1.9	100.0
			令和元年	77.5	8.5	6.3	1.0	2.1	1.5	1.3	100.0
計			令和 5 年	70.1	11.0	8.1	1.7	3.5	1.2	1.2	100.0
			令和 3 年	79.4	7.2	4.9	1.5	2.3	1.1	2.4	100.0
			令和元年	77.4	9.3	6.1	1.5	2.3	1.1	1.2	100.0

（注）率は、項目別の回答者数の計を 100 とした割合

宿舎を選ぶ際に重視したもの（第 10-3 表）を見ると、「家賃・初期費用」が 6,113 人（77.7%）と最も多く、次いで「学校からの距離・通学時間」が 5,263 人（66.9%）、「周辺環境の利便性」が 3,352 人（42.6%）と続く。

第 10-3 表 宿舎を選ぶ際に重視したもの（複数回答）

（Q12・37 参照）

区分		家賃 初期費用	間取り 広さ	設備	学校から の距離 通学時間	周辺環境 の利便性	セキュ リティ	日本人と の交流	留学生同 士の交流
高等教育機関	集計 pt	11,424	2,173	2,019	7,496	3,787	1,362	231	292
	集計 pt 率 (%)	39.7	7.5	7.0	26.0	13.2	4.7	0.8	1.0
	人数 (人)	4,257	1,130	1,126	3,633	2,335	836	136	168
	率 (%)	78.9	20.9	20.9	67.3	43.3	15.5	2.5	3.1
日本語教育機関	集計 pt	5,009	868	1,042	3,388	1,653	612	146	110
	集計 pt 率 (%)	39.0	6.8	8.1	26.4	12.9	4.8	1.1	0.9
	人数 (人)	1,856	442	564	1,630	1,017	363	77	60
	率 (%)	75.1	17.9	22.8	66.0	41.2	14.7	3.1	2.4
計	集計 pt	16,433	3,041	3,061	10,884	5,440	1,974	377	402
	集計 pt 率 (%)	39.5	7.3	7.4	26.2	13.1	4.7	0.9	1.0
	人数 (人)	6,113	1,572	1,690	5,263	3,352	1,199	213	228
	率 (%)	77.7	20.0	21.5	66.9	42.6	15.2	2.7	2.9
	令和 3 年率 (%)	82.0	18.5	20.9	66.4	48.0	13.2	3.1	3.0
	令和元年率 (%)	80.5	18.2	21.8	66.8	40.8	13.0	4.2	3.4

- （注） 1. 有効回答者は、第 1-3 表の回答者（7,867 人）
 2. 集計 pt は、最もあてはまるものを 3pt、2 番目にあてはまるものを 2pt、3 番目にあてはまるものを 1pt として集計した値で、集計 pt 率は、項目別の集計 pt の計を 100 としたときの割合
 3. 率は、第 1-3 表の高等教育機関（5,397 人）・日本語教育機関（2,470 人）別の人数を 100 とした割合

居住地域別の住居費（第 10-4 表）を見ると、関東地方が平均月額 51,000 円と全国で最も高い。一方、平均月額が低いのは東北地方、中国地方で 26,000 円である。なお、東京のみでは、57,000 円である。

第 10-4 表 居住地域別の住居費（年度別比較表）

（Q29・35 参照）

区分	北海道	東北	関東	中部	近畿	中国	四国	九州	東京	全国平均
令和 5 年（千円）	34	26	51	30	40	26	27	29	57	41
令和 3 年（千円）	30	34	44	29	37	27	24	26	50	38
令和元年（千円）	31	28	45	29	37	26	26	25	50	38

- （注） 1. 有効回答者は、第 1-3 表の回答者（7,867 人）のうち、Q24 の収入支出において有効な回答とみなされた数（7,599 人）
 2. 支出内訳は、各居住地域の支出額の計を、各居住地域別の回答者数（支出している者及び支出していない者）の計で除した額

宿舎の形態別の住居費（第 10-5 表）を見ると、「民間アパート・マンション等」は「3 万円以上 4 万円未満」が 1,241 人（23.3%）と最も多く、「大学・学校の留学生用宿舎」は、「2 万円以上 3 万円未満」が 242 人（28.9%）と最も多い。

第 10-5 表 宿舎の形態別の住居費

（Q24・31 参照）

区分		1 万円未満	1～2 万円未満	2～3 万円未満	3～4 万円未満	4～5 万円未満	5～6 万円未満	6～7 万円未満	7 万円以上	計
民間アパート・マンション等	人数（人）	249	215	770	1,241	889	601	494	865	5,324
	率（%）	4.7	4.0	14.5	23.3	16.7	11.3	9.3	16.2	100.0
大学・学校の留学生用宿舎	人数（人）	108	140	242	173	63	57	23	32	838
	率（%）	12.9	16.7	28.9	20.6	7.5	6.8	2.7	3.8	100.0
大学・学校の一般学生寮	人数（人）	72	115	174	104	50	34	30	36	615
	率（%）	11.7	18.7	28.3	16.9	8.1	5.5	4.9	5.9	100.0
県・市・財団法人の留学生宿舎	人数（人）	11	9	34	27	15	15	11	10	132
	率（%）	8.3	6.8	25.8	20.5	11.4	11.4	8.3	7.6	100.0
公営住宅等の一般公的宿舎	人数（人）	23	15	39	54	26	48	26	35	266
	率（%）	8.6	5.6	14.7	20.3	9.8	18.0	9.8	13.2	100.0
企業の社員寮	人数（人）	33	8	10	12	7	8	8	9	95
	率（%）	34.7	8.4	10.5	12.6	7.4	8.4	8.4	9.5	100.0
ホームステイ	人数（人）	21	8	13	18	10	13	2	5	90
	率（%）	23.3	8.9	14.4	20.0	11.1	14.4	2.2	5.6	100.0
その他	人数（人）	49	6	28	38	29	31	26	32	239
	率（%）	20.5	2.5	11.7	15.9	12.1	13.0	10.9	13.4	100.0
計	人数（人）	566	516	1,310	1,667	1,089	807	620	1,024	7,599
	率（%）	7.4	6.8	17.2	21.9	14.3	10.6	8.2	13.5	100.0
	令和 3 年率（%）	5.8	6.3	19.8	26.0	16.4	10.2	7.9	7.6	100.0
	令和元年率（%）	9.3	8.8	18.8	25.7	15.0	9.6	6.3	6.5	100.0

（注） 1. 有効回答者は、第 1-3 表の回答者（7,867 人）のうち、Q24 の収入支出において有効な回答とみなされた数（7,599 人）

2. 率は、宿舎の形態別の回答者数の計を 100 とした割合

宿舎に入居の際の保証人の要否（第 10-6 表）を見ると、「保証人を求められた」が、3,829 人（48.7%）である。

第 10-6 表 宿舎に入居の際の保証人の要否

（Q38 参照）

区分	求められた	求められていない	計
人数（人）	3,829	4,038	7,867
率（%）	48.7	51.3	100.0
令和 3 年率（%）	51.0	49.0	100.0
令和元年率（%）	56.6	43.4	100.0

（注）率は、回答者数の計（7,867 人）を 100 とした割合

第 10-7 表 宿舍の形態別の保証人の要否

(Q36・38 参照)

区分		民間アパート・マンション等	大学・学校の留学生用宿舎	大学・学校の一般学生寮	県・市・財団法人の留学生宿舎	公営住宅等の一般公的宿舎	企業の社員寮	ホームステイ	その他	計
保証人必要	人数 (人)	3,025	257	211	53	142	37	26	78	3,829
	率 (%)	79.0	6.7	5.5	1.4	3.7	1.0	0.7	2.0	100.0
	令和3年率 (%)	86.1	4.1	3.4	1.4	2.1	0.7	0.7	1.5	100.0
	令和元年率 (%)	61.5	28.9	43.8	57.9	66.0	39.4	37.5	32.2	56.6
保証人不要	人数 (人)	2,487	611	427	84	131	61	68	169	4,038
	率 (%)	61.6	15.1	10.6	2.1	3.2	1.5	1.7	4.2	100.0
	令和3年率 (%)	72.5	10.5	6.6	1.6	2.5	1.6	1.5	3.3	100.0
	令和元年率 (%)	38.5	71.1	56.3	42.1	34.0	60.6	62.5	67.8	43.4
計	人数 (人)	5,512	868	638	137	273	98	94	247	7,867
	率 (%)	70.1	11.0	8.1	1.7	3.5	1.2	1.2	3.1	100.0

(注) 率は、保証人の要否の回答者数の計を 100 とした割合

宿舍の保証人の種類 (第 10-8 表) を見ると、「保証人制度を利用する」が 738 人 (19.3%) と最も多く、次いで「大学・学校 (代表者)」が 685 人 (17.9%)、「日本人の知人」が 653 人 (17.1%)、「日本人以外の知人」が 650 人 (17.0%)、と続く。

第 10-8 表 宿舍の保証人の種類

(Q39 参照)

区分	大学・学校 (代表者)	大学・学校の指導教員	国際交流団体 (代表者)	過去に在籍していた日本語教育機関 (代表者・教員)	日本人の知人	日本人以外の知人	親族	保証人制度を利用する	その他	計
人数 (人)	685	220	45	170	653	650	626	738	42	3,829
率 (%)	17.9	5.7	1.2	4.4	17.1	17.0	16.3	19.3	1.1	100.0
令和3年率 (%)	14.7	5.0	1.5	3.4	18.7	15.6	13.5	22.1	5.5	100.0
令和元年率 (%)	20.2	5.5	1.5	2.7	17.2	9.9	19.3	21.8	2.0	100.0

(注) 1. 有効回答者は、第 10-13 表の回答者 (7,867 人) のうち、「保証人を求められた」と回答した数 (3,829 人)

2. 率は、回答者数の計 (3,829 人) を 100 とした割合

学校までの所要通学時間 (第 10-9 表) を見ると、全国平均で「30 分以内」が 5,492 人 (69.8%) と最も多く、次いで「1 時間以内」が 1,799 人 (22.9%)、「1 時間 30 分以内」が 443 人 (5.6%) と続く。東京在住でも「30 分以内」が 1,313 人 (56.7%) と最も多い。

第 10-9 表 学校までの所要通学時間

(Q17・35 参照)

区分		30 分以内	1 時間以内	1 時間 30 分以内	2 時間以内	2 時間以上	計
全国平均	人数 (人)	5,492	1,799	443	92	41	7,867
	率 (%)	69.8	22.9	5.6	1.2	0.5	100.0
	令和3年率 (%)	64.0	26.9	7.1	1.4	0.6	100.0
	令和元年率 (%)	68.8	24.0	5.2	1.4	0.6	100.0
東京在住	人数 (人)	1,313	816	163	18	5	2,315
	率 (%)	56.7	35.2	7.0	0.8	0.2	100.0
	令和3年率 (%)	53.3	38.1	7.0	1.0	0.6	100.0
	令和元年率 (%)	57.0	34.5	6.5	1.5	0.6	100.0

(注) 率は、項目別の回答者数の計を 100 とした割合

11. 健康

大学・学校に入学してからの病気経験の有無とその時の対処の仕方（第 11-1 表）を見ると、「病院に行った」が 3,602 人（45.8%）と最も多く、次いで「薬局で薬を買って治した」が 3,073 人（39.1%）と続く。なお、「病気やけがをしたことがない」は 2,521 人（32.0%）である。

第 11-1 表 大学・学校に入学してからの病気経験の有無とその時の対処の仕方（複数回答）（Q40 参照）

区分	病気やけがをしたことがない	学校の保健管理センターや 医務室に行った	病院に行った	薬局で薬を買って治した	病院にも薬局にも 行かないで、我慢した	その他
人数（人）	2,521	780	3,602	3,073	808	111
率（%）	32.0	9.9	45.8	39.1	10.3	1.4
令和3年率（%）	36.1	9.9	46.9	36.4	8.3	1.7
令和元年率（%）	41.7	13.8	44.9	32.7	6.9	0.5

（注）率、回答者数の計（7,867 人）を 100 とした割合

12. 卒業後の進路希望等

卒業後の進路希望（第 12-1 表）を見ると、「日本において就職希望」が 4,278 人（54.4%）と最も多く、次いで「日本において進学希望」が 3,489 人（44.3%）と続く。

第 12-1 表 卒業後の進路希望（全体）（複数回答）（Q41 参照）

区分	日本において 進学希望	日本において 就職希望	日本において 起業希望	出身国におい て進学希望	出身国におい て就職・ 起業希望	日本・出身国 以外の国にお いて進学希望	日本・出身国 以外の国にお いて就職・起 業希望	まだ決めて いない
集計 pt	9,992	11,771	1,575	703	2,060	1,004	797	1,438
集計 pt 率 (%)	34.1	40.1	5.4	2.4	7.0	3.4	2.7	4.9
人数 (人)	3,489	4,278	798	318	932	486	431	589
率 (%)	44.3	54.4	10.1	4.0	11.8	6.2	5.5	7.5
令和3年率 (%)	42.8	58.0	9.2	3.4	15.0	5.4	4.6	6.8
令和元年率 (%)	41.4	54.9	9.6	4.7	19.4	6.7	6.4	5.0

- （注）1. 集計 pt は、最もあてはまるものを 3pt、2 番目にあてはまるものを 2pt、3 番目にあてはまるものを 1pt として集計した値で、集計 pt 率は、集計 pt の計を 100 としたときの割合
2. 率は、回答者数の計（7,867 人）を 100 とした割合

在籍段階別卒業後の進路希望（第 12-2 表）を見ると、「大学」、「短期大学」、「専修学校」在籍者では「日本において就職を希望」が最も多く、「準備教育課程」、「日本語教育機関」在籍者では「日本において進学希望」が最も多い。

第 12-2 表 在籍段階別卒業後の進路希望 (複数回答)

(Q12・41 参照)

区分		日本において進学希望	日本において就職希望	日本において起業希望	出身国において進学希望	出身国において就職・起業希望	日本・出身国以外の国において進学希望	日本・出身国以外の国において就職・起業希望	まだ決めていない
大学院博士課程・博士後期課程	集計 pt	183	927	103	97	471	133	164	223
	集計 pt 率(%)	8.0	40.3	4.5	4.2	20.5	5.8	7.1	9.7
	人数 (人)	72	337	53	42	190	62	84	91
	率 (%)	12.7	59.6	9.4	7.4	33.6	11.0	14.9	16.1
大学院修士課程・博士前期課程	集計 pt	728	1,476	97	105	351	119	76	203
	集計 pt 率(%)	23.1	46.8	3.1	3.3	11.1	3.8	2.4	6.4
	人数 (人)	264	537	49	45	157	58	42	84
	率 (%)	32.2	65.5	6.0	5.5	19.1	7.1	5.1	10.2
専門職大学院課程	集計 pt	3	80	21	0	24	1	2	3
	集計 pt 率(%)	2.2	59.7	15.7	0.0	17.9	0.7	1.5	2.2
	人数 (人)	1	28	9	0	10	1	2	1
	率 (%)	2.8	77.8	25.0	0.0	27.8	2.8	5.6	2.8
大学院レベルの研究生	集計 pt	68	101	17	17	29	10	5	16
	集計 pt 率(%)	25.9	38.4	6.5	6.5	11.0	3.8	1.9	6.1
	人数 (人)	24	37	8	9	14	5	4	6
	率 (%)	36.9	56.9	12.3	13.8	21.5	7.7	6.2	9.2
学部正規課程	集計 pt	2,059	3,400	381	161	565	394	235	464
	集計 pt 率(%)	26.9	44.4	5.0	2.1	7.4	5.1	3.1	6.1
	人数 (人)	747	1,239	200	75	261	189	131	183
	率 (%)	38.0	63.0	10.2	3.8	13.3	9.6	6.7	9.3
学部レベルの研究生・聴講生	集計 pt	82	232	27	23	11	18	16	24
	集計 pt 率(%)	18.9	53.6	6.2	5.3	2.5	4.2	3.7	5.5
	人数 (人)	28	81	13	10	5	11	8	9
	率 (%)	23.9	69.2	11.1	8.5	4.3	9.4	6.8	7.7
短期大学	集計 pt	55	139	21	4	13	11	2	6
	集計 pt 率(%)	21.9	55.4	8.4	1.6	5.2	4.4	0.8	2.4
	人数 (人)	19	48	10	2	7	4	2	3
	率 (%)	27.1	68.6	14.3	2.9	10.0	5.7	2.9	4.3
専修学校(専門課程)	集計 pt	1,202	3,106	426	112	237	105	127	182
	集計 pt 率(%)	21.9	56.5	7.7	2.0	4.3	1.9	2.3	3.3
	人数 (人)	424	1,076	207	51	115	52	61	83
	率 (%)	27.5	69.8	13.4	3.3	7.5	3.4	4.0	5.4
準備教育課程	集計 pt	237	96	7	8	6	3	4	12
	集計 pt 率(%)	63.5	25.7	1.9	2.1	1.6	0.8	1.1	3.2
	人数 (人)	79	37	4	3	5	1	3	6
	率 (%)	73.8	34.6	3.7	2.8	4.7	0.9	2.8	5.6
日本語教育機関	集計 pt	5,266	2,046	445	157	321	199	155	279
	集計 pt 率(%)	59.4	23.1	5.0	1.8	3.6	2.2	1.7	3.1
	人数 (人)	1,793	797	231	73	153	99	88	113
	率 (%)	72.6	32.3	9.4	3.0	6.2	4.0	3.6	4.6
その他	集計 pt	109	168	30	19	32	11	11	26
	集計 pt 率(%)	26.8	41.4	7.4	4.7	7.9	2.7	2.7	6.4
	人数 (人)	38	61	14	8	15	4	6	10
	率 (%)	34.9	56.0	12.8	7.3	13.8	3.7	5.5	9.2
計	集計 pt	9,992	11,771	1,575	703	2,060	1,004	797	1,438
	集計 pt 率(%)	34.1	40.1	5.4	2.4	7.0	3.4	2.7	4.9
	人数 (人)	3,489	4,278	798	318	932	486	431	589
	率 (%)	44.3	54.4	10.1	4.0	11.8	6.2	5.5	7.5

(注) 1. 集計 pt は、最もあてはまるものを 3pt、2 番目にあてはまるものを 2pt、3 番目にあてはまるものを 1pt として集計した値で、集計 pt 率は、在籍段階別の集計 pt の計を 100 とした割合
2. 率は、第 1-4 表の在籍段階別の人数を 100 とした割合

第 12-3 表 専攻分野別卒業後の進路希望 (複数回答)

(Q15・41 参照)

区分		日本において 進学希望	日本において 就職希望	日本において 起業希望	出身国に おいて 進学希望	出身国におい て就職・起業 希望	日本・出身国 以外の国にお いて進学希望	日本・出身国以 外の国において 就職・起業希望	まだ決めてい ない
人文科学	集計 pt	558	1,190	117	62	209	104	98	172
	集計 pt 率 (%)	22.2	47.4	4.7	2.5	8.3	4.1	3.9	6.9
	人数 (人)	198	429	58	27	95	53	50	68
	率 (%)	30.1	65.3	8.8	4.1	14.5	8.1	7.6	10.4
社会科学	集計 pt	1,218	3,562	476	138	520	230	172	360
	集計 pt 率 (%)	18.2	53.4	7.1	2.1	7.8	3.4	2.6	5.4
	人数 (人)	451	1,251	236	64	233	117	95	146
	率 (%)	25.4	70.4	13.3	3.6	13.1	6.6	5.3	8.2
理学	集計 pt	328	437	59	49	111	97	74	84
	集計 pt 率 (%)	26.5	35.3	4.8	4.0	9.0	7.8	6.0	6.8
	人数 (人)	119	167	31	21	54	47	37	35
	率 (%)	40.6	57.0	10.6	7.2	18.4	16.0	12.6	11.9
工学	集計 pt	895	2,317	252	80	363	160	138	193
	集計 pt 率 (%)	20.4	52.7	5.7	1.8	8.3	3.6	3.1	4.4
	人数 (人)	322	825	126	40	164	74	77	86
	率 (%)	27.8	71.2	10.9	3.5	14.2	6.4	6.6	7.4
農学	集計 pt	106	167	5	28	66	16	27	27
	集計 pt 率 (%)	24.0	37.8	1.1	6.3	14.9	3.6	6.1	6.1
	人数 (人)	37	63	4	11	26	9	13	13
	率 (%)	32.7	55.8	3.5	9.7	23.0	8.0	11.5	11.5
医・歯学	集計 pt	174	211	20	56	138	56	20	77
	集計 pt 率 (%)	23.1	28.1	2.7	7.4	18.4	7.4	2.7	10.2
	人数 (人)	62	84	10	25	53	25	11	31
	率 (%)	32.8	44.4	5.3	13.2	28.0	13.2	5.8	16.4
薬学	集計 pt	29	34	2	7	24	2	0	12
	集計 pt 率 (%)	26.4	30.9	1.8	6.4	21.8	1.8	0.0	10.9
	人数 (人)	10	12	1	3	9	2	0	4
	率 (%)	33.3	40.0	3.3	10.0	30.0	6.7	0.0	13.3
家政	集計 pt	30	136	12	7	16	9	14	14
	集計 pt 率 (%)	12.6	57.1	5.0	2.9	6.7	3.8	5.9	5.9
	人数 (人)	11	48	6	3	8	4	6	5
	率 (%)	16.9	73.8	9.2	4.6	12.3	6.2	9.2	7.7
教育	集計 pt	152	188	25	31	45	18	10	49
	集計 pt 率 (%)	29.3	36.3	4.8	6.0	8.7	3.5	1.9	9.5
	人数 (人)	53	69	11	12	22	8	5	18
	率 (%)	38.1	49.6	7.9	8.6	15.8	5.8	3.6	12.9
芸術	集計 pt	368	1,006	80	45	192	86	55	124
	集計 pt 率 (%)	18.8	51.4	4.1	2.3	9.8	4.4	2.8	6.3
	人数 (人)	136	355	41	21	87	36	32	49
	率 (%)	26.4	68.8	7.9	4.1	16.9	7.0	6.2	9.5
日本語	集計 pt	6,124	2,505	526	200	370	224	189	321
	集計 pt 率 (%)	58.6	24.0	5.0	1.9	3.5	2.1	1.8	3.1
	人数 (人)	2,086	969	273	91	178	110	105	132
	率 (%)	71.5	33.2	9.4	3.1	6.1	3.8	3.6	4.5
その他	集計 pt	10	18	1	0	6	2	0	5
	集計 pt 率 (%)	23.8	42.9	2.4	0.0	14.3	4.8	0.0	11.9
	人数 (人)	4	6	1	0	3	1	0	2
	率 (%)	40.0	60.0	10.0	0.0	30.0	10.0	0.0	20.0
計	集計 pt	9,992	11,771	1,575	703	2,060	1,004	797	1,438
	集計 pt 率 (%)	34.1	40.1	5.4	2.4	7.0	3.4	2.7	4.9
	人数 (人)	3,489	4,278	798	318	932	486	431	589
	率 (%)	44.3	54.4	10.1	4.0	11.8	6.2	5.5	7.5

- (注) 1. 集計 pt は、最もあてはまるものを 3pt、2 番目にあてはまるものを 2pt、3 番目にあてはまるものを 1pt として集計した値で、集計 pt 率は、専攻分野別の集計 pt の計を 100 とした割合
2. 率は、第 1-5 表の専攻分野別の人数を 100 とした割合 ※2026.09.11「芸術」の率を修正

「日本において就職希望」回答者の就職希望職種（第 12-4 表）を見ると、卒業後日本で就職を希望すると回答した者の希望する職種は、「研究・技術開発」が 1,383 人（32.3%）と最も多く、次いで「経営・管理」が 1,366 人（31.9%）、「事務」が 1,079 人（25.2%）と続く。

第 12-4 表 「日本において就職希望」回答者の就職希望職種 （複数回答） (Q43 参照)

区分	経営・管理	研究・技術開発	専門職	医療	教育・指導	事務	販売・営業	福祉・介護
集計 pt	3,583	3,730	2,394	419	1,324	2,355	1,158	419
集計 pt 率 (%)	19.3	20.1	12.9	2.3	7.1	12.7	6.2	2.3
人数 (人)	1,366	1,383	960	170	606	1,079	602	175
率 (%)	31.9	32.3	22.4	4.0	14.2	25.2	14.1	4.1

区分	サービス	警備・保安	農林漁業	製造・修理	輸送・運転	建設・土木	清掃・包装等	その他
集計 pt	1,459	25	161	864	131	327	32	158
集計 pt 率 (%)	7.9	0.1	0.9	4.7	0.7	1.8	0.2	0.9
人数 (人)	698	14	85	379	75	142	22	60
率 (%)	16.3	0.3	2.0	8.9	1.8	3.3	0.5	1.4

- (注) 1. 有効回答者は、第 12-1 表の回答者（7,867 人）のうち、「日本において就職希望」と回答した数（4,278 人）
2. 集計 pt は、最もあてはまるものを 3pt、2 番目にあてはまるものを 2pt、3 番目にあてはまるものを 1pt として集計した値で、集計 pt 率は、集計 pt の計を 100 とした割合。
3. 率は、回答者数の計（4,278 人）を 100 とした割合

在籍段階別別日本語能力取得状況

第 12-5 表 「日本において就職希望」回答者の在籍段階別日本語能力取得状況（全体）（Q13・14・41 参照）

区分		N1	N2	N3	N4	N5	J1+	J1	J2	J3	J4	J5	取得していない
大学院博士課程・ 博士後期課程	人数(人)	122	58	18	13	9	0	0	1	0	0	0	116
	率(%)	36.2	17.2	5.3	3.9	2.7	0.0	0.0	0.3	0.0	0.0	0.0	34.4
大学院修士課程・ 博士前期課程	人数(人)	308	104	27	9	7	0	0	3	0	0	0	79
	率(%)	57.4	19.4	5.0	1.7	1.3	0.0	0.0	0.6	0.0	0.0	0.0	14.7
専門職大学院課程	人数(人)	15	7	4	1	0	0	0	1	0	0	0	0
	率(%)	53.6	25.0	14.3	3.6	0.0	0.0	0.0	3.6	0.0	0.0	0.0	0.0
大学院レベル の研究生	人数(人)	7	18	6	0	0	0	0	0	0	0	0	6
	率(%)	18.9	48.6	16.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	16.2
学部正規課程	人数(人)	601	406	52	11	10	4	2	9	0	3	0	141
	率(%)	48.5	32.8	4.2	0.9	0.8	0.3	0.2	0.7	0.0	0.2	0.0	11.4
学部レベルの研究 生・聴講生	人数(人)	38	31	4	1	0	0	0	0	1	0	0	6
	率(%)	46.9	38.3	4.9	1.2	0.0	0.0	0.0	0.0	1.2	0.0	0.0	7.4
短期大学	人数(人)	10	19	16	0	0	0	0	0	0	0	0	3
	率(%)	20.8	39.6	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	6.3
専修学校 (専門課程)	人数(人)	196	436	253	43	30	2	2	2	3	2	3	104
	率(%)	18.2	40.5	23.5	4.0	2.8	0.2	0.2	0.2	0.3	0.2	0.3	9.7
準備教育課程	人数(人)	11	12	6	2	2	0	0	0	0	0	0	4
	率(%)	29.7	32.4	16.2	5.4	5.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	10.8
日本語教育機関	人数(人)	133	209	225	61	37	0	1	1	2	0	1	127
	率(%)	16.7	26.2	28.2	7.7	4.6	0.0	0.1	0.1	0.3	0.0	0.1	15.9
その他	人数(人)	11	24	12	1	1	0	0	0	0	0	0	12
	率(%)	18.0	39.3	19.7	1.6	1.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	19.7
計	人数(人)	1,452	1,324	623	142	96	6	5	17	6	5	4	598
	率(%)	33.9	30.9	14.6	3.3	2.2	0.1	0.1	0.4	0.1	0.1	0.1	14.0

- (注) 1. 有効回答者は、第 12-1 表の回答者（7,867 人）のうち、「日本において就職希望」と回答した数（4,278 人）
2. 率は、「日本において就職希望」と回答した学年別の人数の計を 100 とした割合
3. (N1, N2, N3…) は、「日本語能力試験 JLPT」のレベル、(J1+, J1, J2…) は、「BJT ビジネス日本語能力テスト」のレベルを示す。

第 12-6 表「日本において就職希望」回答者以外の在籍段階別日本語能力取得状況（全体）（Q13・14・43 参照）

区分		N1	N2	N3	N4	N5	J1+	J1	J2	J3	J4	J5	取得していない
大学院博士課程・博士後期課程	人数(人)	48	28	4	3	3	0	0	0	1	0	0	141
	率(%)	21.1	12.3	1.8	1.3	1.3	0.0	0.0	0.0	0.4	0.0	0.0	61.8
大学院修士課程・博士前期課程	人数(人)	111	59	8	3	10	0	1	0	0	0	0	91
	率(%)	39.2	20.8	2.8	1.1	3.5	0.0	0.4	0.0	0.0	0.0	0.0	32.2
専門職大学院課程	人数(人)	1	1	3	1	0	0	0	0	0	0	0	2
	率(%)	12.5	12.5	37.5	12.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0
大学院レベルの研究生	人数(人)	7	14	4	0	0	0	0	0	0	0	0	3
	率(%)	25.0	50.0	14.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	10.7
学部正規課程	人数(人)	338	240	29	6	3	1	0	5	2	2	0	102
	率(%)	46.4	33.0	4.0	0.8	0.4	0.1	0.0	0.7	0.3	0.3	0.0	14.0
学部レベルの研究生・聴講生	人数(人)	14	14	3	0	1	0	0	0	0	0	0	4
	率(%)	38.9	38.9	8.3	0.0	2.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	11.1
短期大学	人数(人)	6	12	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2
	率(%)	27.3	54.5	9.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	9.1
専修学校（専門課程）	人数(人)	59	159	140	29	14	0	1	0	0	2	2	59
	率(%)	12.7	34.2	30.1	6.2	3.0	0.0	0.2	0.0	0.0	0.4	0.4	12.7
準備教育課程	人数(人)	10	28	16	2	3	0	0	0	0	0	0	11
	率(%)	14.3	40.0	22.9	2.9	4.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	15.7
日本語教育機関	人数(人)	304	489	479	138	57	0	0	1	1	5	1	198
	率(%)	18.2	29.2	28.6	8.2	3.4	0.0	0.0	0.1	0.1	0.3	0.1	11.8
その他	人数(人)	9	18	8	1	5	0	0	0	0	0	0	7
	率(%)	18.8	37.5	16.7	2.1	10.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	14.6
計	人数(人)	907	1,062	696	183	96	1	2	6	4	9	3	620
	率(%)	25.3	29.6	19.4	5.1	2.7	0.0	0.1	0.2	0.1	0.3	0.1	17.3

- (注) 1. 有効回答者は、第 12-1 表の回答者（7,867 人）のうち、「日本において就職希望」と回答しなかった数（3,589 人）
2. 率は、「日本において就職希望」と回答しなかった学年別の人数の計を 100 とした割合
3. （J1+, J1, J2…）は、「BJT ビジネス日本語能力テスト」のレベル、（N1, N2, N3…）は、「日本語能力試験 JLPT」のレベルを示す。回答者は、それぞれの試験につき取得レベルの回答を行った

第 12-7 表 在籍段階別の「日本において就職希望」回答者 (Q12・41 参照)

区分	大学院博士課程 博士後期課程	大学院修士課程 博士前期課程	専門職大学院課程	大学院レベルの 研究生	学部正規 課程	学部 レベルの 研究生 聴講生	短期大学	専修学校 （専門課程）	準備教育 課程	日本語 教育機関	その他	計
人数(人)	337	537	28	37	1,239	81	48	1,076	37	797	61	4,278
率(%)	7.9	12.6	0.7	0.9	29.0	1.9	1.1	25.2	0.9	18.6	1.4	100.0

- (注) 1. 有効回答者は、第 12-1 表の回答者（7,867 人）のうち、「日本において就職希望」と回答した数（4,278 人）
2. 率は、回答者数の計（4,278 人）を 100 とした割合

第 12-8 表 在籍段階別日本での就職希望職種 (複数回答)

(Q12・45 参照)

区分		経営・ 管理	研究・ 技術開 発	専門職	医療	教育・ 指導	事務	販売・ 営業	福祉・ 介護	サービ ス	警備・ 保安	農林漁 業	製造・ 修理	輸送・ 運転	建設・ 土木	清掃・ 包装等	その他
大学院博士 課程・博士 後期課程	集計 pt	91	716	98	61	321	37	6	14	15	0	42	42	0	34	0	6
	集計 pt 率 (%)	6.1	48.3	6.6	4.1	21.6	2.5	0.4	0.9	1.0	0.0	2.8	2.8	0.0	2.3	0.0	0.4
	人数 (人)	45	256	41	29	141	23	5	6	9	0	24	25	0	15	0	3
	率 (%)	13.4	76.0	12.2	8.6	41.8	6.8	1.5	1.8	2.7	0.0	7.1	7.4	0.0	4.5	0.0	0.9
大学院修士 課程・博士 前期課程	集計 pt	408	684	252	34	232	370	86	34	76	0	24	103	12	76	0	22
	集計 pt 率 (%)	16.9	28.3	10.4	1.4	9.6	15.3	3.6	1.4	3.1	0.0	1.0	4.3	0.5	3.1	0.0	0.9
	人数 (人)	160	258	108	15	105	171	47	20	41	0	10	51	8	30	0	10
	率 (%)	29.8	48.0	20.1	2.8	19.6	31.8	8.8	3.7	7.6	0.0	1.9	9.5	1.5	5.6	0.0	1.9
専門職大学 院課程	集計 pt	24	13	35	3	12	29	7	0	7	0	0	0	3	3	0	0
	集計 pt 率 (%)	17.6	9.6	25.7	2.2	8.8	21.3	5.1	0.0	5.1	0.0	0.0	0.0	2.2	2.2	0.0	0.0
	人数 (人)	10	6	14	1	5	14	4	0	4	0	0	0	1	1	0	0
	率 (%)	35.7	21.4	50.0	3.6	17.9	50.0	14.3	0.0	14.3	0.0	0.0	0.0	3.6	3.6	0.0	0.0
大学院レベ ルの研究生	集計 pt	45	28	18	6	14	13	16	5	18	0	4	2	1	1	0	0
	集計 pt 率 (%)	26.3	16.4	10.5	3.5	8.2	7.6	9.4	2.9	10.5	0.0	2.3	1.2	0.6	0.6	0.0	0.0
	人数 (人)	16	11	8	2	6	6	9	2	9	0	3	1	1	1	0	0
	率 (%)	43.2	29.7	21.6	5.4	16.2	16.2	24.3	5.4	24.3	0.0	8.1	2.7	2.7	2.7	0.0	0.0
学部正規 課程	集計 pt	1,341	789	757	105	354	894	382	80	425	11	42	190	45	90	3	78
	集計 pt 率 (%)	24.0	14.1	13.6	1.9	6.3	16.0	6.8	1.4	7.6	0.2	0.8	3.4	0.8	1.6	0.1	1.4
	人数 (人)	507	311	304	41	162	411	208	35	218	6	20	90	25	36	2	27
	率 (%)	40.9	25.1	24.5	3.3	13.1	33.2	16.8	2.8	17.6	0.5	1.6	7.3	2.0	2.9	0.2	2.2
学部レベル の研究生・ 聴講生	集計 pt	107	63	31	1	8	44	24	0	32	0	2	9	1	4	0	6
	集計 pt 率 (%)	32.2	19.0	9.3	0.3	2.4	13.3	7.2	0.0	9.6	0.0	0.6	2.7	0.3	1.2	0.0	1.8
	人数 (人)	38	22	14	1	4	19	12	0	15	0	2	5	1	2	0	2
	率 (%)	46.9	27.2	17.3	1.2	4.9	23.5	14.8	0.0	18.5	0.0	2.5	6.2	1.2	2.5	0.0	2.5
短期大学	集計 pt	33	11	15	12	6	17	25	36	18	0	0	23	0	0	0	0
	集計 pt 率 (%)	16.8	5.6	7.7	6.1	3.1	8.7	12.8	18.4	9.2	0.0	0.0	11.7	0.0	0.0	0.0	0.0
	人数 (人)	12	4	6	4	4	8	13	13	8	0	0	9	0	0	0	0
	率 (%)	25.0	8.3	12.5	8.3	8.3	16.7	27.1	27.1	16.7	0.0	0.0	18.8	0.0	0.0	0.0	0.0
専修学校 (専門課 程)	集計 pt	676	822	675	71	96	492	367	140	486	12	24	344	34	67	18	17
	集計 pt 率 (%)	15.6	18.9	15.5	1.6	2.2	11.3	8.5	3.2	11.2	0.3	0.6	7.9	0.8	1.5	0.4	0.4
	人数 (人)	256	291	253	29	47	217	179	52	218	7	12	132	21	33	11	7
	率 (%)	23.8	27.0	23.5	2.7	4.4	20.2	16.6	4.8	20.3	0.7	1.1	12.3	2.0	3.1	1.0	0.7
準備教育 課程	集計 pt	38	22	24	6	12	17	6	0	13	0	3	5	0	1	1	0
	集計 pt 率 (%)	25.7	14.9	16.2	4.1	8.1	11.5	4.1	0.0	8.8	0.0	2.0	3.4	0.0	0.7	0.7	0.0
	人数 (人)	14	8	9	2	5	8	3	0	6	0	1	2	0	1	1	0
	率 (%)	37.8	21.6	24.3	5.4	13.5	21.6	8.1	0.0	16.2	0.0	2.7	5.4	0.0	2.7	2.7	0.0
日本語教育 機関	集計 pt	750	554	451	117	256	399	214	105	342	2	16	140	33	49	10	29
	集計 pt 率 (%)	21.6	16.0	13.0	3.4	7.4	11.5	6.2	3.0	9.9	0.1	0.5	4.0	1.0	1.4	0.3	0.8
	人数 (人)	283	203	187	45	121	183	112	45	157	1	11	60	17	22	8	11
	率 (%)	35.5	25.5	23.5	5.6	15.2	23.0	14.1	5.6	19.7	0.1	1.4	7.5	2.1	2.8	1.0	1.4
その他	集計 pt	70	28	38	3	13	43	25	5	27	0	4	6	2	2	0	0
	集計 pt 率 (%)	26.3	10.5	14.3	1.1	4.9	16.2	9.4	1.9	10.2	0.0	1.5	2.3	0.8	0.8	0.0	0.0
	人数 (人)	25	13	16	1	6	19	10	2	13	0	2	4	1	1	0	0
	率 (%)	41.0	21.3	26.2	1.6	9.8	31.1	16.4	3.3	21.3	0.0	3.3	6.6	1.6	1.6	0.0	0.0
計	集計 pt	3,583	3,730	2,394	419	1,324	2,355	1,158	419	1,459	25	161	864	131	327	32	158
	集計 pt 率 (%)	19.3	20.1	12.9	2.3	7.1	12.7	6.2	2.3	7.9	0.1	0.9	4.7	0.7	1.8	0.2	0.9
	人数 (人)	1,366	1,383	960	170	606	1,079	602	175	698	14	85	379	75	142	22	60
	率 (%)	31.9	32.3	22.4	4.0	14.2	25.2	14.1	4.1	16.3	0.3	2.0	8.9	1.8	3.3	0.5	1.4

- (注) 1. 有効回答者数は、第 12-1 表の回答者 (7,867 人) のうち、「日本において就職希望」と回答した数 (4,278 人)
2. 集計 pt は、最もあてはまるものを 3pt、2 番目にあてはまるものを 2pt、3 番目にあてはまるものを 1pt として集計した値で、集計 pt 率は、在籍段階別の集計 pt の計を 100 とした割合
3. 率は、第 12-7 表の在籍段階別の人数を 100 とした割合

第 12-9 表 専攻分野別における「日本において就職希望」回答者の構成比率及び割合 (Q15・41 参照)

区分	人文科学	社会科学	理学	工学	農学	医・歯学	薬学	家政	教育	芸術	日本語	その他	計
希望者数 (人)	429	1,251	167	825	63	84	12	48	69	355	969	6	4,278
構成比率 (%)	10.0	29.2	3.9	19.3	1.5	2.0	0.3	1.1	1.6	8.3	22.7	0.1	100.0
総数 (人)	657	1,777	293	1,159	113	189	30	65	139	516	2,919	10	7,867
希望者割合 (%)	65.3	70.4	57.0	71.2	55.8	44.4	40.0	73.8	49.6	68.8	33.2	60.0	54.4

(注) 1. 有効回答者は、第 13-1 表の回答者 (7,867 人) のうち、「日本において就職希望」と回答した数 (4,278 人)

2. 「構成比率」は、回答者数の計 (4,278 人) を 100 とした割合

3. 「希望者割合」は、第 1-5 表の専攻分野別の人数を 100 とした割合

第 12-10 表 専攻分野別就職希望職種 (複数回答) (Q15・45 参照)

区分		経営・ 管理	研究・ 技術開 発	専門職	医療	教育・ 指導	事務	販売・ 営業	福祉・ 介護	サービ ス	警備・ 保安	農林漁 業	製造・ 修理	輸送・ 運転	建設・ 土木	清掃・ 包装等	その他
人文科学	集計 pt	347	158	270	8	295	376	160	19	235	1	4	28	22	3	4	40
	集計 pt 率 (%)	17.6	8.0	13.7	0.4	15.0	19.1	8.1	1.0	11.9	0.1	0.2	1.4	1.1	0.2	0.2	2.0
	人数 (人)	132	65	114	5	120	165	84	9	115	1	2	13	12	2	3	14
	率 (%)	30.8	15.2	26.6	1.2	28.0	38.5	19.6	2.1	26.8	0.2	0.5	3.0	2.8	0.5	0.7	3.3
社会科学	集計 pt	1,881	470	496	37	281	1,080	555	225	569	3	23	58	42	21	8	33
	集計 pt 率 (%)	32.5	8.1	8.6	0.6	4.9	18.7	9.6	3.9	9.8	0.1	0.4	1.0	0.7	0.4	0.1	0.6
	人数 (人)	695	209	217	16	136	489	283	89	276	2	16	37	26	11	4	12
	率 (%)	55.6	16.7	17.3	1.3	10.9	39.1	22.6	7.1	22.1	0.2	1.3	3.0	2.1	0.9	0.3	1.0
理学	集計 pt	57	393	46	18	69	20	16	0	11	2	18	38	3	8	0	0
	集計 pt 率 (%)	8.2	56.2	6.6	2.6	9.9	2.9	2.3	0.0	1.6	0.3	2.6	5.4	0.4	1.1	0.0	0.0
	人数 (人)	25	136	20	9	37	10	7	0	7	1	10	21	1	4	0	0
	率 (%)	15.0	81.4	12.0	5.4	22.2	6.0	4.2	0.0	4.2	0.6	6.0	12.6	0.6	2.4	0.0	0.0
工学	集計 pt	209	1,664	214	6	126	142	75	13	43	12	16	513	15	208	3	6
	集計 pt 率 (%)	6.4	51.0	6.6	0.2	3.9	4.3	2.3	0.4	1.3	0.4	0.5	15.7	0.5	6.4	0.1	0.2
	人数 (人)	96	582	93	4	62	71	43	6	23	5	9	209	11	89	2	4
	率 (%)	11.6	70.5	11.3	0.5	7.5	8.6	5.2	0.7	2.8	0.6	1.1	25.3	1.3	10.8	0.2	0.5
農学	集計 pt	32	109	10	7	20	15	5	1	7	0	66	16	3	0	0	2
	集計 pt 率 (%)	10.9	37.2	3.4	2.4	6.8	5.1	1.7	0.3	2.4	0.0	22.5	5.5	1.0	0.0	0.0	0.7
	人数 (人)	14	40	4	4	10	8	2	1	3	0	29	9	2	0	0	1
	率 (%)	22.2	63.5	6.3	6.3	15.9	12.7	3.2	1.6	4.8	0.0	46.0	14.3	3.2	0.0	0.0	1.6
医・歯学	集計 pt	19	91	19	155	25	4	3	24	3	0	1	4	0	0	0	0
	集計 pt 率 (%)	5.5	26.1	5.5	44.5	7.2	1.1	0.9	6.9	0.9	0.0	0.3	1.1	0.0	0.0	0.0	0.0
	人数 (人)	7	34	8	61	12	4	2	10	2	0	1	2	0	0	0	0
	率 (%)	8.3	40.5	9.5	72.6	14.3	4.8	2.4	11.9	2.4	0.0	1.2	2.4	0.0	0.0	0.0	0.0
薬学	集計 pt	0	19	3	26	3	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	集計 pt 率 (%)	0.0	35.8	5.7	49.1	5.7	3.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	人数 (人)	0	8	1	10	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	率 (%)	0.0	66.7	8.3	83.3	8.3	8.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
家政	集計 pt	10	10	20	13	1	14	21	0	53	0	3	23	0	0	0	0
	集計 pt 率 (%)	6.0	6.0	11.9	7.7	0.6	8.3	12.5	0.0	31.5	0.0	1.8	13.7	0.0	0.0	0.0	0.0
	人数 (人)	5	5	7	5	1	5	8	0	18	0	1	8	0	0	0	0
	率 (%)	10.4	10.4	14.6	10.4	2.1	10.4	16.7	0.0	37.5	0.0	2.1	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0
教育	集計 pt	36	16	35	8	120	64	14	10	14	2	0	3	5	0	0	7
	集計 pt 率 (%)	10.8	4.8	10.5	2.4	35.9	19.2	4.2	3.0	4.2	0.6	0.0	0.9	1.5	0.0	0.0	2.1
	人数 (人)	16	8	14	3	46	31	7	5	9	1	0	1	2	0	0	3
	率 (%)	23.2	11.6	20.3	4.3	66.7	44.9	10.1	7.2	13.0	1.4	0.0	1.4	2.9	0.0	0.0	4.3

区分		経営・ 管理	研究・ 技術開発	専門職	医療	教育・ 指導	事務	販売・ 営業	福祉・ 介護	サービ ス	警備・ 保安	農林漁 業	製造・ 修理	輸送・ 運転	建設・ 土木	清掃・ 包装等	その他
芸術	集計 pt	107	144	746	6	68	115	30	9	62	0	3	15	4	29	4	32
	集計 pt 率 (%)	7.8	10.5	54.3	0.4	4.9	8.4	2.2	0.7	4.5	0.0	0.2	1.1	0.3	2.1	0.3	2.3
	人数 (人)	42	56	263	2	34	53	17	5	36	0	1	7	2	10	2	12
	率 (%)	11.8	15.8	74.1	0.6	9.6	14.9	4.8	1.4	10.1	0.0	0.3	2.0	0.6	2.8	0.6	3.4
日本語	集計 pt	885	647	535	135	309	520	279	118	462	5	24	165	37	58	13	32
	集計 pt 率 (%)	21.0	15.3	12.7	3.2	7.3	12.3	6.6	2.8	10.9	0.1	0.6	3.9	0.9	1.4	0.3	0.8
	人数 (人)	334	236	219	51	144	240	149	50	209	4	15	71	19	26	11	12
	率 (%)	34.5	24.4	22.6	5.3	14.9	24.8	15.4	5.2	21.6	0.4	1.5	7.3	2.0	2.7	1.1	1.2
その他	集計 pt	0	9	0	0	7	3	0	0	0	0	3	1	0	0	0	6
	集計 pt 率 (%)	0.0	31.0	0.0	0.0	24.1	10.3	0.0	0.0	0.0	0.0	10.3	3.4	0.0	0.0	0.0	20.7
	人数 (人)	0	4	0	0	3	2	0	0	0	0	1	1	0	0	0	2
	率 (%)	0.0	66.7	0.0	0.0	50.0	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	16.7	16.7	0.0	0.0	0.0	33.3
計	集計 pt	3,583	3,730	2,394	419	1,324	2,355	1,158	419	1,459	25	161	864	131	327	32	158
	集計 pt 率 (%)	19.3	20.1	12.9	2.3	7.1	12.7	6.2	2.3	7.9	0.1	0.9	4.7	0.7	1.8	0.2	0.9
	人数 (人)	1,366	1,383	960	170	606	1,079	602	175	698	14	85	379	75	142	22	60
	率 (%)	31.9	32.3	22.4	4.0	14.2	25.2	14.1	4.1	16.3	0.3	2.0	8.9	1.8	3.3	0.5	1.4

- (注) 1. 有効回答者は、第 12-1 表の回答者 (7,867 人) のうち、「日本において就職希望」と回答した数 (4,243 人)
2. 集計 pt は、最もあてはまるものを 3pt、2 番目にあてはまるものを 2pt、3 番目にあてはまるものを 1pt として集計した値で、集計 pt 率は、専攻分野別の集計 pt の計を 100 とした割合
3. 率は、第 12-9 表の専攻分野別の日本における就職希望回答者人数を 100 とした割合

在籍段階別日本での就職後の将来(第 12-11 表)を見ると、「日本で永久に働きたい」が 1,677 人(39.2%)と最も多く、次いで「まだ決めていない」が 1,048 人(24.5%)と続く。

第 12-11 表 在籍段階別日本での就職後の将来

(Q12・44 参照)

区分		日本で永久に働きたい	日本で働いた後、将来は出身国に帰国して就職したい	日本で働いた後、将来は日本、出身国以外で就職したい	まだ決めていない
大学院博士課程・博士後期課程	人数(人)	138	57	44	98
	率(%)	40.9	16.9	13.1	29.1
大学院修士課程・博士前期課程	人数(人)	184	120	74	159
	率(%)	34.3	22.3	13.8	29.6
専門職大学院課程	人数(人)	13	5	4	6
	率(%)	46.4	17.9	14.3	21.4
大学院レベルの研究生	人数(人)	10	13	5	9
	率(%)	27.0	35.1	13.5	24.3
学部正規課程	人数(人)	429	296	168	346
	率(%)	34.6	23.9	13.6	27.9
学部レベルの研究生・聴講生	人数(人)	23	25	12	21
	率(%)	28.4	30.9	14.8	25.9
短期大学	人数(人)	22	14	5	7
	率(%)	45.8	29.2	10.4	14.6
専修学校(専門課程)	人数(人)	499	285	98	194
	率(%)	46.4	26.5	9.1	18.0
準備教育課程	人数(人)	16	10	4	7
	率(%)	43.2	27.0	10.8	18.9
日本語教育機関	人数(人)	329	169	112	187
	率(%)	41.3	21.2	14.1	23.5
その他	人数(人)	14	26	7	14
	率(%)	23.0	42.6	11.5	23.0
計	人数(人)	1,677	1,020	533	1,048
	率(%)	39.2	23.8	12.5	24.5
	令和3年率(%)	35.4	33.0	9.2	22.4
	令和元年率(%)	37.6	31.1	7.5	23.9

(注) 1. 有効回答者は、第 12-1 表の回答者(7,867 人)のうち、「日本において就職希望」と回答した数(4,278 人)

2. 率は、在籍段階別の回答者数の計を 100 とした割合

就職活動時の要望（第 12-12 表）を見ると、「在留資格の変更手続きの簡素化、手続き期間の短縮化」が 2,446 人（57.2%）と最も多く、次いで「留学生を対象とした就職に関する情報の充実」が 2,192 人（51.2%）、「在留資格の変更が弾力的に認められるよう規制緩和」が 1,546 人（36.1%）と続く。

第 12-12 表 就職活動時の要望 （複数回答）

（Q45 参照）

区分		在留資格の変更手続きの簡素化、手続き期間の短縮化	在留資格の変更が弾力的に認められるよう規制緩和	留学生を対象とした就職に関する情報の充実	学校における留学生を対象とした就職説明会の充実	学校の留学生に対する就職相談窓口の充実	企業においてもっと留学生を対象とした就職説明会を開催してほしい	留学生を対象としたインターンシップの充実	その他
高等教育機関	集計 pt	5,132	2,699	3,988	1,449	1,152	1,750	1,818	89
	集計 pt 率 (%)	28.4	14.9	22.1	8.0	6.4	9.7	10.1	0.5
	人数 (人)	1,966	1,249	1,809	728	640	966	1,005	35
	率 (%)	56.5	35.9	52.0	20.9	18.4	27.8	28.9	1.0
日本語教育機関	集計 pt	1,264	647	794	358	294	329	358	18
	集計 pt 率 (%)	31.1	15.9	19.5	8.8	7.2	8.1	8.8	0.4
	人数 (人)	480	297	383	172	153	174	206	7
	率 (%)	60.2	37.3	48.1	21.6	19.2	21.8	25.8	0.9
計	集計 pt	6,396	3,346	4,782	1,807	1,446	2,079	2,176	107
	集計 pt 率 (%)	28.9	15.1	21.6	8.2	6.5	9.4	9.8	0.5
	人数 (人)	2,446	1,546	2,192	900	793	1,140	1,211	42
	率 (%)	57.2	36.1	51.2	21.0	18.5	26.6	28.3	1.0
	令和 3 年率 (%)	54.8	33.4	51.2	24.9	20.6	31.3	29.1	1.1
	令和元年率 (%)	53.8	33.4	53.0	26.2	20.4	32.4	24.9	1.1

- （注） 1. 有効回答者は、第 12-1 表の回答者（7,867 人）のうち、「日本において就職希望」と回答した数（4,278 人）
2. 集計 pt は、最もあてはまるものを 3pt、2 番目にあてはまるものを 2pt、3 番目にあてはまるものを 1pt として集計した値で、集計 pt 率は、集計 pt の計を高等教育機関・日本語教育機関別にそれぞれ 100 とした割合
3. 率は、回答者の人数の計を高等教育機関・日本語教育機関別にそれぞれ 100 とした割合

就職にあたっての不安(第 12-13 表)を見ると、「自分の日本語が通じるかどうか」が 2,056 人(48.1%)と最も多く、次いで、「職場で良い人間関係を作れるかどうか」が 2,038 人(47.6%)、「希望する仕事につけるかどうか」が 1,777 人(41.5%)と続く。

第 12-13 表 就職にあたっての不安 (複数回答)

(Q46 参照)

区分		職場で良い人間関係を作れるかどうか	自分の日本語が通じるかどうか	希望する仕事につけるかどうか	日本の商慣習になじめるかどうか	顧客対応が問題なくできるかどうか	ビジネスマナーで失敗しないかどうか	どのような人事評価制度なのか	勤務地がどこになるか	適切に仕事を進められるかどうか
高等教育機関	集計 pt	4,177	4,029	3,262	1,105	774	978	363	470	642
	集計 pt 率 (%)	21.7	20.9	17.0	5.7	4.0	5.1	1.9	2.4	3.3
	人数 (人)	1,663	1,630	1,457	581	439	564	215	274	392
	率 (%)	47.8	46.8	41.9	16.7	12.6	16.2	6.2	7.9	11.3
日本語教育機関	集計 pt	949	1,072	673	301	187	200	88	67	128
	集計 pt 率 (%)	21.7	24.6	15.4	6.9	4.3	4.6	2.0	1.5	2.9
	人数 (人)	375	426	320	161	102	121	51	42	84
	率 (%)	47.1	53.5	40.2	20.2	12.8	15.2	6.4	5.3	10.5
計	集計 pt	5,126	5,101	3,935	1,406	961	1,178	451	537	770
	集計 pt 率 (%)	21.7	21.6	16.7	6.0	4.1	5.0	1.9	2.3	3.3
	人数 (人)	2,038	2,056	1,777	742	541	685	266	316	476
	率 (%)	47.6	48.1	41.5	17.3	12.6	16.0	6.2	7.4	11.1
	令和 3 年率 (%)	48.2	47.1	38.7	14.9	13.8	16.7	6.6	7.7	13.7
	令和元年率 (%)	51.0	52.6	35.3	17.5	11.2	16.3	5.8	7.1	9.6

区分		労働時間が長くないかどうか	給与・待遇が悪くないかどうか	自分の専門知識が役立つかどうか	キャリアパスがどうなるか	生活習慣の違いになじめるかどうか	不安はない	その他
高等教育機関	集計 pt	542	1,312	672	413	190	252	61
	集計 pt 率 (%)	2.8	6.8	3.5	2.1	1.0	1.3	0.3
	人数 (人)	308	795	413	259	116	92	29
	率 (%)	8.8	22.8	11.9	7.4	3.3	2.6	0.8
日本語教育機関	集計 pt	123	245	101	111	48	57	16
	集計 pt 率 (%)	2.8	5.6	2.3	2.5	1.1	1.3	0.4
	人数 (人)	69	152	61	69	32	22	6
	率 (%)	8.7	19.1	7.7	8.7	4.0	2.8	0.8
計	集計 pt	665	1,557	773	524	238	309	77
	集計 pt 率 (%)	2.8	6.6	3.3	2.2	1.0	1.3	0.3
	人数 (人)	377	947	474	328	148	114	35
	率 (%)	8.8	22.1	11.1	7.7	3.5	2.7	0.8
	令和 3 年率 (%)	7.9	20.3	15.8	7.0	3.6	3.0	0.8
	令和元年率 (%)	10.8	21.0	14.1	5.7	3.4	2.5	0.8

- (注) 1. 有効回答者は、第 12-1 表の回答者(7,867 人)のうち、「日本において就職希望」と回答した数(4,278 人)
2. 集計 pt は、最もあてはまるものを 3pt、2 番目にあてはまるものを 2pt、3 番目にあてはまるものを 1pt として集計した値で、集計 pt 率は、集計 pt の計を高等教育機関・日本語教育機関別にそれぞれ 100 とした割合
3. 率は、回答者の人数の計を高等教育機関・日本語教育機関別にそれぞれ 100 とした割合

就職期間（第 12-14 表）を見ると、「10 年以上」が 1,830 人（42.8%）と最も多い。

第 12-14 表 就職期間

（Q47 参照）

区分		1 年未満	1 年～3 年 未満	3 年～5 年 未満	5 年～10 年未満	10 年以上	不明	計
高等教育機関	人数（人）	32	321	693	940	1,495	0	3,481
	率（%）	0.9	9.2	19.9	27.0	42.9	0.0	100.0
	令和 3 年率（%）	0.8	9.5	21.4	26.2	42.1	0.1	100.0
	令和元年率（%）	0.8	12.7	23.5	25.4	37.6	0.0	100.0
日本語教育機関	人数（人）	18	83	154	207	335	0	797
	率（%）	2.3	10.4	19.3	26.0	42.0	0.0	100.0
	令和 3 年率（%）	2.1	13.7	26.3	22.5	35.4	0.0	100.0
	令和元年率（%）	2.1	15.9	25.2	26.0	30.8	0.0	100.0
計	人数（人）	50	404	847	1,147	1,830	0	4,278
	率（%）	1.2	9.4	19.8	26.8	42.8	0.0	100.0
	令和 3 年率（%）	0.9	10.0	22.0	25.7	41.3	0.0	100.0
	令和元年率（%）	1.0	13.3	23.8	25.5	36.4	0.0	100.0

- （注）1. 有効回答者は、第 12-1 表の回答者（7,867 人）のうち、「日本において就職希望」と回答した数（4,278 人）
 2. 率は、回答者の人数の計を高等教育機関・日本語教育機関別にそれぞれ 100 とした割合

インターンシップ参加の有無（第 12-15 表）を見ると、「参加したい」が 2,905 人（67.9%）と最も多い。

第 12-15 表 インターンシップ参加の有無

（Q48 参照）

区分		参加したい	既に参加した、 または現在参加 している	不参加	不明	計
高等教育機関	人数（人）	2,345	564	572	0	3,481
	率（%）	67.4	16.2	16.4	0.0	100.0
	令和 3 年率（%）	69.4	14.5	16.1	0.1	100.0
	令和元年率（%）	69.7	16.8	13.5	0.0	100.0
日本語教育機関	人数（人）	560	39	198	0	797
	率（%）	70.3	4.9	24.8	0.0	100.0
	令和 3 年率（%）	71.2	5.0	23.8	0.0	100.0
	令和元年率（%）	75.5	4.2	20.3	0.0	100.0
計	人数（人）	2,905	603	770	0	4,278
	率（%）	67.9	14.1	18.0	0.0	100.0
	令和 3 年率（%）	69.6	13.3	17.1	0.0	100.0
	令和元年率（%）	70.8	14.4	14.8	0.0	100.0

- （注）1. 有効回答者は、第 13-1 表の回答者（7,867 人）のうち、「日本において就職希望」と回答した数（4,278 人）
 2. 率は、回答者の人数の計を高等教育機関・日本語教育機関別にそれぞれ 100 とした割合

インターンシップ参加理由 (第 12-16 表)を見ると、「就職が有利になりそうだから」が 1,661 人 (47.3%) と最も多く、次いで「就職する前に、日本の会社の雰囲気を知っておきたいから」が 1,225 人 (34.9%) と続く。

第 12-16 表 インターンシップ参加理由

(Q49 参照)

区分		就職が有利になりそうだから	日本語の習得や自分の学習に役立ちそうだから	就職する前に、日本の会社の雰囲気を知っておきたいから	計
高等教育機関	人数 (人)	1,406	441	1,062	2,909
	率 (%)	48.3	15.2	36.5	100.0
	令和3年率 (%)	44.0	15.7	40.3	100.0
	令和元年率 (%)	39.7	15.5	44.7	100.0
日本語教育機関	人数 (人)	255	181	163	599
	率 (%)	42.6	30.2	27.2	100.0
	令和3年率 (%)	43.2	22.5	34.3	100.0
	令和元年率 (%)	41.3	22.2	36.5	100.0
計	人数 (人)	1,661	622	1,225	3,508
	率 (%)	47.3	17.7	34.9	100.0
	令和3年率 (%)	43.9	16.5	39.6	100.0
	令和元年率 (%)	40.0	16.7	43.3	100.0

(注) 1. 有効回答者は、第 12-15 表の回答者 (7,867 人) のうち、「参加したい」「既に参加した、または現在参加している」のいずれかを回答した数 (3,508 人)

2. 率は、回答者の人数の計を高等教育機関・日本語教育機関別にそれぞれ 100 とした割合

日系企業への就職希望状況 (第 12-17 表)を見ると、「希望する」が 645 人 (51.4%) と最も多い。また、「起業を希望する」は 69 人 (5.5%) である。

第 12-17 表 日系企業への就職希望

(Q50 参照)

区分		希望する	希望しない	希望する日系企業があるかわからない	起業を希望	まだ決めていない	計
高等教育機関	人数 (人)	519	91	99	50	276	1,035
	率 (%)	50.1	8.8	9.6	4.8	26.7	100.0
	令和3年率 (%)	56.3	9.7	6.5	4.9	22.6	100.0
日本語教育機関	人数 (人)	126	15	13	19	48	221
	率 (%)	57.0	6.8	5.9	8.6	21.7	100.0
	令和3年率 (%)	57.9	7.5	10.1	6.3	18.2	100.0
計	人数 (人)	645	106	112	69	324	1,256
	率 (%)	51.4	8.4	8.9	5.5	25.8	100.0
	令和3年率 (%)	56.4	9.4	6.9	5.1	22.1	100.0

(注) 1. 有効回答者は、第 12-1 表の回答者 (7,867 人) のうち、「出身国において就職・起業希望」「日本・出身国以外の国において就職・起業希望」のいずれかを回答した数 (1,256 人)

2. 率は、回答者の人数の計を高等教育機関・日本語教育機関別にそれぞれ 100 とした割合

参考資料

令和5年度 私費外国人留学生生活実態調査

アンケート用紙

この調査では、オンライン画面上で回答を入力します。アンケートの内容はこの用紙に書いてありますので、参考にしてください。回答はオンラインで行ってください。この用紙での回答や提出は不要です。

令和5年度私費外国人留学生生活実態調査 アンケート内容

独立行政法人日本学生支援機構（JASSO）は、「文部科学省外国人留学生学習奨励費」の支給、「日本留学試験」の実施、就職情報の提供など、日本に来られている留学生の皆さんを支援している団体です。

このアンケートは、皆さん、そしてこれから日本へ来られる留学生のための援助事業に役立てるためのものです。

アンケートには、あなたのお名前や学校名などを入力する必要はありません。あなたのプライバシーは侵害されませんので、ご協力をお願いします。

－アンケート－

【あなたのことについてお聞きします。】

Q 1. あなたの性別はどちらですか。

1. 男 2. 女 3. その他

Q 2. あなたの出身国・地域はどこですか。(その他の人は、国名を入力してください。)

- | | | | |
|------------|-------------|----------------------------------|-------------|
| 1. 中国 | 2. 韓国 | 3. 台湾 | 4. ベトナム |
| 5. ネパール | 6. マレーシア | 7. インドネシア | 8. タイ |
| 9. アメリカ | 10. ミャンマー | 11. モンゴル | 12. バングラデシュ |
| 13. フランス | 14. スリランカ | 15. ドイツ | 16. インド |
| 17. フィリピン | 18. イギリス | 19. サウジアラビア | 20. オーストラリア |
| 21. ロシア | 22. カンボジア | 23. カナダ | 24. ブラジル |
| 25. スウェーデン | 26. ラオス | 27. イラン | 28. エジプト |
| 29. シンガポール | 30. ウズベキスタン | 31. その他 () | |

Q 3. 留学の目的は何ですか。

(最もあてはまる回答を3つまで選び、あてはまる順に選択してください。)

1. 学位を取得するため
2. 教養を身につけるため
3. 就職に必要な技能や知識を身につけるため
4. 日本で働く、もしくは日本企業に就職するため
5. 国際的な経験をつんで国際的な人脈を作るため
6. 国際的な考え方を身につけるため
7. 良い環境で研究を行うため
8. 日本語の能力を高めるため
9. 異文化に接するため
10. その他 ()

【日本に留学する前のことについてお聞きします。】

Q 4. 日本を留学先として選んだ理由は何でしたか。

(最もあてはまる回答を3つまで選び、あてはまる順に選択してください。)

- | | |
|----------------------------|------------------------|
| 1. 日本社会に興味があり、日本で生活したかったため | |
| 2. 日本の大学などの教育や研究が魅力的と思ったため | 3. 地理的に近いため |
| 4. 興味ある専門分野があったため | 5. 異文化に接したかったため |
| 6. 日本語・日本文化を勉強したかったため | 7. 日本と関連のある職業に就きたかったため |
| 8. 奨学金を得られたため | 9. 友人、知人、家族などに勧められたため |

10. 大学間交流などをきっかけとして
 11. 他国も考えていたが、学力や費用などの条件が一番合ったため
 12. その他（ ）

Q 5. 日本に留学するにあたり、不安に感じていたことは何でしたか。
 (最もあてはまる回答を3つまで選び、あてはまる順に選択してください。)

1. 日本の天候や食べ物、習慣に適應できるかどうか
2. 自分の希望する学習ができるか、また、学習の成果を上げることができるかどうか
3. 周囲の人と良好な関係を築き、うまくコミュニケーションをとることができるかどうか
4. 適切な宿舎を確保できるかどうか
5. 病気にかかったり自然災害に遭ったりしないかどうか
6. 孤独に感じたりホームシックになったりしないかどうか
7. 経済的な困難に直面しないかどうか
8. 特に不安はなかった
9. その他（ ）

Q 6. 日本に留学するまでに特に苦勞したことは何でしたか。
 (最もあてはまる回答を3つまで選び、あてはまる順に選択してください。)

- | | | |
|-----------|-----------|----------------|
| 1. 情報の収集 | 2. 日本語学習 | 3. 留学先学校との事前連絡 |
| 4. 留学ビザ取得 | 5. 留学資金準備 | 6. 入学試験 |
| 7. その他（ ） | | |

Q 7. 日本に留学する前に、どのような方法で留学情報を入手しましたか。
 (最もあてはまる回答を3つまで選び、あてはまる順に選択してください。)

1. 日本留学フェア、教育展などに参加して
2. 入学を希望する学校に直接問い合わせして
3. 在外日本大使館などの在外公館に問い合わせして
4. 母国の政府教育機関に問い合わせして
5. 日本学生支援機構(JASSO)に問い合わせして
6. 学校や日本学生支援機構(JASSO)のウェブサイトを検索して
7. 留学経験者の体験談などを聞いて
8. その他の民間団体に問い合わせして
9. 日本の出版物を購入して
10. 母国の学校や教員に相談して
11. 親戚や友人に相談して
12. その他（ ）

【日本に来てから現在通っている学校に入学するまでのことについてお聞きします。】

Q 8. 日本に来てから何年経ちますか。

1. 1年未満
2. 1年～2年未満
3. 2年～3年未満
4. 3年～4年未満
5. 4年～5年未満
6. 5年～6年未満
7. 6年以上

Q 9. 日本に来たあと、今在籍している学校の課程に、すぐ入学しましたか。

1. はい（Q 1 1へ進んでください。）
2. いいえ

● Q 9で「2. いいえ」と答えた人は、以下の質問に答えてください。

Q 1 0. 日本に来たあと、今在籍している学校の課程に入学する直前は何をしていましたか。
(一番最近のものを1つ回答)

1. 日本語教育機関で勉強していた
2. 準備教育課程で勉強していた
3. 留学生別科で勉強していた
4. 専修学校（専門課程）で勉強していた
5. 高等専門学校で勉強していた
6. 短期大学で勉強していた
7. 大学の学部で勉強していた
8. 大学院で勉強していた
9. 働いていた
10. その他（ ）

【現在通っている学校などについてお聞きします。】

Q 1 1. 在籍する学校は次のどれですか。

1. 国立
2. 公立
3. 私立

Q 1 2. 在籍する学校ではどの課程で学んでいますか。

1. 大学院博士課程・博士後期課程
2. 大学院修士課程・博士前期課程
3. 専門職大学院課程
4. 大学院レベルの研究生
5. 学部正規課程
6. 学部レベルの研究生・聴講生
7. 短期大学
8. 専修学校（専門課程）
9. 準備教育課程
10. 日本語教育機関
11. その他（ ）

Q 1 3. 現在、Q 1 2の課程の何年生ですか。

1. 1年生
2. 2年生
3. 3年生
4. 4年生
5. 5年生
6. 6年生
7. 研究生・聴講生など
8. その他（ ）

Q 1 4. 日本語能力に関する資格を取得していますか。

N1～N5：日本語能力試験（Japanese-Language Proficiency Test（JLPT））

J1+～J5：BJT ビジネス日本語能力テスト（BJT Business Japanese Proficiency Test）

1. N1
2. N2
3. N3
4. N4
5. N5
6. J1+
7. J1
8. J2

9. J3 10. J4 11. J5 12. ^{しゅとく}取得していない

Q15. 在籍^{ざいせき}する学校^{がっこう}における専攻^{せんこう}分野^{ぶんや}は何^{なん}ですか。

1. 人文科学（文学、歴史、言語学など）
2. 社会科学（法律、政治、経済、社会学、商業、経理、観光、介護福祉など）
3. 理学（数学、物理、化学、生物学など）
4. 工学（機械、電気、電子、応用化学、自動車、建築、情報処理など）
5. 農学（農業経済、農芸、獣医畜産、水産学など）
6. 医・歯学（看護、理学療法、鍼灸など）
7. 薬学
8. 家政（食物、調理、製菓、被服、住居学など）
9. 教育（教員養成、保育など）
10. 芸術（美術、音楽、美容、デザイン）
11. 日本語 ※日本語教育機関在籍者
12. その他（ ）

Q 16. 1 週間^{しゅうかん}あたりの勉強^{べんきょう}時間^{じかん}を教^{おし}えてください。(学校^{がっこう}での授業^{じゅぎょう}時間^{じかん}を除^{のぞ}く。)

- | | | |
|--------------|--------------|--------------|
| 1. 7時間未満 | 2. 7～14時間未満 | 3. 14～21時間未満 |
| 4. 21～28時間未満 | 5. 28～35時間未満 | 6. 35～42時間未満 |
| 7. 42～49時間未満 | 8. 49時間以上 | |

Q17. げんざい す 現在住んでいるところから、ざいせき まさ がっこう 在籍する学校までのつうがくじ かん 通学時間（かたみち 片道）はどのくらいですか。

1. 30分以内
2. 1時間以内
3. 1時間30分以内
4. 2時間以内
5. 2時間以上

Q18. 在籍する学校での満足度について、5段階評価で教えてください。

1. 非常に満足している 2. 満足している 3. どちらともいえない
4. あまり満足していない 5. 満足していない

Q19. 在籍^{ざいせき}する学校^{がっこう}で満足^{まんぞく}していることは何^{なん}ですか。

(最もあてはまる回答を3つまで選び、あてはまる順に選択してください。)

1. 提供される教育・研究の質
ていきょう けいようりゅう けんきゅう しつ
2. 日本語能力の向上を目的とした授業
にほんごのうりよく こうじょう もくてき じゅぎょう
3. 学業面でのサポート
がくぎょうめん
4. 経済的なサポート（奨学金制度）
けいざいてき しょうがくきんせいど
5. 生活面（手続きや健康面など）に関するサポートや相談窓口
せいかつめん てつづ けんこうめん かん そうだん まどぐち
6. アルバイトや住居（学生寮やアパートなど）に関する情報
じゅうく かん じゅうほうていきょうおよ かくせいりょう かん じょうほう
7. 進学に関する情報 提供 及びサポート
しんがく かん じゅうほうていきょうおよ
8. 就職 に関する情報 提供 及びサポート
しゅうしょく かん じゅうほうていきょうおよ

9. クラブ活動などの課外活動

10. 日本人学生と交流できる機会

11. 満足していることがない

12. その他（ ）

Q20. 在籍している学校で満足していないことは何ですか。

(最もあてはまる回答を3つまで選び、あてはまる順に選択してください。)

1. 提供される教育・研究の質
2. 日本語能力の向上を目的とした授業
3. 学業面でのサポート
4. 経済的なサポート(奨学金制度)
5. 生活面(手続きや健康面など)に関するサポートや相談窓口
6. アルバイトや住居(学生寮やアパートなど)に関する情報
7. 進学に関する情報提供及びサポート
8. 就職に関する情報提供及びサポート
9. クラブ活動などの課外活動
10. 日本人学生と交流できる機会
11. 不満なことがない
12. その他（ ）

【日本への印象などについてお聞きします。】

Q21. 日常生活において、授業以外で日本人学生と交流する機会がありますか。

(例) 授業で出会った友人などと、授業外でも個人的な繋がりをもって交流しているかなど。

1. はい

2. いいえ

※「2. いいえ」を選択した人で、その理由が書ける人は、
回答画面に入力してからQ24へ進んでください。

●Q21で「1. はい」と答えた人は、以下の質問に答えてください。

Q22. 具体的に、どのような場面・手段で交流していますか。

(あてはまるものすべてを選択してください。)

1. 学校が実施する交流イベント(オンライン含む)
2. 学校の課外活動(サークルや部活動)
3. 学校が提供するプログラム(TAやランゲージパートナーなど)
4. 学校以外が主催する交流イベント(オンライン含む)
5. 休み時間・休日と一緒に過ごす(語学交流や旅行、食事など)
6. 授業外で課題などの勉強を一緒にする
7. 住んでいるところ(学生向け宿舎など)
8. アルバイト

9. その他 ()

● Q 2 1で「1. はい」と答えた人は、以下の質問に答えてください。

Q 2 3. 頻度はどのくらいですか。

1. 週 5回以上
2. 週 2～4回
3. 週 1回
4. 月 1回
5. それ以下

Q 2 4. 日本に留学してから日本人に対する印象は良くなりましたか。

1. 留学前から良かったが、留学後にさらに良くなった
2. 留学前から良かったが、留学後に特に変化は無い
3. 留学前は良かったが、留学後に悪くなった
4. 留学前は悪かったが、留学後に良くなった
5. 留学前から悪かったが、留学後に特に変化は無い
6. 留学前から悪かったが、留学後にさらに悪くなった

※回答項目の1～4を選択した場合は、回答画面にその理由を入力してください。

Q 2 5. 日本に留学して、良かったですか。

1. 良かった
 2. 悪かった
 3. どちらともいえない
- ※「2. 悪かった」、「3. どちらともいえない」を選択した場合は、回答画面にその理由を入力しQ 2 7へ進んでください。

● Q 2 5で「1. 良かった」と答えた人は、以下の質問に答えてください。

Q 2 6. 日本に留学して良かったことは何でしたか。

(最もあてはまる回答を3つまで選び、あてはまる順に選択してください。)

1. 質の高い教育を受けられたこと
2. 日本語が習得できたこと
3. 日本人の友人ができたこと
4. 国際的な人脈ができたこと
5. 国際的な考え方、教養を身につけることができたこと
6. その他 ()

Q 2 7. 日本に留学してから苦労したことは何でしたか。

(もっともあてはまる回答を3つまで選び、あてはまる順に入力してください。)

1. 物価が高い
2. 日常生活における母国の習慣（生活習慣、宗教上の習慣など）との違い
3. 宿舎などを探ること
4. 宿舎などにおけるルール（ゴミ出しなど）を守ること
5. 日本語の習得
6. 英語の習得
7. 学校内で日本人学生と交流できないこと
8. 学校の教員、職員とのコミュニケーションが取れないこと
9. 学校の授業についていくこと
10. その他（ ）

【1ヶ月の収入と支出についてお聞きします。】

Q28. Q29. 1ヶ月の収入と支出についてお聞きします。

1万円まんえんのときは、10,000にゅうりよくと入力してください。

一回答の例一

収入 しゅうにゅう	(円/月) えん つき	支出 ししゅつ	(円/月) えん つき
(1) 仕送り しおくり	63,000円 えん	(1) 学習研究費 がくしゅうけんきゅうひ	円 えん
(2) アルバイト	29,000円 えん	A. 授業料 じゅぎょうりょう	44,000円 えん
(3) 奨学金 しょうがくきん		B. 授業料以外 じゅぎょうりょういがい	10,000円 えん
A. 学習奨励費 がくしゅうしょうれいひ	48,000円 えん	C. サークルなど	円 えん
B. 大学・学校 だいがく がっこう	円 えん	(2) 通学費 つうがくひ	8,000円 えん
C. 地方自治体 ちほうじちたい	円 えん	(3) 食費 しょくひ	25,000円 えん
D. 民間団体 みんかんだんたい	円 えん	(4) 住居費 じゅうきよひ	36,000円 えん
E. 海外の団体 かいがい だんたい	円 えん	(5) 電気ガス水道 でんき すいどう	8,000円 えん
F. その他	円 えん	(6) 保険医療費 ほけんいりょうひ	3,000円 えん
(4) 知人の援助 ちじん えんじょ	円 えん	(7) 趣味娯楽 しゅみごらく	5,000円 えん
(5) 配偶者の収入 はいぐうしや しゅうにゅう	円 えん	(8) その他	円 えん
(6) その他	円 えん	(9) 残額 ざんがく	1,000円 えん

計 けい	140,000円 えん	計 けい	約 やく	140,000円 えん
---------------------	----------------------------	---------------------	---------------------	----------------------------

画面に入力する際の注意がめん にゅうりよく さい ちゅうい

※ 収入と支出の合計額は、必ず同じ金額になるようにしてください。違う金額の場合はエラーメッセージが表示されます。

※ 授業料(1ヶ月分の金額)は、1年間の授業料を12で割る、または半年の授業料を6で割って金額を算出してください。なお、授業料には、入学金などの一時的にかかる経費は含みません。

(例) 1年間の授業料 528,000円 → 月額 44,000円 (528,000÷12=44,000)

※ 1,000円単位で回答してください。端数1,000円未満は切り上げてください。

(例) 7,235円を入力する場合 × 7,000 ○ 8,000

Q28. 1ヶ月の平均的な収入はどれくらいですか。それぞれの項目について、□の中に金額を入力してください。なお、□には該当する数字だけ入力してください。

円／月

(1) 親・兄弟、または親戚からの仕送り

円

(2) アルバイト

円

(3) 奨学金

※奨学金を受け取っている場合は、A～Fの中であてはまる欄に金額を入力してください。

A. 文部科学省外国人留学生学習奨励費

(¥48,000、または¥30,000)

円

B. 大学・学校からの奨学金

円

C. 地方自治体（都道府県市区町村）による援助金

円

D. 民間団体の奨学金

円

E. 海外の団体による奨学金（日本以外の団体）

円

F. その他の奨学金

円

(4) 知人の援助

円

(5) 配偶者の収入

円

(6) その他

円

合計

円

↑ Q29の支出の合計と同額が必ず確認してください。

※文部科学省外国人留学生学習奨励費とは：日本国内の大学や日本語教育機関などに通う私費外国人留学生で、学校に推薦を受けた学生に対して JASSO から給付する奨学金です。

金額は2種類あります。

○大学院・学部レベル：月額48,000円

○日本語教育機関：月額30,000円

Q 2 9. 1ヶ月の平均的な支出はどれくらいですか。それぞれの項目について、□の中に金額を入力してください。なお、□には該当する数字だけ入力してください。

	えん / 円
(1) 学習研究費	えん / 円
A. 授業料 (1ヶ月分の金額)	えん / 円
B. 教科書、実習材料、文具などの経費 (授業料以外の経費)	えん / 円
C. サークル活動の会費、合宿費	えん / 円
(2) 通学費 (定期代など)	えん / 円
(3) 食費	えん / 円
(4) 住居費 (1ヶ月の家賃、寮費など)	えん / 円
(5) 電気、ガス、水道料金	えん / 円
(6) 保険、医療費	えん / 円
(7) 趣味、娯楽費	えん / 円
(8) その他の日常的な経費 (洋服代、電話料金、交通費、消耗品など)	えん / 円
(9) 残額	えん / 円
合計	えん / 円

↑ Q 2 8 の 収 入 の 合 計 と 同 額 が 必 ず 確 認 して ください。

【住居についてお聞きします。】

Q 3 5. 現在、どの地域に住んでいますか。

- | | | | | | | |
|--------|---------|--------|---------|--------|--------|---------|
| 1. 北海道 | 2. 青森 | 3. 岩手 | 4. 宮城 | 5. 秋田 | 6. 山形 | 7. 福島 |
| 8. 茨城 | 9. 栃木 | 10. 群馬 | 11. 埼玉 | 12. 千葉 | 13. 東京 | 14. 神奈川 |
| 15. 新潟 | 16. 富山 | 17. 石川 | 18. 福井 | 19. 山梨 | 20. 長野 | 21. 岐阜 |
| 22. 静岡 | 23. 愛知 | 24. 三重 | 25. 滋賀 | 26. 京都 | 27. 大阪 | 28. 兵庫 |
| 29. 奈良 | 30. 和歌山 | 31. 鳥取 | 32. 島根 | 33. 岡山 | 34. 広島 | 35. 山口 |
| 36. 徳島 | 37. 香川 | 38. 愛媛 | 39. 高知 | 40. 福岡 | 41. 佐賀 | 42. 長崎 |
| 43. 熊本 | 44. 大分 | 45. 宮崎 | 46. 鹿児島 | 47. 沖縄 | | |

Q 3 6. どのような形態の宿 舎に住んでいますか。

- | | |
|-------------------|--------------------|
| 1. 民間アパート・マンションなど | 2. 大学・学校の留学生用宿 舎 |
| 3. 大学・学校の一般学生寮 | 4. 県・市・財団法人の留学生宿 舎 |
| 5. 公営住宅などの一般公的宿 舎 | 6. 企業の社員寮 |
| 7. ホームステイ | 8. その他 () |

Q 3 7. 宿 舎を選ぶ際、重視したものは何ですか。

(最もあてはまる回答を3つまで選び、あてはまる順に入 力してください。)

- | | |
|-----------------------------|-----------------|
| 1. 家賃・初期費用 | 2. 間取り・広さ |
| 3. 設備 | 4. 学校からの距離・通学時間 |
| 5. 周辺環境の利便性 (駅が近い、買い物しやすい等) | 6. セキュリティ |
| 7. 日本人との交流 | 8. 留学生同士の交流 |

Q 3 8. 宿 舎の保証人を求められましたか。

「宿 舎の保証人」とは、日本で住居 を借りる際、万一のときに、あなたの家賃や修理費を立て替えて支払ったりする人を言い、「連帯保証人」と呼ばれます。

1. はい 2. いいえ (Q 4 0へ進んでください。)

● Q 3 8で「1. はい」と答えた人は、以下の質問に答えてください。

Q 3 9. 現在住んでいる宿 舎の保証人は誰ですか。

- | | |
|-----------------|------------------------------|
| 1. 大学・学校 (代表者) | 2. 大学・学校の指導教員 |
| 3. 国際交流団体 (代表者) | 4. 過去に在籍していた日本語教育機関 (代表者・教員) |
| 5. 日本人の知人 | 6. 日本人以外の知人 |
| 7. 親族 | 8. 保証人制度を利用する |
| 9. その他 () | |

けんこう き
【健康についてお聞きます。】

Q 4 0. がっこう にゅうがく びょうき
学校に入學してから病氣やけがをしたことがありますか。また、その時どうしましたか。
(3つまで複数回答可)

1. びょうき 病氣やけがをしたことがない
2. がっこう ほけん かんり いむ しつ い 学校の保健管理センターや医務室に行った
3. びょういん い 病院に行った
4. やつきよく くすり か なお 薬局で薬を買って治した
5. びょういん やつきよく い がまん 病院にも薬局にも行かないで、我慢した
6. その他 ()

そつぎようご よてい き
【卒業後の予定についてお聞きます。】

Q 4 1. げんざいざいせき がっこう そつぎようご よてい なん
現在在籍する学校の卒業後の予定は何ですか。
(最もあてはまる回答を3つまで選び、あてはまる順に入力してください。)

1. にほん しんがくきぼう すす 日本において進学希望 (Q 4 2へ進んでください。)
2. にほん しゅうしょくきぼう すす 日本において就職希望 (Q 4 3へ進んでください。)
3. にほん きぎようきぼう 日本において起業希望
4. しゅっしんこく しんがくきぼう 出身国において進学希望
5. しゅっしんこく しゅうしょく きぎようきぼう (Q 5 0へ進んでください。)
6. にほん しゅっしんこく いがいに くに しんがくきぼう 日本・出身国以外の国において進学希望
7. にほん しゅっしんこく いがいに くに しゅうしょく きぎようきぼう (Q 5 0へ進んでください。)
8. まだ決めていない

● Q 4 1で「1. 日本において進学希望」と答えた人は、以下の質問に答えてください。

Q 4 2. どの課程への進学を考えていますか。

1. だいがくいん はかせ かてい 大学院博士課程・博士後期課程
2. だいがくいん しゅうし かてい はかせ せんき かてい 大学院修士課程・博士前期課程
3. せんもん せんしよく だいがくいん かてい 専門職 大学院課程
4. だいがくいん けんきゅうせい 大学院レベルの研究生
5. がくぶ せい かい 学部正規課程
6. がくぶ けんきゅうせい ちょうこうせい 学部レベルの研究生・聴講生
7. たんき だいがく 短期大学
8. せんしゅうがっこう せんもん かてい 専修学校 (専門課程)
9. その他 ()

● Q 4 1で「2. 日本において就職希望」と答えた人は、以下の質問に答えてください。

Q 4 3. どのような分野に就職を希望していますか。

(最もあてはまる回答を3つまで選び、あてはまる順に入力してください。)

1. けいえい かんり きぎよう きぎよう だんたい やくいん 経営・管理 (起業、企業や団体などの役員、マネジメント職など)
2. けんきゅう きじゆつかいはつ けんきゅうしゃ しよくひんかいはつ きかいかいはつ せつけい そくりよう ぎじゆつしゃ 研究・技術開発 (研究者、食品開発、機械開発、設計、測量、IT技術者、システムエンジニア、コンサルタントなど)
3. せんもん せんしよく べんごし こうにんかいけいし ほんやく つうやく おんがく げいじゆつか せんしゅ 専門職 (弁護士、公認会計士、翻訳・通訳、音楽・芸術家、スポーツ選手、デザイナーなど)
4. いりよう いし やくざいし かんごし りがくりようほうし えいようし 医療 (医師、薬剤師、看護師、理学療法士、栄養士など)

5. 教育・指導（教員、保育士、語学講師、習い事の講師など）
6. 事務（一般事務、総務・人事、会計・経理、貿易事務、企画、広報、マーケティング、秘書など）
7. 販売・営業（販売スタッフ、営業など）
8. 福祉・介護（社会福祉施設・老人福祉施設・障害者福祉施設の介護士など）
9. サービス（観光案内、旅館・ホテルの接客、美容師、飲食業など）
10. 警備・保安（警備員など）
11. 農林漁業（農業作業員、動物・家畜飼育員、造園師、漁師、水産養殖作業員など）
12. 製造・修理（食品・金属製品・化学製品の製造や加工、製造・設備オペレーター、自動車・船舶・航空機整備、電子機器・電気機械組み立てなど）
13. 輸送・運転（配達員、鉄道運転士、航空機操縦士、トラック・バス・タクシーなどの運転手など）
14. 建設・土木（大工、解体工、建設・土木作業員、採掘、電気・通信工事作業員など）
15. 清掃・包装など（ビル・建物清掃員、製品包装作業員、倉庫作業員、運搬作業員など）
16. その他（ ）

Q44. 日本において就職した後の将来はどのように考えていますか。

1. 日本で永久に働きたい
2. 日本で働いた後、将来は出身国に帰国して就職したい
3. 日本で働いた後、将来は日本、出身国以外で就職したい
4. まだ決めていない

Q45. 日本での就職活動をする際に、どのようなことを望みますか。
（最もあてはまる回答を3つまで選び、あてはまる順に入力してください。）

1. 在留資格の変更手続きの簡素化、手続き期間の短縮化
2. 在留資格の変更が弾力的に認められるよう規制緩和
3. 留学生を対象とした就職に関する情報の充実
4. 学校における留学生を対象とした就職説明会の充実
5. 学校の留学生に対する就職相談窓口の充実
6. 企業においてももっと留学生を対象とした就職説明会を開催してほしい
7. 留学生を対象としたインターンシップの充実
8. その他（ ）

Q46. 日本での就職にあたり不安に感じることは何ですか。
（最もあてはまる回答を3つまで選び、あてはまる順に入力してください。）

- | | |
|--------------------|-------------------|
| 1. 職場で良い人間関係をつくれるか | 2. 自分の日本語が通じるか |
| 3. 希望する仕事につけるか | 4. 日本の商慣習になじめるか |
| 5. 顧客対応が問題なくできるか | 6. ビジネスマナーで失敗しないか |
| 7. どのような人事評価制度なのか | 8. 勤務地がどこになるか |
| 9. 適切に仕事を進められるか | 10. 労働時間が長くないか |

- 1 1. 給与・待遇が悪くないか
 1 3. キャリアパスがどうなるのか
 1 5. 不安はない
- 1 2. 自分の専門知識が役立つか
 1 4. 生活習慣の違いになじめるか
 1 6. その他（ ）

Q 4 7. 日本で就職した後、何年くらい日本で働きたいですか。

1. 1年未満
 2. 1年～3年未満
 3. 3年～5年未満
 4. 5年～10年未満
 5. 10年以上

Q 4 8. 日本でインターンシップに参加したいと思いますか。

1. 思う
 2. 既に参加した、または現在参加している
 3. 思わない

●Q 4 8の質問で「1. 思う」、または「2. 既に参加した、または現在参加している」と答えた人は、Q 4 9を教えてください。

Q 4 9. インターンシップに参加したいと思う理由（参加した理由）は何ですか。

1. 就職が有利になりそうだから
 2. 日本語の習得や自分の学習に役立ちそうだから
 3. 就職する前に、日本の会社の雰囲気を知っておきたいから

●Q 4 1で「5. 出身国において就職・起業希望」、または「7. 日本・出身国以外の国において就職・起業希望」と答えた人は、以下の質問に教えてください。

Q 5 0. 日本国外で就職を希望する場合、日系企業への就職を希望しますか。

1. 希望する
 2. 希望しない
 3. 就職を希望する国に日系企業があるかわからない
 4. 起業を希望している
 5. まだ決めていない

以上、ご協力ありがとうございました。

令和5年度 私費外国人留学生生活実態調査

概 要

独立行政法人日本学生支援機構

【問合せ先】

独立行政法人日本学生支援機構 留学生事業部留学情報課 企画調査係

〒135-8630 東京都江東区青海2-2-1

電 話 03-5520-6111

F A X 03-5520-6121